SONY

REF 2-638-113-**24** (2)

Color Video Printer

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

UP-55MD

© 2005 Sony Corporation

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4 ～ 10 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。
66 ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

故障したら使わない

すぐに、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

❶ 電源を切ります。
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
❸ ソニーのサービス窓口または営業担当者までご相談ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

目次

警告 **4**
注意 **4**

はじめに

本機の特長 **11**
各部の名称と働き **11**
前面 11
裏面 13
モニター画面 13

準備

付属品を確認する **15**
接続する **15**
ビデオ機器を接続する 15
モニターを接続する 16
リモコンを接続する 17
プリントする前に **17**
インクリボンカートリッジを取り付ける 17
給紙トレイ・プリント紙を取り付ける 20
入力信号を選ぶ 22
日付・時刻を設定する 23

操作

1 枚に 1 画面をプリントする **25**
ユーザー登録した内容でプリントする 27
同じプリント画を連続してプリントする 29
プリント中に別の画像のプリントを予約する 30
いろいろなプリント画を作る **31**
メモリーモードについて ― メモリーモードを選ぶ 31
メモリーページを選ぶ 33
分割画面を作る - マルチプリント **34**
プリント画に日付けやコメントを入れる **38**
プリント画にコメントを入れる 38
文字を入力する 38
日付けを付けてプリントする 41
メモリーに記憶した画像を消す **42**
CLEAR ボタンの機能を設定する 42
メモリーに記憶されている画像を消す 43
モニター画面の管面表示を消す **44**
USB フラッシュメモリーに画像データを保存する **45**
USB フラッシュメモリーに画像データを保存する 46
USB メモリーがいっぱいになったときの動作を決める 46
ファイル名を付けてプリントする 47

調整

メニュー画面上で設定できる項目 **49**
メニューの構成 **50**
メニューの基本操作 **51**
色調・画質を調整する **53**
入力映像の色調を補正する 53
モニター画面とプリント画の色調を合わせる 54
プリント画の画質を調整する 55
プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する . 57
プリント紙の大きさに合わせてプリントする 58
カラーバランスを調整する 59
各種設定をする **62**
別売りのリモコンでの操作を選ぶ 62
液晶ディスプレイの調整をする 63
操作音、アラーム音を設定する 63
本機とコンピューター間の通信速度を選ぶ 63
インクリボンの残量を表示させる 63
調整値をユーザー設定として登録する 63

その他

本機の性能を保持するために **66**
使用上のご注意 66
お手入れ 66
本機で使用可能なインクリボンとプリント紙 **67**
主な仕様 **67**
メッセージ一覧 **69**
エラーメッセージ 69
警告メッセージ 70
故障とお考えになる前に **72**
プリント紙がつまったら 73
索引 **76**

⚠警告

下記の注意を守らないと、
火災や**感電**により**死亡**や**大けが**に
つながることがあります。

給紙トレイ口、リボン挿入口に手をかけて本体を移動させない

給紙トレイ口、リボン挿入口に手をかけて本体を移動させると、本体が破損し、落下してけがをする原因となることがあります。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所や取扱説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を与える
ことがあります

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご相談ください。

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご依頼ください

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。
次の方法でアースを接続してください。

- 電源コンセントが 3 極の場合
  付属の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- 電源コンセントが 2 極の場合
  付属の 3 極 →2 極変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取り付けることができない場合は、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご相談ください。

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。

指示

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

指示

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。
日本国内では 100 V でお使いください。

禁止

製品の上に乗らない、重いものを乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
充分注意して接続・配置してください。

指示

電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。

あお向けや横倒し、逆さまにしない。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

禁止

本体内部に手を入れない

ドアが開いている時に本体内部に手を入れると、やけどやけがの原因となることがあります。

注意

リボンドアを開けたままにしておかない

リボンドアを開けたままにしておくとぶつけたり、落下してけがの原因となることがあります。

注意

本体を支えて給紙トレイを着脱する

給紙トレイを着脱するときに、本体が動き落下してけがの原因となることがあります。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近付けたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグをもって抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口または営業担当者に交換をご依頼ください。

医療環境で使用するための重要なお知らせ

1. 本機に接続する全ての機器は、安全規格のIEC60601-1、IEC60950-1、IEC60065、あるいは機器に適用できる他の IEC/ISO 規格等に従って承認または適合しているものをご使用ください。

2. さらにシステム全体として IEC60601-1-1 規格に適合していなければなりません。信号入力部分あるいは信号出力部分に接続する全ての周辺機器が医療用のシステムとして構成されるため、システム全体としてIEC60601-1-1 の規格要求に適合する責任があります。疑義がある場合には、ソニーの営業担当にご相談ください。

3. 他の機器と接続すると、漏れ電流を増加させる可能性があります。

4. この特定の機器のために、すべての周辺機器は上記のように接続し、IEC60601-1 の構造要求と最小基礎絶縁を備えている追加した絶縁トランス経由で商用電源に接続してください。

5. この機器は無線周波エネルギーを発生、利用しており、周囲に放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置、使用されない場合、他の機器に対して電磁波障害を引き起こすかも知れません。この機器が電磁波障害を起こす場合は（この機器から電源コードのプラグを抜くことにより確認できます)、以下の方法を試してください。
   電磁波障害を受けている機器に対して、この機器を移動してください。この機器と電磁波障害を受けている機器を異なる電源系統のコンセントに接続してください。

ソニーの営業担当にご相談ください。
(適合規格：IEC60601-1-2 と CISPR11、Class A、Group1)

医療環境で使用するための EMC に関する重要なお知らせ

・UP-55MD は、EMC に関して特に注意する必要があり、取扱説明書で提供される EMC 情報に従って設置及び使用する必要があります。
・UP-55MD は、携帯電話のような、携帯型及び移動型の無線通信機器に影響を受けることがあります。

警告

ソニー株式会社によって指定されたもの以外のアクセサリーやケーブルを使用すると、UP-55MD のエミッション（電磁妨害の放射）増加やイミュニティ（電磁妨害の耐性）低下を招くことがあります。

指針及び製造業者の宣言－電磁エミッション		
UP-55MD は、下記の電磁環境で使用することを前提としています。 UP-55MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。		
エミッション試験	適合性	電磁環境－指針
無線周波エミッション CISPR 11	グループ 1	UP-55MD は、内部機能のためだけに無線周波エネルギーを使用しています。そのため、無線周波エミッションは非常に低く、近傍の電子機器を妨害することは、ほぼありません。
無線周波エミッション CISPR 11	クラス A	UP-55MD は、家庭及び家庭用に使用される建物に給電する公共の低電圧配電網に直接接続されている建造物を含むすべての建造物での使用に適しています。
電源高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動 / フリッカ　エミッション IEC 61000-3-3	適合する	

警告

UP-55MD を他の機器と隣接または積み重ねて使用する場合には、その使用構成で正常に動作していることを確認する必要があります。

指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ			
UP-55MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。UP-55MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
静電気放電（ESD） IEC 61000-4-2	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	床材は木材、コンクリートまたは陶製タイルとしてください。床材が合成物質で覆われている場合、相対湿度が、少なくとも 30%以上であることを条件とします。
電気的ファストトランジェント（高速過渡現象）/ バースト IEC 61000-4-4	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
電源入力ラインでの電圧ディップ、瞬停、および電圧変動 IEC 61000-4-11	<5% U_T (>95% ディップ、U_T時) 0.5 サイクルの間 40% U_T (60% ディップ、U_T時) 5 サイクルの間 70% U_T (30% ディップ、U_T時) 25 サイクルの間 <5% U_T (>95% ディップ、U_T時) 5 秒間	<5% U_T (>95% ディップ、U_T時) 0.5 サイクルの間 40% U_T (60% ディップ、U_T時) 5 サイクルの間 70% U_T (30% ディップ、U_T時) 25 サイクルの間 <5% U_T (>95% ディップ、U_T時) 5 秒間	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。 UP-55MD の使用者が、停電中も継続して運用することが必要な場合は、無停電電源装置又はバッテリーから UP-55MD に電源供給することを推奨します。
電源周波数 （50/60 Hz） 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、典型的な商用または病院環境内の典型的な場所での特性レベルである必要があります。
備考：U_T は、試験レベルを加える前の機器の定格電源電圧である。			

指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ

UP-55MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。UP-55MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用されることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
			携帯型及び移動型の無線通信機器は、ケーブルを含む UP-55MD のどの部分に対しても、無線通信機器の周波数に対応した式から計算された推奨分離距離以下に近づけて使用しないでください。 **推奨分離距離**
伝導性妨害 IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ～ 80 MHz	3 Vrms	$d = 1.2\sqrt{P}$ $d = 1.2\sqrt{P}$　80 MHz ～ 800 MHz $d = 2.3\sqrt{P}$　800 MHz ～ 2.5 GHz
放射無線周波電磁界 IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ～ 2.5 GHz	3 V/m	P は、無線通信機器のメーカーが公表した最大出力定格（単位はワット（W））で、d は推奨距離（単位はメートル（m））です。 電磁環境の現地調査によって得られる固定の無線送信機からの電磁界強度[a]は、各周波数範囲[b]において適合レベル未満である必要があります。 下記の記号が表示された機器の近くでは、妨害が生じる可能性があります。

備考 1:　80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲を適用します。

備考 2: これらのガイドラインでは、対応できない場合もあります。
電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

a 無線（携帯 / コードレス）電話及び陸上移動無線のための基地局、アマチュア無線、AM 及び FM ラジオ放送並びに TV 放送のような固定の送信機からの電磁界強度は、理論上、正確に予測することはできません。固定の無線送信機による電磁環境を評価する為には、電磁波の現地調査の検討が必要です。UP-55MD が使用される場所で測定された電磁界強度が、対応する無線の適合レベルを超える場合、UP-55MD が、正常に動作していることを確認してください。
もし異常な動作が観測される場合、UP-55MD の向きや場所を変えるといった追加措置が必要となることがあります。

b 周波数範囲が 150 kHz ～ 80 MHz において、電界強度は 3 V/m 未満である必要があります。

携帯型及び移動型の無線通信機器と、UP-55MD との間の推奨分離距離

UP-55MD は、無線妨害放射が制御されている電磁環境内で使用することを前提としています。UP-55MD のお客様または使用者は、携帯型及び移動型無線通信機器（送信機）と UP-55MD との間の分離距離を保つことによって、電磁妨害を防ぐことができます。推奨の分離距離は、送信機器の最大出力によって、下記の通りです。

送信機の最大定格出力 W	送信機の周波数による分離距離 m		
	150 kHz ～ 80 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	80 MHz ～ 800 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	800 MHz ～ 2.5 GHz $d = 2.3\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

最大定格出力が上記にリストされていない送信機器については、送信機器のメーカーが公表する最大出力定格を P（単位：ワット（W））として、周波数に対応する式を使用して推奨分離距離 d（単位：メートル（m））を計算できます。

備考 1: 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲に対する分離距離を適用します。

備考 2: これらのガイドラインでは対応できない場合もあります。
電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

注意

本製品またはアクセサリーを廃棄するときは、関連した地域または国の法律、および関連した病院の規則にしたがって実施されなければなりません。

本機の特長

UP-55MD は、ビデオデッキなどのビデオ機器からの画像を入力し、簡単な操作でプリントするカラービデオプリンターです。

UP-55MD は、次の特長を備えています。

・高画質・高解像度プリント
フルカラー（各色 256 階調、1670 万色)、高解像度（約 379dpi 精密ヘッド使用）でプリントします。

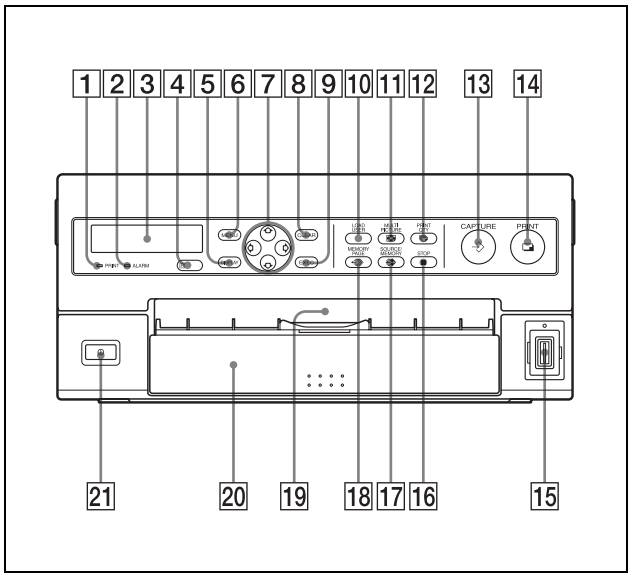
・ご使用になる状況に合わせたメニュー設定が可能
プリンターの設定を変えることにより、いろいろなプリント画を作ることができます。また、プリント画に文字（キャプション）を入れることもできます。これらの操作については、日常のプリント操作はボタン類で簡単に、必要に応じて行うプリンターの仕様設定や各種調整は、プリンターの液晶ディスプレイおよび本機に接続したモニターテレビに現れるメニュー操作で行うというように、機能により操作を分けて使いやすくなっています。

・USB フラッシュメモリー用 USB ホストポート搭載
USB フラッシュメモリーに、プリンターに取り込んだ画像データを JPEG 形式で保存できます。USB ポート装備のコンピューターを使って本機に取り込んだ画像データを見ることができます。

各部の名称と働き

ここでは、各部の名称と働きについて説明します。() 内の数字は、参照ページを示します。

前面



1 PRINT ランプ
プリント中点灯します。

2 ALARM ランプ（69）
紙づまりなど、エラーが起きたときオレンジ色に点灯します。

3 液晶ディスプレイ
モニター画面の表示とほぼ同じものを表示します。ただし、モニターテレビの画面表示と比べ表示される文字数が制約されるため、表示の方法が異なります。
メニュー操作を行っているときは、メニューのカーソルのある行を示します。エラー発生時は、メッセージを示します。
「SYSTEM SETUP」メニューで液晶ディスプレイのコントラストを調整できます。(63 ページ)

4 R リモコン受光部（17）
リモコンの先端をここに向けます。

5 DISPLAY ボタン （27、44）
通常画面が表示されている場合：管面表示（Q1、A、S など）を表示したり消したりします。押すと、数秒間現在の設定を表示します。押すたびに、ON、OFF が切り換わります。OUTPUT SETUP メニューの DISPLAY も連動して切り換わります。

メニュー画面が表示されている場合：一時的にモニター画面の管面表示を消すとき押します。押しているあいだ管面表示は消えます。

6 MENU ボタン
メニュー画面を出すときに、メニュー画面から通常画面に戻るときに押します。

7 カーソル移動キー ⇦、⇨、⇧、⇩
メニュー画面での操作に使用します。
通常画面上の分割画面では、⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンを使ってカーソルを移動させることもできます。

8 CLEAR ボタン （42、43）
メモリーに記憶された画像を消すときに押します。
本ボタンを押して消去できる画像は、「FUNCTION SETUP」メニューの設定によります。
設定が OFF の場合、CLEAR ボタンを押すと、エラー音が鳴ります。

9 EXEC ボタン
COLOR ADJUST メニュー画面で設定した値を保存したり、PRINTER SETUP メニューでユーザー設定を呼び出すとき、SYSTEM SETUP メニュー画面でユーザー設定を保存するとき押します。また、キャプションを入力するとき押します。

10 LOAD USER（ユーザー）ボタン
登録してあるユーザー設定を呼び出すときに押します。

11 MULTI PICTURE ボタン （34）
通常画面で、メモリーに記憶する画像の種類を選びます。押すと、数秒間現在の画像の種類を表示します。押すごとに、1、2、4、8、1・・・・の順に切り換わります。LAYOUT SETUP メニューの MULTI PIX も連動して切り換わります。

12 PRINT QTY ボタン （29）
プリントの枚数を設定するとき押します。10 枚まで設定できます。押すと、数秒間現在の設定枚数を表示します。PRINTER SETUP メニューの PRINT QTY も連動して切り換わります。
プリント中に本ボタンを押すと、現在プリント中のプリント枚数の設定値を変更できます。

13 CAPTURE ボタン
プリントする画像をメモリーに記憶させるときに押します。

14 PRINT ボタン
プリントするときに押します。

15 USB ホストポート
USB フラッシュメモリーを差し込みます。

ご注意

ソニー製フラッシュメモリー以外の USB デバイスを接続しないでください。

16 ■ STOP ボタン（26）
連続プリントを中止するときに押します。現在プリント中のものが終了した時点でプリントが終了します。

17 SOURCE/MEMORY ボタン
モニター画面に映し出す画像を切り換えます。押すごとに、メモリー画像と入力源の画像が切り換わります。

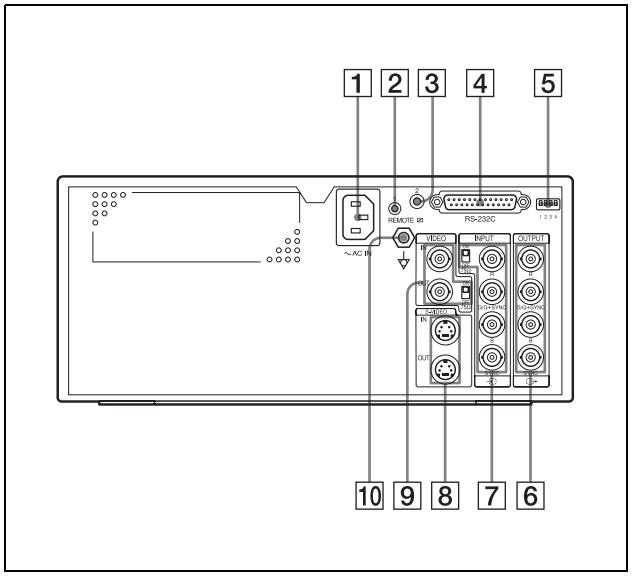
18 MEMORY PAGE ボタン （30、33、43）
使用するメモリーページを選ぶときに使います。

19 排紙口
プリント画が排出されます。
プリント画の反りの状態によっては、プリントがとまり、「プリント紙を取り出してください。」（液晶ディスプレイの場合は REMOVE PRINTS」というメッセージが出て、プリントが中断される場合があります。その場合は、プリント紙を取り除いてください。続きの枚数からプリントが再開されます。

20 給紙トレイ （15、20）
プリント用紙を入れておくトレイです。

21 ⏻ POWER スイッチ
本機の電源を ON/OFF（入／切）します。

裏面



1 **～ AC IN（電源入力）端子 （16、17）**
付属の電源コードをつなぎます。

3 極 →2 極変換プラグをお使いになる場合のご注意
アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

2 **REMOTE（リモート）1 端子 （17）**
別売りのリモートコントロールユニット RM-5500 をワイヤードリモコンとして使用するときに接続します。

3 **REMOTE（リモート）2 端子（ステレオミニジャック）（17）**
別売りのリモコン RM-91 と接続します。

4 **RS-232C コネクター （17）**
コンピューターで本機をコントロールするとき、コンピューターを接続します。

5 **ディップスイッチ**
ディップスイッチ 1 で、使用する映像方式に合わせて NTSC と PAL を切り換えます。
NTSC 映像方式を使用する場合：ディップスイッチ 1 を下側に倒します。
PAL 映像方式を使用する場合：ディップスイッチ 1 を上側に倒します。

ご注意
ディップスイッチの設定は、電源を入れる前に行ってください。電源を入れてから切り換える場合は、1 度電源を切ってから行ってください。

6 **OUTPUT（RGB/YCbCr/SYNC 映像信号出力）端子 （15）**
RGB/YCbCr 信号入力端子を持ったビデオ機器と接続します。

7 **INPUT（RGB/YCbCr/SYNC 映像信号入力）端子／ 75Ω 終端 ON/OFF スイッチ （15）**
INPUT 端子：RGB/YCbCr 信号出力端子を持ったビデオ機器と接続します。
75Ω 終端 ON/OFF スイッチ：通常は ON にしておきます。映像信号をプリンター以外の機器に分配したために信号レベルが下がってしまうときは OFF にします。

8 **S-VIDEO IN/S-VIDEO OUT（S 映像入力／ S 映像出力）端子**
S-VIDEO IN 端子：S 映像信号出力端子を持ったビデオ機器と接続します。
S-VIDEO OUT 端子：S 映像信号入力端子を持ったビデオ機器と接続します。

9 **VIDEO IN/VIDEO OUT（コンポジットビデオ信号入力／コンポジットビデオ信号出力）／ 75Ω 終端 ON/OFF スイッチ（16）**
VIDEO IN 端子：コンポジットビデオ信号出力端子を持ったビデオ機器と接続します。
VIDEO OUT 端子：コンポジットビデオ入力端子を持ったを持ったビデオ機器と接続します。
75Ω 終端 ON/OFF スイッチ：通常は ON にしておきます。映像信号をプリンター以外の機器に分配したために信号レベルが下がってしまうときは OFF にします。

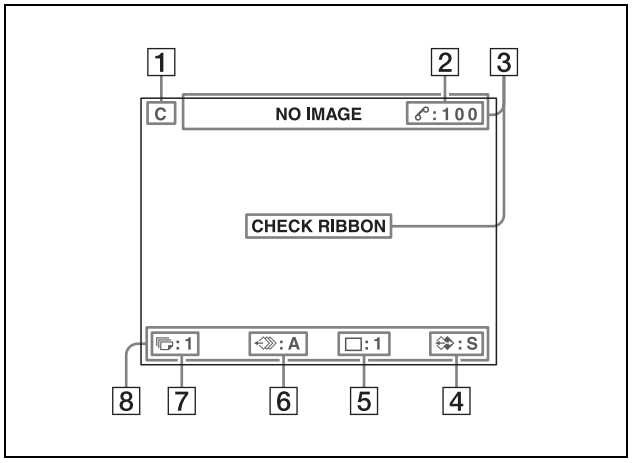
10 **等電位端子**
本機に接続した全ての機器の電位が等しくなります。

モニター画面

本機にモニターを接続した場合、モニター画面には、以下のように表示が出ます。
メニュー画面については、メニューの構成（50 ページ）をご覧ください。

通常画面

POWER スイッチを ON にし、操作が可能となると、次の通常画面が現れます。



1 C（キャプション）／F（ファイル名）表示部

プリント画にコメント（キャプション）が付く設定の場合は C と表示されます。
プリント画にファイル名を付けてプリントする設定の場合は、F と表示されます。
キャプションとファイル名の両方ともプリントする設定になっている場合は、「C」が表示されます。

2 インクリボンの残量表示部

インクリボンの残量が表示されます。

3 メッセージ表示部

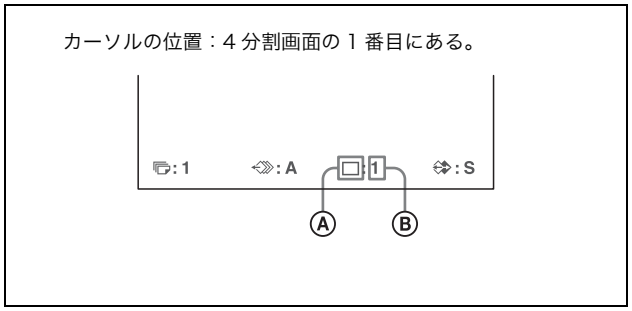
通常メッセージは、画面上部に表示されます。緊急度の高いメッセージは、画面中央部に表示されます。

4 入力信号またはメモリー画像表示部

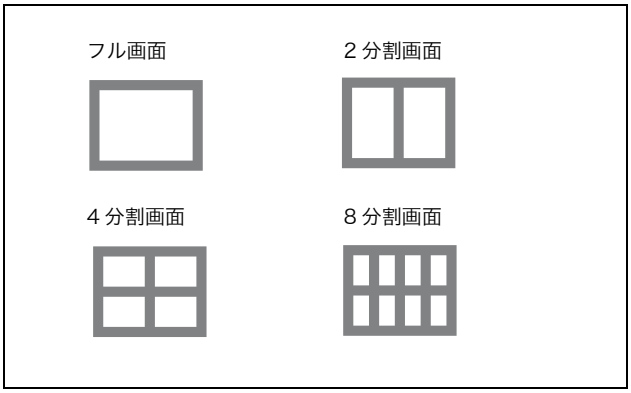
モニター画面に入力源の画像が出ている場合は、「S」と表示されます。
モニター画面にメモリーに記憶した画像（メモリー画）が出ている場合は、「M」（MEMORY）と表示されます。

5 プリンター動作モード表示部

プリンターの動作モード（分割画面の種類など）を表示します。



Ⓐ 分割画面の種類を表示します。



Ⓑ 現在カーソルのある位置を表示します。これから画像が記憶される箇所です。

6 メモリーページ表示部

選ばれているメモリーページを表示します。
プリント中のメモリーページは点滅します。プリント予約されているメモリーページは点滅します。

7 プリント枚数表示部

プリント枚数を表示します。プリント中は点滅します。

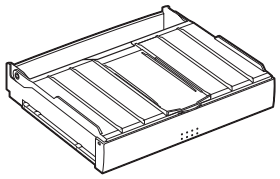
8 設定表示部

MULTI PICTURE、PRINT QTY ボタンを押すと現在の設定が表示されます。

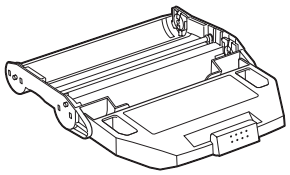
付属品を確認する

付属品を確認してください。

給紙トレイ (1)



インクリボンホルダー（1）



電源コード（1）
3 極 →2 極変換プラグ（1）
取扱説明書（1）
CD-ROM (1)
ご使用になる前に（1）
業務用製品ご相談窓口のご案内（1）

ご注意

- 梱包箱や緩衝材は、プリンターの移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをおすすめします。
- 輸送の際は、プリンターからインクリボンホルダーと給紙トレイを取りはずしてください。

接続する

プリントするには、プリントする画像の信号源となるビデオ機器などの接続と、画像やメニューを見るためのモニターテレビの接続が必要です。
各接続図には、本機に入力する信号源との接続、本機から出力する信号の各機器への接続、リモートコントロールで操作する場合の接続などをまとめて示してあります。実際の接続の際は、接続する機器に合わせて必要な信号のみを接続してください。

ご注意

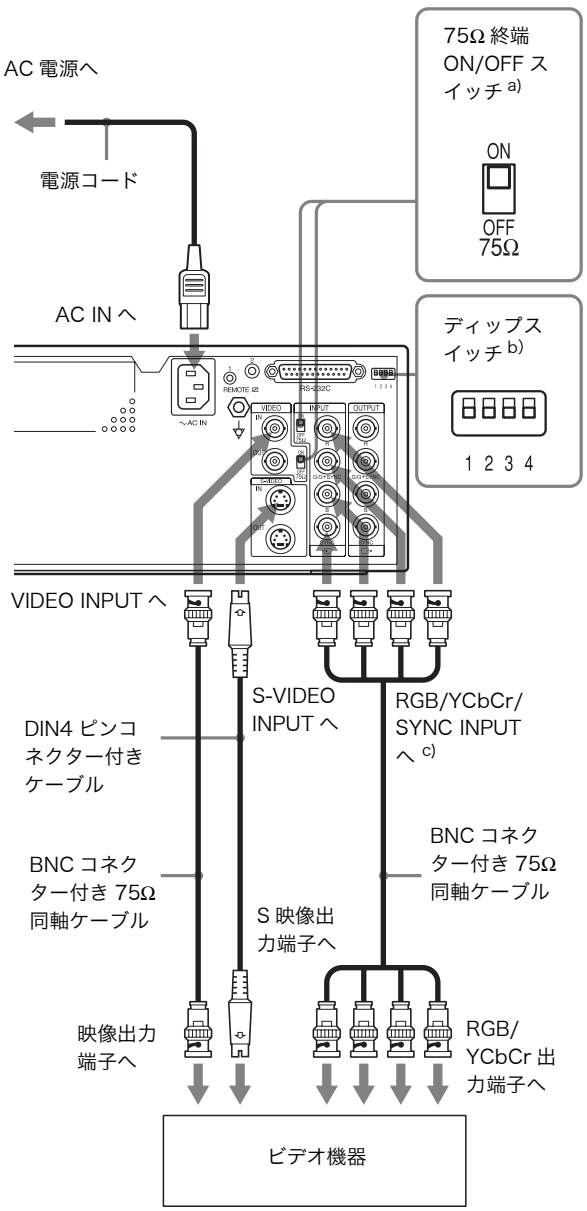
- 接続するときはすべての機器の電源を必ず切ってください。
- 電源コードは最後に接続してください。

3 極 →2 極変換プラグを使うときのご注意

AC 電源コンセントが 2 芯の場合は、付属の 3 極 →2 極変換プラグに付いている緑色のアース線を必ず接続してください。
アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

ビデオ機器を接続する

ビデオ機器などからの画像を記憶するために次の接続をします。接続はまとめて示してあります。実際の接続の際は、接続する機器に合わせて必要な信号のみを接続してください。



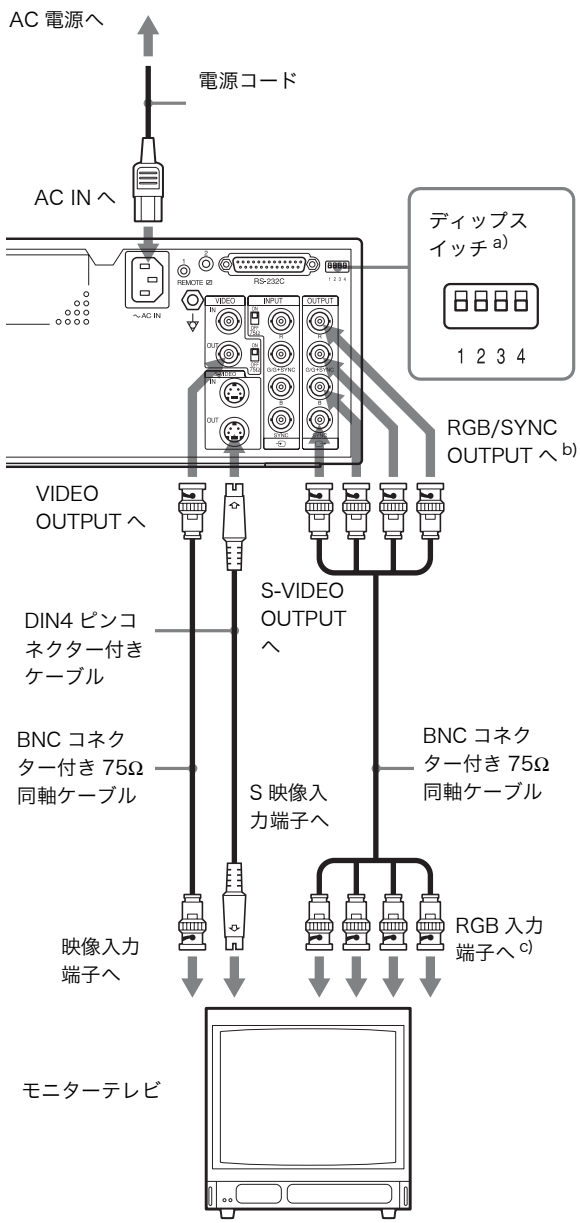
a) 通常は ON に設定しておきます。信号をプリンター以外の機器に分配したため信号レベルが下がってしまう場合は、OFF にします。

b) 使用する映像方式に合わせて NTSC と PAL を切り換えます。NTSC 映像方式を使用する場合：ディップスイッチ 1 を下側に倒します。PAL 映像方式を使用する場合：ディップスイッチ 1 を上側に倒します。ディップスイッチの設定は、電源を入れる前に行ってください。電源を入れてから切り換える場合は、1 度電源を切ってから行ってください。

c) YCbCr 入力のときは、SYNC 端子には接続しません。

モニターを接続する

プリントする画像、メモリーに記憶された画像を見るためにはモニターテレビを次のように接続してください。



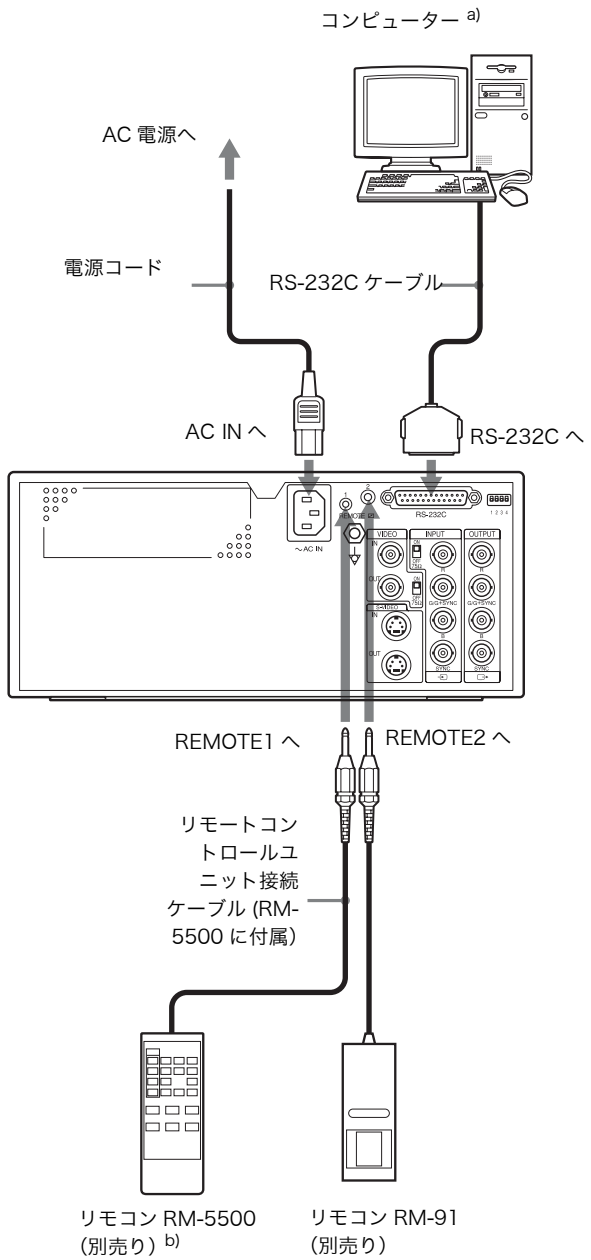
a) 使用する映像方式に合わせて NTSC と PAL を切り換えます。NTSC 映像方式を使用する場合：ディップスイッチ 1 を下側に倒します。PAL 映像方式を使用する場合：ディップスイッチ 1 を上側に倒します。ディップスイッチの設定は、電源を入れる前に行ってください。電源を入れてから切り換える場合は、1 度電源を切ってから行ってください。

b) RGB SYNC OUTPUT 端子に RGB（SYNC 無し）のみを接続する場合は、OUTPUT SETUP メニューの「OUTPUT SYNC 」の項目を ON に設定してください。

c) YCbCr 出力のときは、SYNC 端子には接続しません。

リモコンを接続する

別売りのリモートコントロールユニット RM-5500、RM-91、あるいはコンピューターなどを接続して、本機をリモートコントロールできます。



a) コンピューターから本機をコントロールするときは、ボーレートの設定が必要です。「本機とコンピューター間の通信速度を選ぶ」（63 ページ）

b) REMOTE 1 に接続せずに RM-5500 をワイヤレスリモコンとして使うこともできます。この場合は、リモコンの先端をプリンターのリモコン受光部に向けます。リモコンで操作できる範囲は、プリンターから 3 メートル以内です。

プリントする前に

プリンターの組み立てと接続が終わったらプリントを始める前に以下の準備を行ってください。

- インクリボンを取り付ける（下記）
- プリント紙を入れる（20 ページ）
- 入力信号を選ぶ（22 ページ）
- 日付け・時刻を設定する（23 ページ）

ご注意

- インクリボンとプリント紙はプリントパックとしてセットになっています。取り付ける前に、インクリボンとプリント紙の組み合わせが正しいかどうか確認してください（「本機で使用可能なインクリボンとプリント紙」(67 ページ)）。
- インクリボンとプリント紙は、どちらかが残っていても新しいインクリボンとプリント紙を同時に交換してください。
- 必ず本機専用のインクリボンとプリント紙をお使いください。（「本機で使用可能なインクリボンとプリント紙」(67 ページ)）専用以外のインクリボンとプリント紙をお使いになると誤動作や故障の原因となります。

インクリボンカートリッジを取り付ける

付属のインクリボンホルダーにインクリボンを取り付けたものをインクリボンカートリッジと呼びます。ここでは、インクリボンをインクリボンホルダーに取り付け、インクリボンカートリッジを収納部に取り付ける手順を説明します。

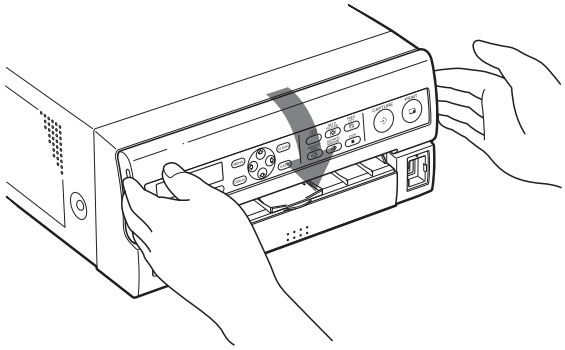
初めてプリンターをお使いになる場合は、手順 4 から初めてください。

ご注意

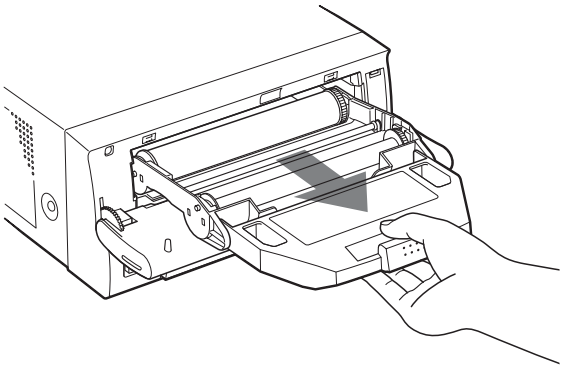
- **プリンターを初めてお使いの場合は、感熱ヘッドの位置がずれている場合があります。フロントドアを閉じた状態で電源スイッチを入れてヘッドを移動させてから、インクリボンカートリッジを取り付けてください。**
- 印刷されないでプリント紙が排出され、「リボンがありません　リボンをとりかえてください」（液晶ディスプレイの場合は「RIBBON END」というメッセージが表示された場合は、インクリボンがなくなりましたのでリボンの交換をしてください。排出されたプリント紙はご使用にならないでください。
- 使用済みのインクリボンを再度使用しないでください。
- インクリボンを巻き戻して使用しないでください。
- インクリボンは、表面に触れたりほこりの多いところに置かないでください。手あかやほこりが付着すると、プ

リント画が汚れたり、感熱ヘッドの故障の原因になることがあります。

1 フロントドアを手前に引いて開ける。



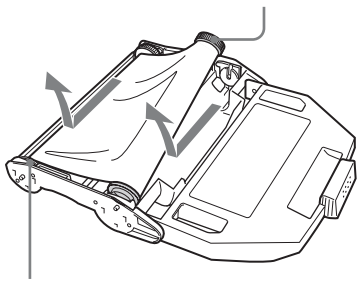
2 インクリボンカートリッジを取り出す。



インクリボンカートリッジが取り出せないときは
感熱ヘッドの位置がずれている可能性があります。フロントドアを閉じて、電源を入れ直し、しばらくしてから、手順 1 から操作をやり直してください。

3 使用済みインクリボンをインクリボンホルダーから取りはずす。

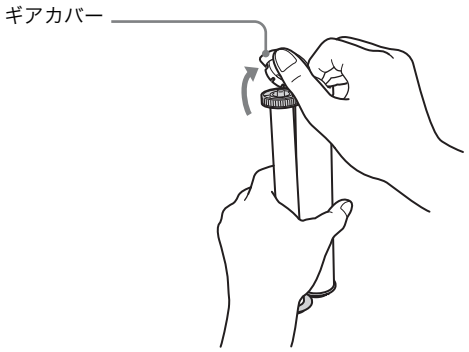
巻き取り側（インクリボンのギアがグレイの側）を矢印の方向に押しながら、ギア側よりはずす。



送り側（インクリボンのギアが白い側）を矢印の方向に押しながら、ギア側よりはずす。

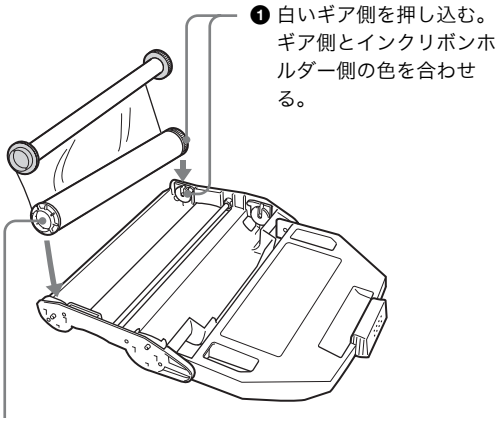
4 インクリボンをインクリボンホルダーに装着する。

① インクリボンをしっかりとにぎり、ギアカバーをはずす。

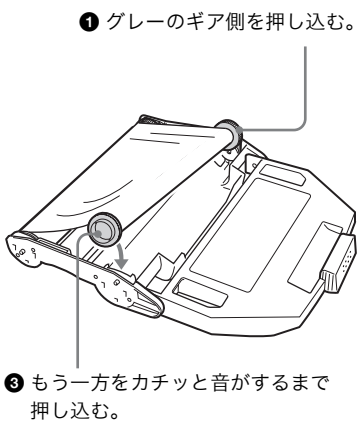


インクリボンを落とさないように、しっかりと持つ。

② インクリボンのギアが白い側を図のようにはめ込む。



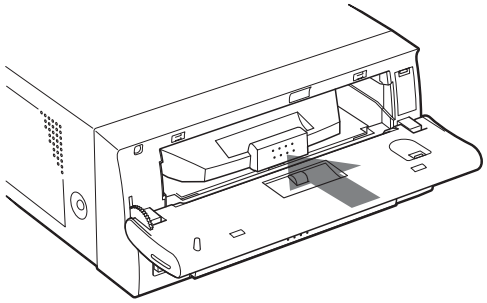
③ ギアがグレーの側を手順 ② と同様にはめ込む。



④ インクリボンのたるみを取る。

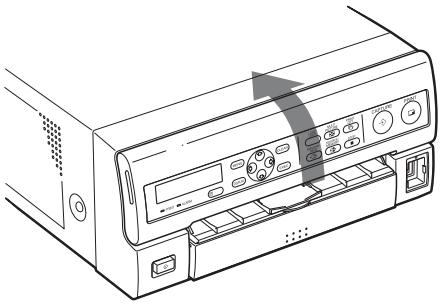
たるんだまま差し込むと、インクリボンカートリッジをプリンターに挿入する際にリボンが傷んでしまうことがあります。

5 インクリボンカートリッジを止まるまで押し込む。



インクリボンカートリッジが入らないときは
フロントドアを閉じて、電源を入れ直してから、再度インクリボンカートリッジを入れてください。

6 フロントドアを閉じる。

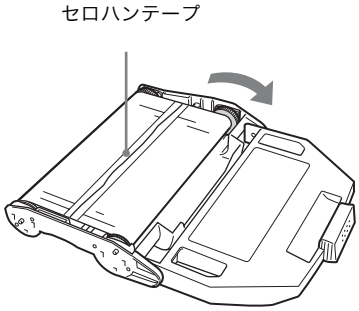


ご注意

インクリボンを取り扱うときは
- 使用済みのインクリボンを再度使用しないでください。
- インクリボンは、表面に触れたりほこりの多いところに置かないでください。手あかやほこりが付着するとプリント画が汚れたり、ヘッドの故障の原因になることがあります。

インクリボンを保存するときは
- 温度や湿度の高いところでの保存は避けてください。
- 使用途中で長期保存する場合は、製品の入っていた防湿袋にいれて保存してください。

インクリボンが途中で切れてしまったときは
透明なセロハンテープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。



セロハンテープが見えなくなるまで巻き取り側のグレイのギアを矢印の方向に回してインクリボンを巻き取る。このとき、インクリボンがたるまないようにご注意ください。

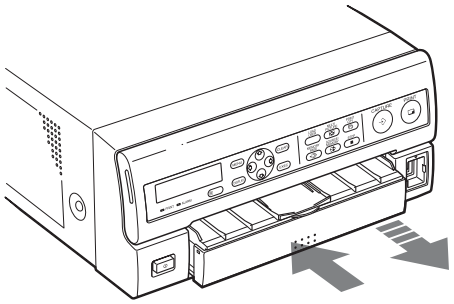
給紙トレイ・プリント紙を取り付ける

次の手順で、給紙トレイにプリント紙を入れ、プリンター本体に取り付けてください。プリント面には手を触れないように注意してください。
初めてプリンターをお使いになる場合は、手順 2 から初めてください。

ご注意

- プリント紙は本機で推奨しているものをお使いください。それ以外のものをお使いになると、紙づまりなど、故障の原因になりますのでご注意ください。インクリボンとプリント紙について詳しくは、「本機で使用可能なインクリボンとプリント紙」（67 ページ）をご覧ください。
- 印刷されないでプリント紙が排出され、「リボンがありません　リボンをとりかえてください」（液晶ディスプレイの場合は「RIBBON END」）が表示された場合は、インクリボンがなくなりましたのでリボンの交換をし、プリント紙を補給してください。排出されたプリント紙はご使用にならないでください。
- 給紙トレイを着脱するときにプリンターが動いて落下する可能性がありますのでご注意ください。

1 給紙トレイを押して取り出す。

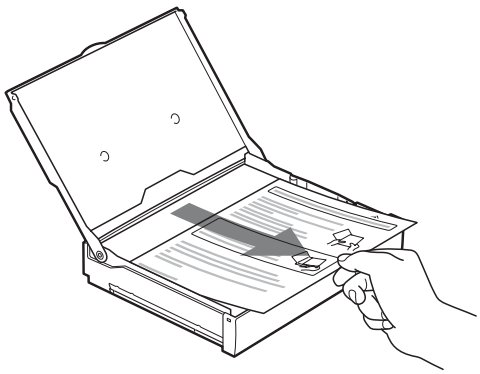


2 プリント面を上にして保護紙と一緒にプリント紙を給紙トレイに入れる。

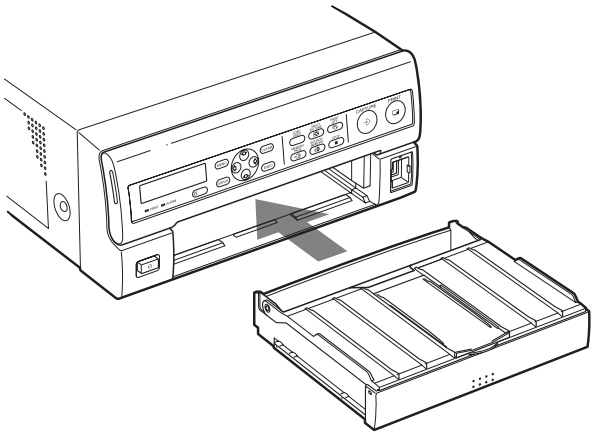
ご注意

- プリント紙のみを追加しないでください。プリント紙がなくなりましたら、プリント紙を補給してリボンを交換してください。なお、途中でプリント紙を補給した場合、紙づまりの原因になります。
- プリント紙を取り扱うときはプリント面に触れないでください。手あかやほこりが付着するとプリント面に汚れを生ずることがあります。取り扱うときは、プリント面保護紙を付けたまま取り扱い、プリント面が汚れないようにします。
- **トレイに紙が完全に収まるよう正しく入れてください。反りのある紙を使うと、トレイから紙がはみ出し、給紙できないことがあります。必ず、プリント面保護紙（白色で注意文が印刷されています）ごとさばいて反りをなくしてから使ってください。**

3 保護紙を取り除く。



4 給紙トレイをカチッと音がするまで差し込む。



ご注意

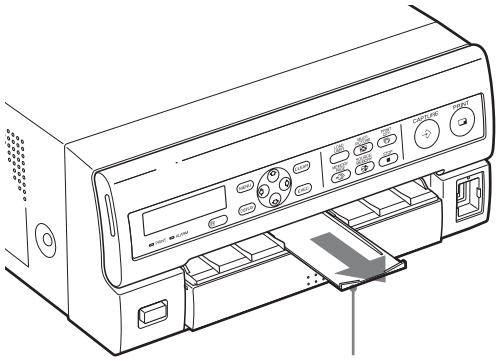
給紙トレイが奥まで差し込めない場合、給紙トレイ口にプリント紙があるか確認してください。あった場合は取り除いてください。

排紙ストッパーの使いかた

排紙されたプリント紙をためる場合は、給紙トレイのストッパーをカチッと音がするまで引き出してご使用ください。

ご注意

排紙された紙を 10 枚以上ためないでください。紙づまりの原因となります。



ストッパーをカチッと音がするまで引き出す。

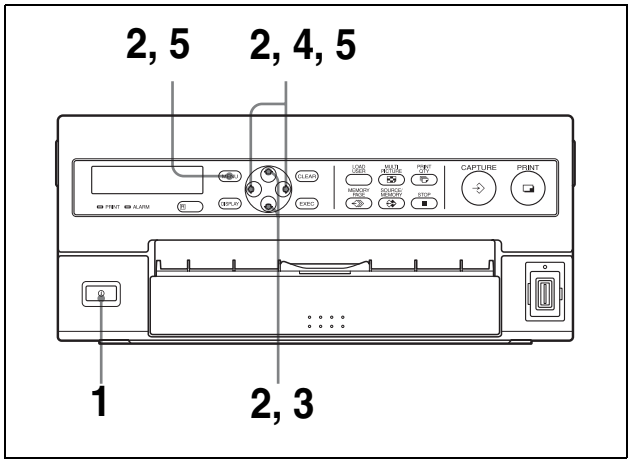
プリント紙を保存するときは

・湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。

・使用途中で本体から取りはずして長期保存する場合は、プリント紙の入っていた袋などに入れて保存してください。

入力信号を選ぶ

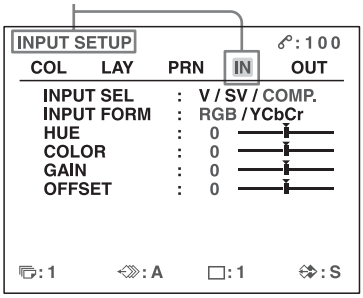
プリンター裏面の入力端子に接続したビデオ機器からの信号に合わせて入力信号を選びます。



1 モニターとプリンターの電源スイッチを入れる。

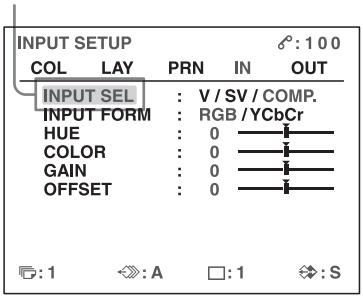
2 MENU ボタンを押し、⇧、⇩、⇦、⇨ ボタンを押して INPUT SETUP メニューを表示させる。

⇧、⇩、⇦、⇨ ボタンで「IN」を緑色に点灯させると、「INPUT SETUP」が表示される。



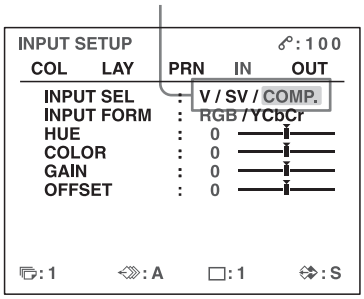
3 ⇧、⇩ ボタンで「INPUT SEL」を選ぶ。

⇧、⇩ ボタンを押して「INPUT SEL」を緑色に点灯させる。



4 ⇦、⇨ ボタンでプリントする入力信号を選ぶ。

⇦、⇨ ボタンを押して希望の入力信号を緑色に点灯させる。選択した入力信号は点灯し、同時に全体表示に変わる。



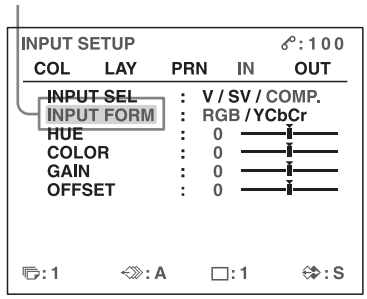
プリントしたい画像	画面上の表示（選ばれた入力信号は略表示から全体表示になる）
裏面の VIDEO IN 端子に接続したビデオ機器からの画像	V → VIDEO
裏面の S VIDEO IN 端子に接続したビデオ機器からの画像	SV → S-VIDEO
裏面の RGB/YCbCr/SYNC INPUT 端子に接続したビデオ機器からの画像	C → COMP.

COMP. を選択した場合

裏面の RGB/YCbCr INPUT 端子に入力した画像データをプリントする場合は、入力するコンポーネント信号のタイプに合わせて選択します。

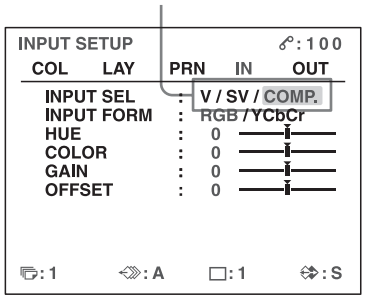
① ⇩ ボタンを押して「INPUT FORM」を選ぶ。

⇧、⇩ ボタンを押して「INPUT FORM」を緑色に点灯させる。



② ⇦、⇨ ボタンで入力信号のタイプを選ぶ。

⇦、⇨ ボタンを押して希望の入力信号を緑色に点灯させる。



RGB/YCbCr/SYNC INPUT 端子に入力する信号	選択肢
RGB 入力信号のとき	RGB
YCbCr 入力信号のとき	YCbCr

RGB/YCbCr OUTPUT 端子からは、INPUT FORM で選択された信号と同じフォーマットの信号が出力されます。

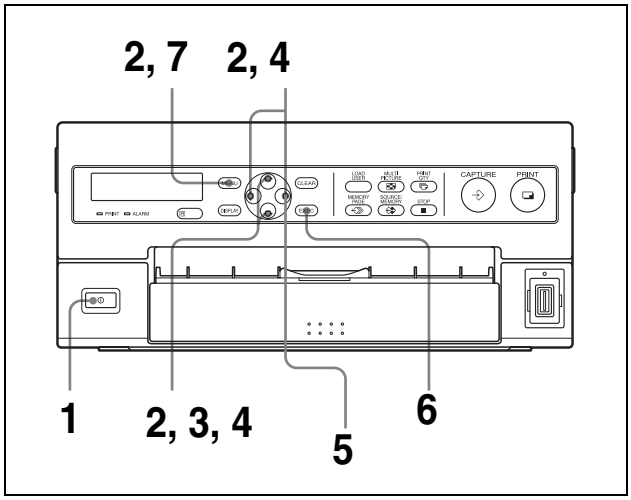
5 MENU ボタンを押す。
標準画面に戻ります。

日付・時刻を設定する

本機では、取り込んだ画像データを外付けの USB フラッシュメモリーに JPEG ファイルとして保存するとき日付情報を付けます。また、プリントした時の日付けをつけてプリントできます。正しい日付けをプリントしたり、ファイルに正しい日付情報を付けるには日付け・時刻を設定しておく必要があります。

ご注意

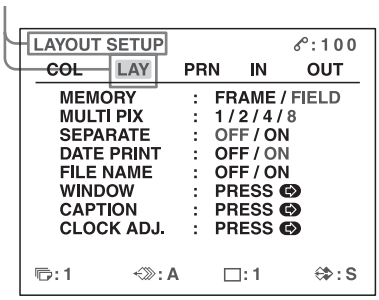
出荷時組込みの電池はモニター用です。時刻表示が大きく遅れる場合は電池切れですので、ソニーのサービス窓口または営業担当者に交換をご依頼ください。



1 モニターとプリンターの電源スイッチを入れる。

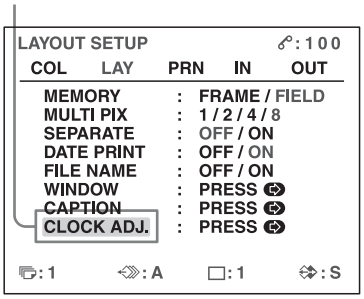
2 MENU ボタンを押し、⇧、⇩、⇦、⇨ ボタンを押して LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

⇧、⇩、⇦、⇨ ボタンで「LAY」を点灯させると、「LAYOUT SETUP」が表示される。

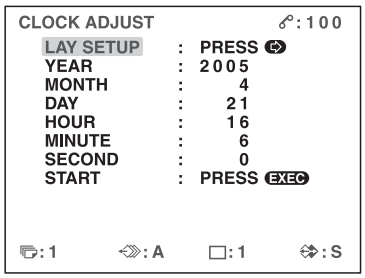


3 ⇧、⇩ ボタンで「CLOCK ADJUST」を選ぶ。

⇧、⇩ ボタンを押して「CLOCK ADJUST」を点灯させる。



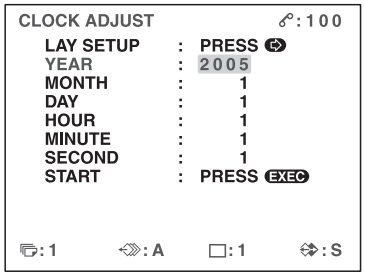
CLOCK ADJUST 画面が表示されます。



4 年、月、日、時、分、秒をそれぞれ設定する。

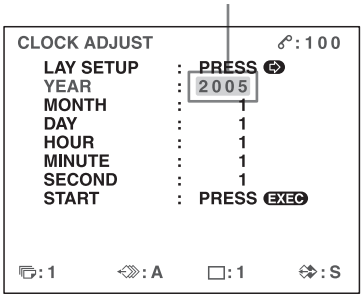
年を設定するには

① ⇩ ボタンを押す。
YEAR の欄が緑色に点灯します。



② ⇦、⇨ ボタンを押して、希望年を表示させる。

希望年が表示されるまで、⇦、⇨ ボタンを押す。

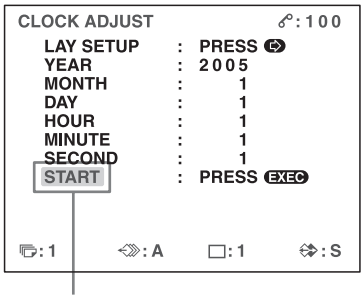


③ ⇩ ボタンを押して、MONTH を点灯させる。

④ 手順 ② を繰り返して月を設定する。

⑤ 手順 ①、② を繰り返して秒（SECOND）まで設定する。
時間（HOUR）は、24 時間表示です。

5 ⇩ ボタンを押して、START を点灯させる。



START を緑色に点灯させる。

6 EXEC ボタンを押す。
内蔵時計が動き出します。

7 MENU ボタンを押す。
通常画面に戻ります。

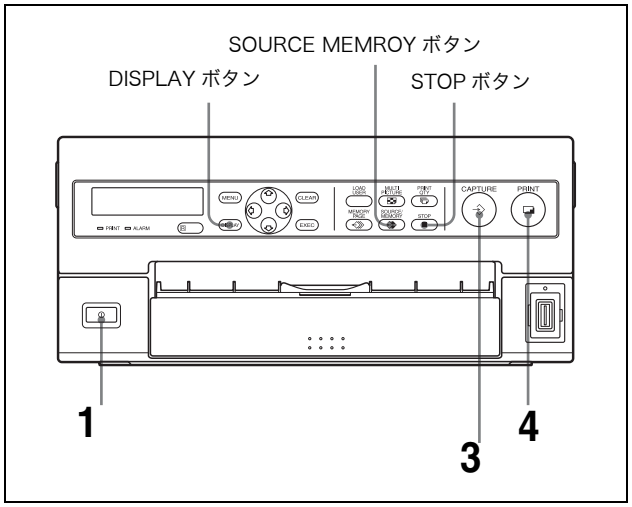
1 枚に 1 画面をプリントする

プリント紙 1 枚全体に 1 画面をプリントします。（これをフル画面と呼びます。）この操作のしかたが、プリントするときの基本的な操作手順になります。

確認

ここでの操作をする前に、以下のことを済ませておいてください。済ませていない場合は、参照ページをご覧になってください。各設定は電源を切ってもそのまま残ります。

- ビデオ機器などと接続します。（15 ページ）
- インクリボンとプリント紙の組み合わせ、および正しく取り付けられていることを確認します。（17、20、67 ページ）
- 入力信号を選びます。（22 ページ）
- フル画面でプリントするように設定をします。（34 ページ）
- メモリーページを選びます。（33 ページ）
- 色調節（LOAD COLOR 番号など）を確認します。（55 ページ）



1 モニターとプリンターの電源スイッチを入れる。

2 ビデオ機器などの入力源からの画像をモニター画面に映し出す。
この操作はビデオ機器など接続した機器で行います

モニター画面に映し出されている画像が、入力源から送られてきている画像であることを示す。

3 プリントしたい画像が現れたら、CAPTURE ボタンを押す。
プリンターのメモリーに画像が記憶されます。
モニター画面には、メモリーに記憶された画像が映し出されます。
プリンターの FUNCTION SETUP 機能の設定で、モニター画面の画像が自動的に入力画に切り換わるモードを選ぶこともできます。（35 ページ）

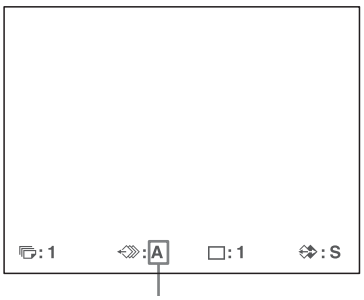
モニター画面に映し出されている画像が、プリンターのメモリーに記憶されたものであることを示す。

記憶した画像がぶれていたら

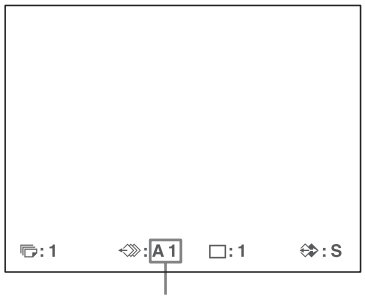
速く動いている画像を記憶させると、画像がぶれてしまうことがあります。メモリーモードを FIELD に変えてプリントすることにより、プリント画からぶれを取り除くことができます。この場合、解像度が多少落ちます。
LAYOUT SETUP メニュー上で、FIELD（フィールド）モードを選びます。（32 ページ）

ご注意

通常は、「FRAME」の設定でプリントすることをおすすめいたします。（ご購入時は、「FRAME」に設定されています。）設定は、画面下部の表示で確認できます。



フレームモードが選択されている場合



フィールドモードが選択されている場合

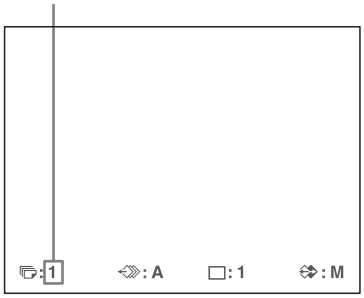
メモリーに記憶した画像を変更するには

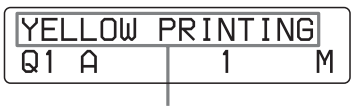
① 画面にメモリー画が表示されている場合は、SOURCE/MEMORY ボタンを押して、入力画像を表示させる。

② プリントしたい画像が現れたら、CAPTURE ボタンを押す。
メモリーには、前に記憶されていた画像に変わって新しい画像が記憶されます。

4 PRINT ボタンを押す。
プリント時間は、プリンターの設定で変わります。

モニター画面の場合、プリント中プリントされている色が表示される。：プリント開始 ⟶ 黄色 ⟶ 紫色 ⟶ 水色 ⟶ プリント終了





液晶ディスプレイの場合、プリントされている色が文字で表示される。

ご注意

- プリント中は電源を切らないでください。
プリント中に電源を切ると、プリント紙が排出されず紙づまりの原因になる場合があります。
- プリント中にフロントドアを開けたり、給紙トレイを取り外さないでください。プリント紙が排出されず、紙づまりの原因になる場合があります。
- 給紙トレイにプリント紙を 10 枚以上ためないでください。紙づまりの原因になります。10 枚以下の場合でもプリント画の状態によっては、プリントがとまり「プリント紙を取り出してください」（液晶ディスプレイの場合は「REMOVE PRINTS」）というメッセージが出て、プリントが中断される場合があります。その場合は、プリント紙を取り除いてください。自動的にプリントが再開されます。
- プリント中は、動作モードの変更や WINDOW SETUP 画面上での調節などができなくなります。

プリントを止めるには

1 枚のプリント画を作成している場合：途中で止めることはできません。

同じプリント画を連続して複数枚プリントしている場合：STOP ボタンを押します。現在プリント中のものが終了した時点でプリントが終了します。また、プリント予約されたものはキャンセルされます。
枚数の設定については、「枚数を設定するには」（29 ページ）をご覧ください。

プリントできないとき

PRINT ボタンを押してもプリントできないときは、モニター画面または液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。そのような場合は、「メッセージ一覧」(69 ページ) をご覧ください。

高速でプリントするには

PRINTER SETUP メニューの「PRN SPEED」を HIGH に設定します。

PRN SPEED	内容
NORMAL	通常のスピードでプリント画を作成する。
HIGH	高速でプリント画を作成する。

メニュー画面の操作については、「メニューの基本操作」(51 ページ) をご覧ください。

画面表示の下に隠れている画像を確認したいときは

画面表示の文字 (Q1、A など) やインクリボンの種類および残り枚数表示の下に確認したい画像が隠れてしまっているときなどに、DISPLAY ボタンを押して、画面の文字を消すことができます。「モニター画面の管面表示を消す」(44 ページ)。またインクリボンの種類および残り枚数を表示させないようにしておくこともできます。「インクリボンの残量を表示させる」(63 ページ)

プリント画に黒い線が入っていたときは

モニター画面上では入っていないのに、プリントすると黒い線が入ってしまうときがあります。このときは、黒い線が入らないように調整することができます。「プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する」(57 ページ)

プリント画の色がきれいに出ないときは

接続機器に合わせて入力信号の色調の補正、プリント画の画質の調整などを行ってよりきれいなプリント画を作ることができます。「プリント画の画質を調整する」(55 ページ)、「入力映像の色調を補正する」(53 ページ)。また、プリントパックにはペアごとに色のばらつきがある場合があります。新しいインクリボンとプリント紙を取り付けたときは、カラーバランスの調整を行うことをおすすめします。「カラーバランスを調整する」(59 ページ)

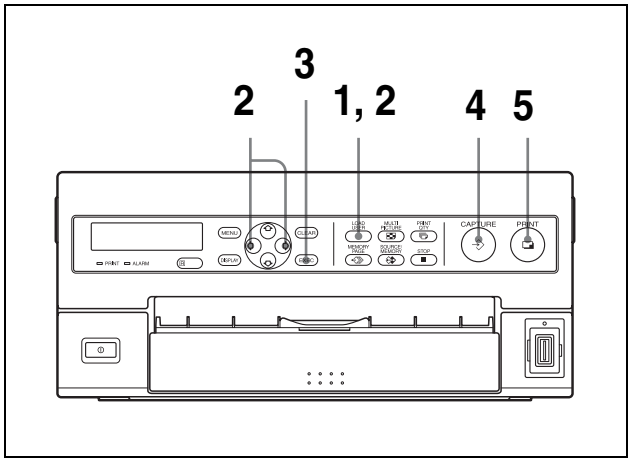
プリント画を保存するときは

- プリント画は光の当たらない室温以下のところに保存してください。
- プリント画に粘着テープをはったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑材を含むものに触れさせないでください。
- プリント画にアルコールなどの揮発性有機溶剤をこぼさないようにしてください。

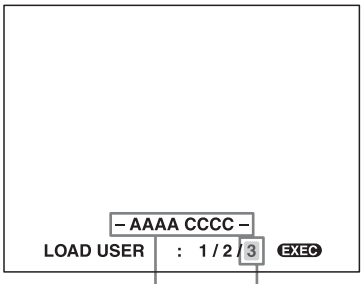
ユーザー登録した内容でプリントする

本機のメニュー画面で行えるすべての設定や調整などをユーザー設定として 3 種類登録しておくことができます。(「調整値をユーザー設定として登録する」(63 ページ))
プリントするときは、ユーザー設定番号を選ぶだけで希望通りの設定のプリント画ができます。
希望のユーザー設定を選んだ後、設定や調整を変更してプリントすることもできます。
ユーザー設定は次のいずれかの操作で選択できます。
- LOAD USER ボタンで選択する。
- メニュー画面上で選択する。

LOAD USER ボタンを使って選択するには

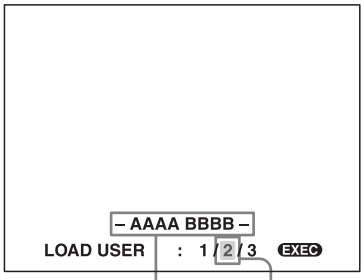


1 LOAD USER ボタンを押す。
現在選択されているユーザー名が表示されます。



2 LOAD USER ボタン、または ⇦、⇨ ボタンを押して希望のユーザー設定を選ぶ。

押すごとに、ユーザー設定は変わります。3 秒経つと、ユーザー設定の表示は消えます。表示されている間に選択します。



選択されたユーザー番号のユーザー名が表示される。

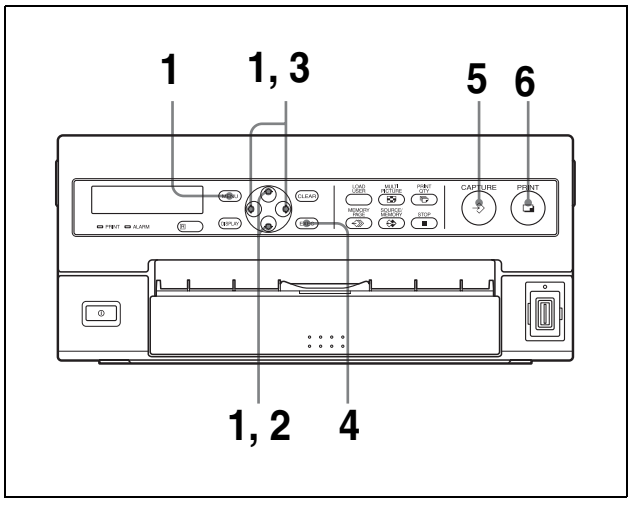
希望のユーザー番号を点灯させる。

3 EXEC ボタンを押す。
プリンターは、手順 2 で選んだユーザー設定の仕様に切り換わります。

4 プリントしたい画像が現れたら、CAPTURE ボタンを押す。
プリンターは手順 3 で選んだユーザー設定に従ってプリンターのメモリーに画像を記憶します。

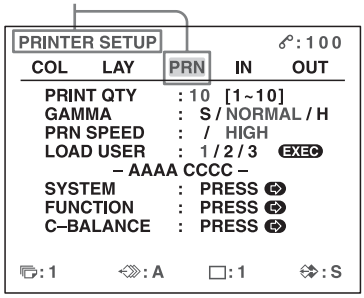
5 PRINT ボタンを押します。
プリンターは手順 2 で選んだユーザー設定に従ってプリントします。

メニュー画面上で選択するには



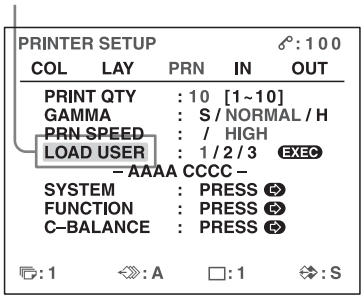
1 MENU ボタンを押し、⇧、⇩、⇦、⇨ ボタンを押して PRINTER SETUP メニューを表示させる。

⇧、⇩、⇦、⇨ ボタンで「PRN」を緑色に点灯させると、「PRINTER SETUP」が表示される。



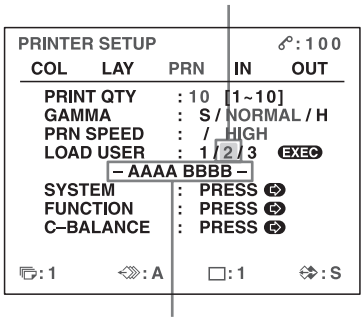
2 ⇧、⇩ ボタンで「LOAD USER」を選ぶ。

⇧、⇩ ボタンを押して「LOAD USER」を緑色に点灯させる。現在選択されているユーザー設定が点灯している。



3 ⇦、⇨ ボタンで希望のユーザー設定を選ぶ。

⇦、⇨ ボタンを押して希望のユーザー設定を緑色に点灯させる。



現在選択されているユーザー番号のユーザー名が表示される。

4 EXEC ボタンを押す。
プリンターは、手順 3 で選んだユーザー設定の仕様に切り換わります。

5 プリントしたい画像が現れたら、CAPTURE ボタンを押す。
プリンターは手順 3 で選んだユーザー設定に従ってプリンターのメモリーに画像を記憶します。

6 PRINT ボタンを押します。
プリンターは手順 3 で選んだユーザー設定に従ってプリントします。

同じプリント画を連続してプリントする

同じプリント画を続けて 10 枚までプリントできます。

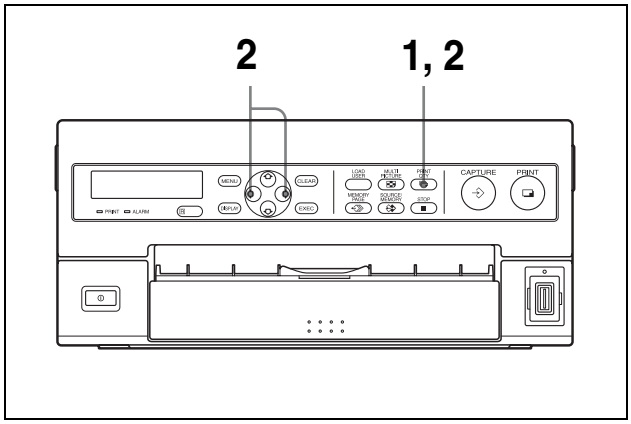
枚数を設定するには

次のいずれかの操作でプリント枚数を設定します。
・ PRINT QTY ボタンで指定する。この場合は、ボタンを押して枚数を減らすことはできません。
・ メニュー画面上で設定する。
プリントする前、または、プリント中に、枚数を変更できます。

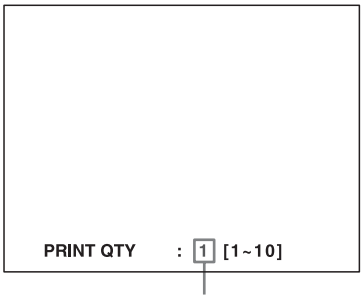
ご注意

プリント中に枚数を変更したときは、現在プリント中の枚数のみ変更されます。プリントが終了すると、プリントする前に設定したプリント枚数に戻ります。

PRINT QTY ボタンで枚数を指定するには

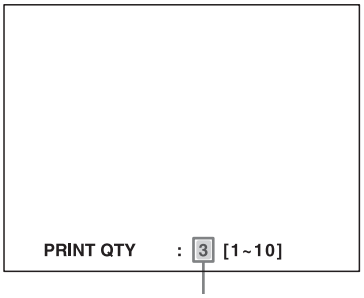


1 PRINT QTY ボタンを押す。
次の画面が現れます。数秒後に通常画面に戻ります。



現在の設定枚数。

2 手順 1 で現れた画像が表示されている間に PRINT QTY ボタンを押して、希望の枚数を表示させる。
PRINT QTY ボタンを押すごとに、1 枚ずつ増えます。10 までいくと 1 に戻ります。
または、⇨ ボタンを押しても、1 枚ずつ増えます。10 までいくと 1 に戻ります。



希望の枚数が現れるまで PRINT QTY ボタン、または ⇨ ボタンを押す。

枚数を減らすには

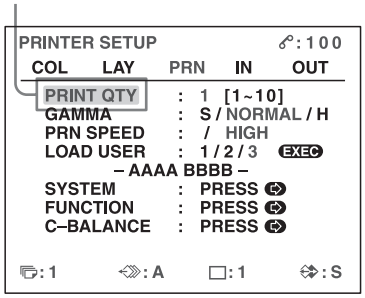
手順 1 で現れた画面が表示されている間に、⇦ ボタンを押すと、1 枚ずつ減ります。1 までいくと 10 になります。

メニュー画面上で指定するには

1 「メニュー画面上で選択するには」（28 ページ）の手順 1 の操作で PRINTER SETUP メニューを表示させる。

2 ⇧、⇩ ボタンで「PRINT QTY」を選ぶ。

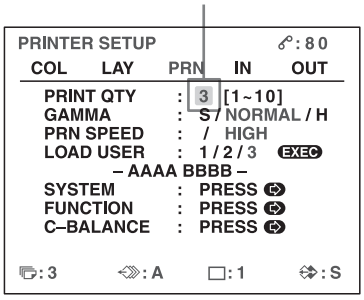
⇧、⇩ ボタンを押して「PRINT QTY」を緑色に点灯させる。



3 ⇦、⇨ ボタンで枚数を指定する。

枚数の指定	押すボタン
枚数を減らすとき	⇦
枚数を増やすとき	⇨

⇦、⇨ ボタンを押して希望の枚数を表示させる。



4 MENU ボタンを押す。
標準画面に戻ります。

ご注意

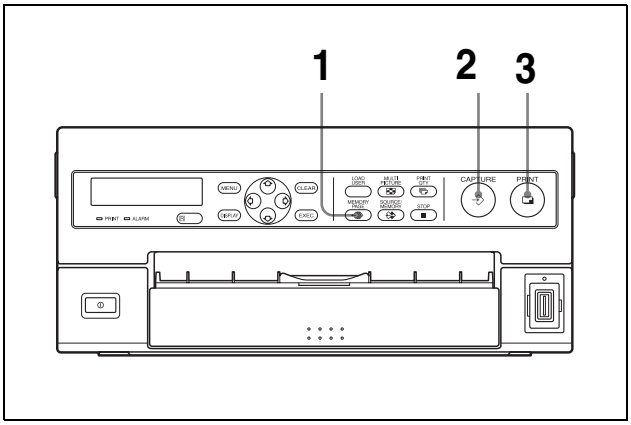
連続してプリントしているとき、排出されたプリント画の状態によっては、プリントが中断され、「プリント紙を取り出してください」（液晶ディスプレイの場合は「REMOVE PRINTS」）というメッセージが出る場合があります。その場合は、プリント紙を取り除いてください。続きの枚数からプリントが再開されます。

プリント中にプリント紙がなくなったときは

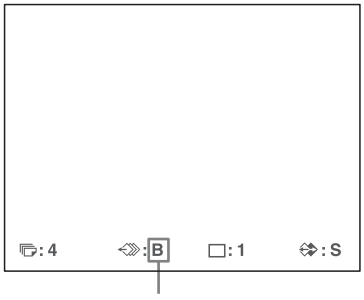
プリンターはプリント動作を終了します。このとき、設定枚数は、元の設定に戻ります。例えば、Q5 の設定でプリント開始し、Q3 で終了しても、プリント紙を補給して（「給紙トレイ・プリント紙を取り付ける」（20 ページ））、もう一度 PRINT ボタンを押すと、5 枚プリントされます。残りの枚数だけをプリントしたい場合は、枚数を設定し直してください。

プリント中に別の画像のプリントを予約する

プリント中に、別のメモリーページを選んで画像を記憶し、次のプリントを予約できます。
使用できるメモリーページは、プリント画の種類と設定により異なります。「メモリーページについて」（33 ページ）



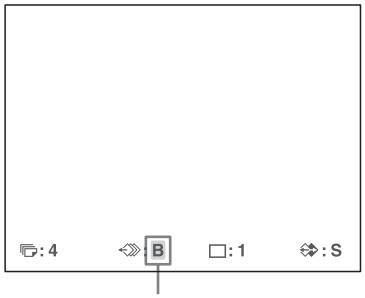
1 MEMORY PAGE ボタンでメモリーページを選ぶ。
MEMORY PAGE ボタンを押すごとに、メモリーページが変わります。



画像を記憶できるメモリーページは点滅していません。

2 プリントしたい画像が現れたら、CAPTURE ボタンを押す。

3 PRINT ボタンを押す。
プリントが予約されました。現在プリント中のものが終わったら、引き続きプリントされます。



予約されたメモリーページ（モニター画面上では、点滅）プリントが終わるとモニター画面上のメモリーページ点滅から点灯に変わる。

ご注意

すでにプリント予約されているメモリーページ（点滅）には、画像を記憶できません。このような場合は、「しばらくお待ちください　プリント中のメモリーです」」（液晶ディスプレイの場合は「PLEASE WAIT PRINTING MEMORY」）というメッセージが出ます。

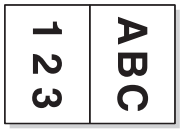
4 残りのメモリーページも予約するには、手順 1、2、3 を繰り返す。

いろいろなプリント画を作る

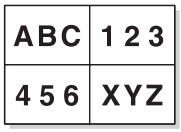
本機では、数種類の画像をメモリーに取り込み、記憶させておくことができます。また、プリントのしかたを変えることにより、いろいろなプリント画を作ることができます。

フル画面

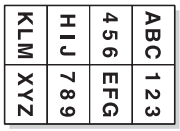
2 分割画面



4 分割画面



8 分割画面



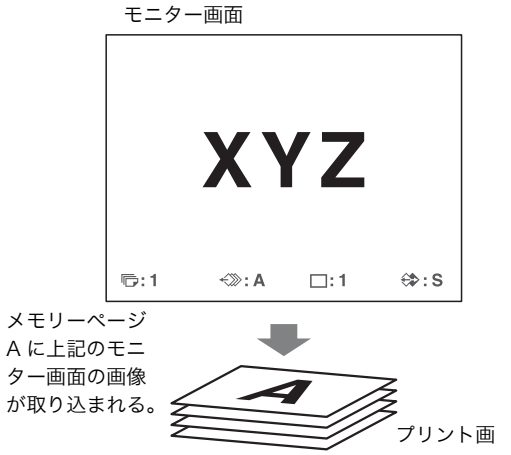
各分割画面の画像間に白枠を付けることもできます。「白枠付き分割画面をプリントするには」（37 ページ）

メモリーモードについて ― メモリーモードを選ぶ

フレームモード／フィールドモードについて

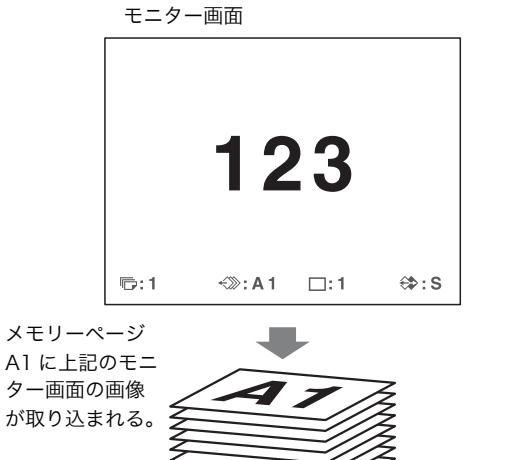
プリントするには、まずプリントする画像をプリンターのメモリーに記憶させます。
メモリーには、フレームモードとフィールドモードの 2 種類があります。

フレームモード：1 枚のメモリーに画像を記憶します。高解像度のプリント画が得られます。



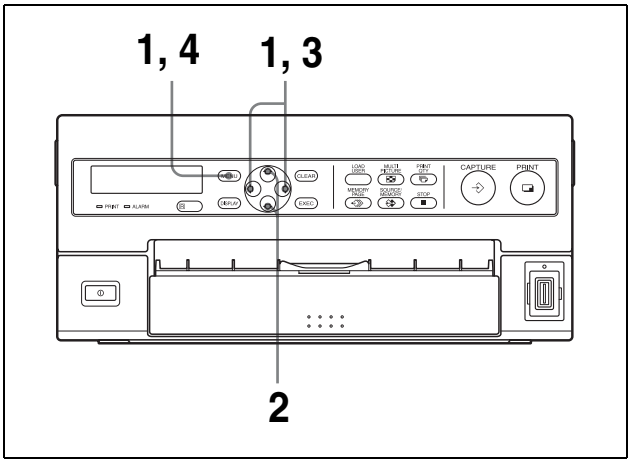
静止画のときは、解像度が高くきれいなプリント画ができる。

フィールドモード：1 枚のメモリーを 2 つに分け、それぞれのページに画像を記憶します。動画のときは、ぶれの少ないプリント画ができます。



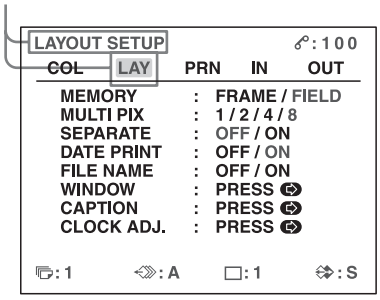
動画のときは、ぶれの少ないプリント画ができる。

メモリーモードを選ぶには



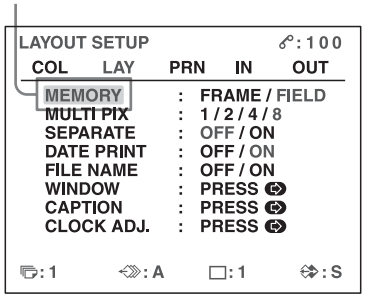
1 MENU ボタンを押し、⇦、⇨ ボタンを押して LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

⇦、⇨ ボタンで「LAY」を点灯させると、「LAYOUT SETUP」が表示される。



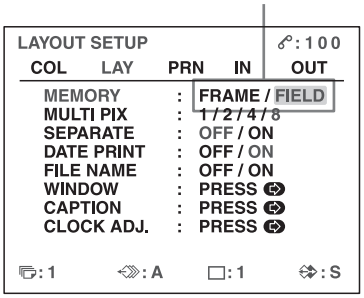
2 ⇧、⇩ ボタンで「MEMORY」を選ぶ。

⇧、⇩ ボタンを押して、「MEMORY」に合わせる。



3 ⇦、⇨ ボタンで希望のモードを選ぶ。

⇦、⇨ ボタンで希望のモードを緑色に点灯させる。



モード	内容
FRAME	通常はこのモードでプリントすることをおすすめします。
FIELD	動きの速い入力源の画像をプリントするときこのモードにするとぶれが少なくなります。

4 MENU ボタンを押す。
標準画面に戻ります。

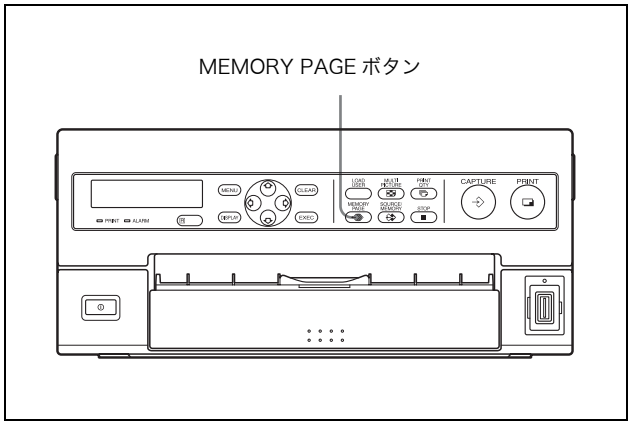
メモリーページを選ぶ

メモリーページについて

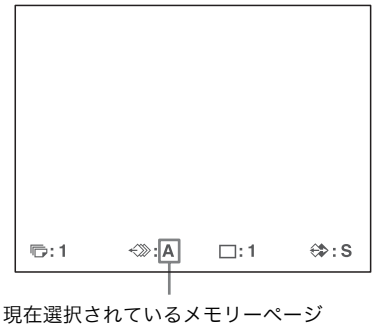
画像を記憶するのに使用されるメモリーをメモリーページと呼んでいます。
使用できるメモリーページの数は、選択する分割画面の種類およびメモリーモードにより異なります。

使用できるメモリーページ		プリント画
フレームモードの場合	フィールドモードの場合	
A、B、C、D、E、F、G、H	A1、A2、B1、B2、C1、C2、D1、D2、E1、E2、F1、F2、G1、G2、H1、H2	フル画面
A、B、C、D	A1、A2、B1、B2、C1、C2、D1、D2	2分割画面
A、B	A1、A2、B1、B2	4分割画面
A	A1、A2	8分割画面

メモリーページを選ぶには



使用したいメモリーページが現れるまで MEMORY PAGE ボタンを押す。



操作

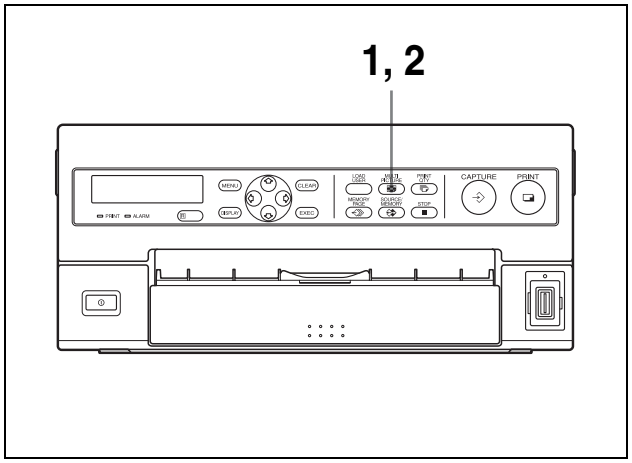
分割画面を作る - マルチプリント

プリント紙 1 枚に、数種類の画面（分割画面といいます）をプリントすることができます。ここでは、分割画面のプリント画の作りかたを説明します。
分割画面は、次の設定を行ってください。
・メモリーに取り込む画像の数を決める。(下記)
・メモリーページを選ぶ。(33 ページ)

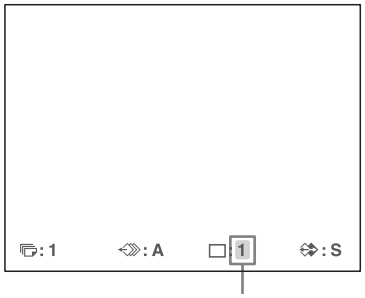
メモリーに取り込む画像の数を選ぶには

次のいずれかの操作で画像の数を選べます。
・MULTI PICTURE ボタンを使用して選ぶ。
・メニュー画面上で設定する。

MULTI PICTURE ボタンを使用して選ぶには



1 MULTI PICTURE ボタンを押す。
現在の設定の画面が現れます。数秒後に通常画面に戻ります。



現在選ばれている分割画面が点灯している。

2 希望の画面の種類が点灯するまで、または液晶ディスプレイに希望の分割画面の種類が表示されるまで MULTI PICTURE ボタンを繰り返し押す。
押すごとに画面の種類は次の順で切り換わります。

表示される画像の種類	プリントする画像の数（( ) 内は本書での呼称）
1	1 個（フル画面）
2	2 個（2 分割画面）
4	4 個（4 分割画面）
8	8 個（8 分割画面）

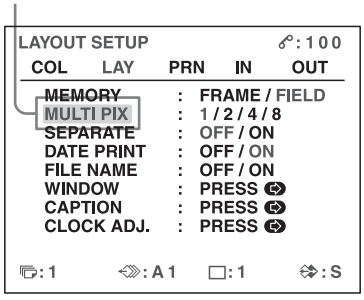
数秒後に通常画面に戻ります。

メニュー画面で選ぶには

1 「メモリーモードを選ぶには」（32 ページ）の手順 1 の操作で LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

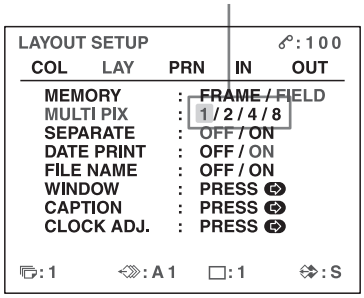
2 ⇧、⇩ ボタンで「MULTI PIX」を選ぶ。

⇧、⇩ ボタンを押して「MULTI PIX」を緑色に点灯させる。



3 ⇦、⇨ ボタンで希望の分割画面を選ぶ。

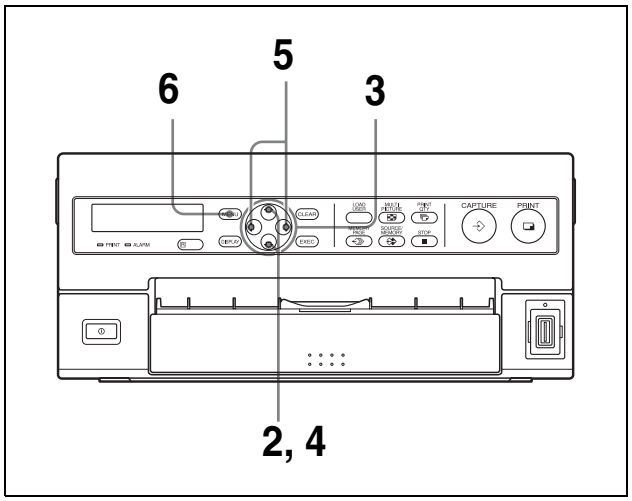
⇦、⇨ ボタンを押して希望の分割画面を緑色に点灯させる。



4 MENU ボタンを押す。
標準画面に戻ります。

モニターの画像を取り込んだときの表示のしかたを設定するには

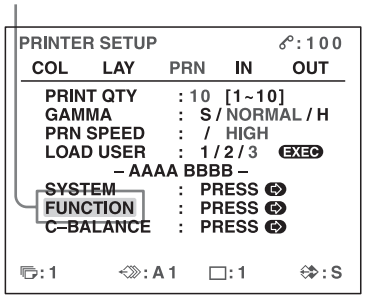
画像を記憶させたあと、モニター画面に現れる画像を、入力画とするかまたは記憶したメモリー画にするかを設定できます。



1 PRINTER SETUP メニューを表示させる。
(PRINTER SETUP メニューを表示させる方法については、「メニュー画面上で選択するには」（28 ページ）手順 1 をご覧ください。)

2 ⇧、⇩ ボタンで「FUNCTION」を選ぶ。

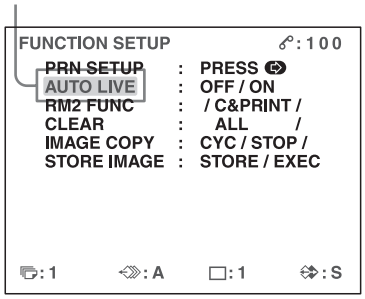
⇧、⇩ ボタンを押して「FUNCTION」を緑色に点灯させる。



3 ⇨ ボタンを押す。
FUNCTION SETUP メニュー画面が現れます。

4 ⇧、⇩ ボタンで「AUTO LIVE」を選ぶ。

⇧、⇩ ボタンを押して「AUTO LIVE」を緑色に点灯させる。



5 ⇦、⇨ ボタンで記憶したあとに表示される画像の種類を選ぶ。

選ぶとき	設定
メモリーに記憶された画像をモニターに出たままにするとき	OFF
メモリーに記憶された画像を表示させ、数秒後に入力画をモニターに表示させるとき	ON

6 MENU ボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

PRINTER SETUP メニュー画面に戻る場合は

手順 6 でカーソルを「PRN SETUP」に合わせ ⇨ ボタンを押します。
PRINTER SETUP メニュー画面が現れます。

分割画面をプリントするには

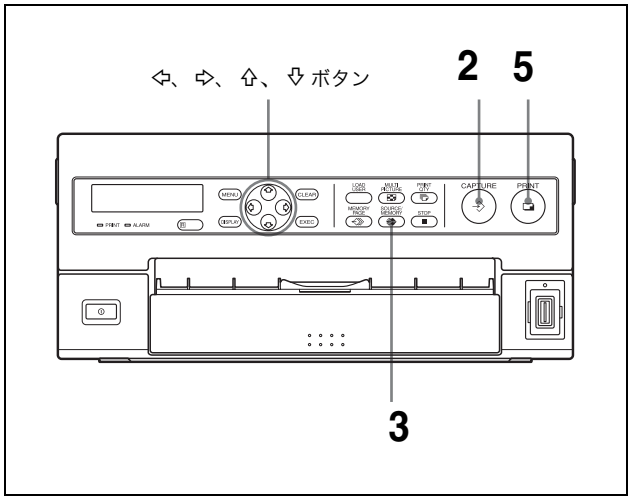
ここでは、例として 1 枚の画面に 4 種類の画像を入れる 4 分割画面のプリントのしかたについて説明します。他の分割画面も同じ操作でプリントできます。

確認

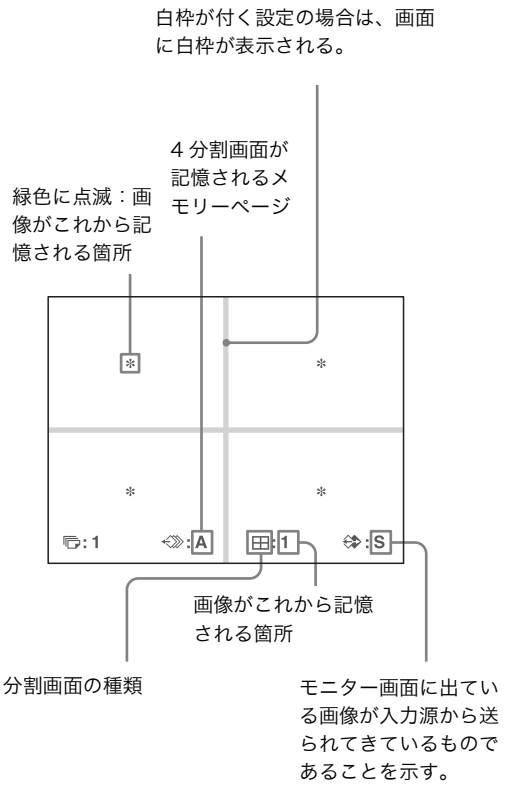
4 分割画面を記憶するには、以下のことを済ませておいてください。済ませていない場合は、参照ページをご覧になってください。

- 色調節（LOAD COLOR 番号など）を確認します。(55 ページ)
- 4 分割画面に設定します。(34 ページ))
- 記憶するメモリーページを選びます。(33 ページ)
- メモリーに画像を記憶したあとの画面の現れかたを決めます。(35 ページ)
- プリント画に白枠を付けるか付けないかを決めます。(37 ページ)

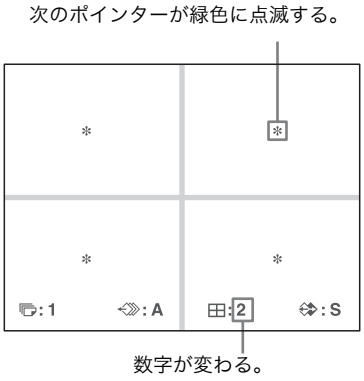
白枠を付けるか付けないかは、4 種類の画像をメモリーに取り込む前でも後でも設定できます。



1 ビデオ機器など（入力源）からの画像 (入力画と呼びます）をモニター画面に映し出す。
この操作は接続した機器で行います。



2 プリントしたい画像が現れたら、CAPTURE ボタンを押す。
手順 1 でモニター画面では緑色に点滅、液晶ディスプレイでは表示されていた箇所に画像が記憶されます。画像を記憶する箇所は次に移動し、点滅を始めます。液晶ディスプレイでは、数字が変わります。



このとき、画像を記憶した箇所にメモリー画が表示されていますが、そのあとの画面は FUNCTION-SETUP メニューの「AUTO LIVE」の設定により異なります。(35 ページ)
入力画が出ている場合は、手順 4 に進みます。

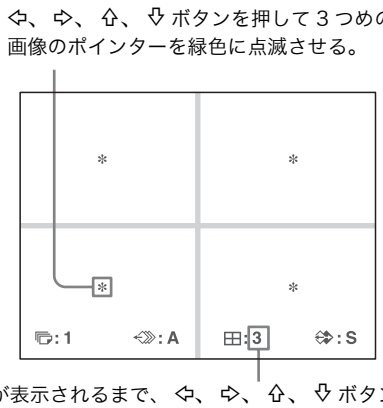
3 SOURCE/MEMORY ボタンを押す。
モニター画面は、入力画に戻ります。

4 メモリー画が出たままの場合は、手順 2、3 を繰り返し、4 個の画像を記憶する。
入力画が出ている場合は、手順 2 を繰り返し、4 個の画像を記憶します。

画像を記憶し直すには
例：3 つめの画像を記憶し直します。

① ⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで 3 つめの画像の位置を選ぶ。

⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンを押すごとに、メモリーする箇所は縦、または横に一つずつ移動します。



② モニター画面にソース画を表示させる。
操作については、上記手順３をご覧ください。

③ CAPTURE ボタンを押す。
前に記憶されていた画像に変わって新しい画像が記憶されます。

すでに記憶されている画像を残しておくには

残しておきたい箇所を ⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで飛ばして画像を記憶します。すでに記憶された画像があるとき、CAPTURE ボタンを押すと、前の画像は消えて新しい画像が記憶されます。

5 PRINT ボタンを押す。
分割画面のプリント画がプリントされます。
印刷されたプリント画に白枠が付いているかいないかは、LAYOUT SETUP メニューの「SEPARATE」の設定によります。(37 ページ)

プリント画がぶれていたら

FRAME モードで取り込んだ２分割または４分割画面およびフル画面をプリントした場合、ぶれることがあります。このような場合は、LAYOUT SETUP メニュー上で、FIELD モードを選択します。「メモリーモードを選ぶには」(32 ページ)
プリントした場合、ぶれはなくなりますが、解像度が多少落ちます。

ご注意

通常は、FRAME モードでプリントしてください。設定を確認するには、LAYOUT SETUP メニュー上で確認してください。

白枠付き分割画面をプリントするには

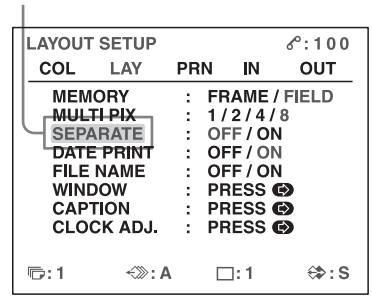
分割画面をプリントするときに、白枠を付けるか付けないかを設定できます。

ご注意

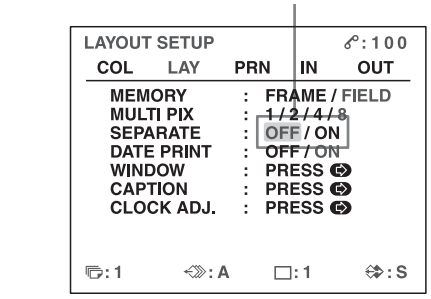
この設定は、メモリーに取り込まれている分割画面に対しても有効となります。

1 「メモリーモードを選ぶには」(32 ページ) の手順 1 の操作で LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

2 ⇧、⇩ ボタンで「SEPARATE」を選ぶ。



3 ⇦、⇨ ボタンで白枠を付けるか付けないかを決める。



選ぶとき	設定
白枠を付けないとき	OFF
白枠を付けるとき	ON a)

a) 白枠を付ける設定の場合、液晶ディスプレイ上では、分割画面の種類の前に「F」が付きます。
例：4F

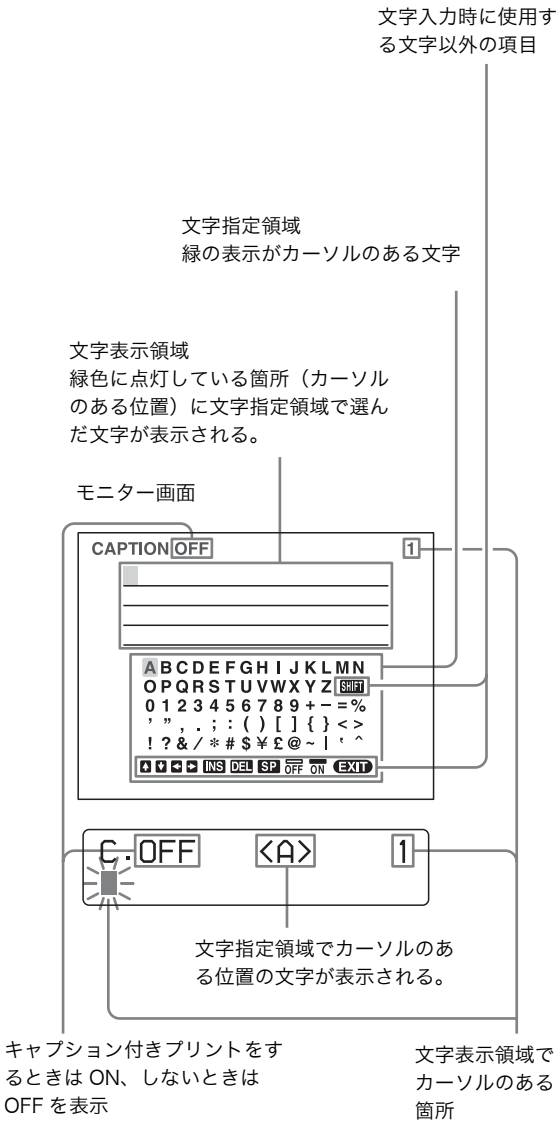
4 MENU ボタンを押す。
通常画面が現れます。

プリント画に日付けやコメントを入れる

プリント画にコメントを入れる

コメントなどのキャプションをプリント画の下に小さく入れることができます。最高 80 文字まで入力することができます。
日付けやコメントは、CAPTION（キャプション）メニュー画面上で作成します。
実際の操作を始める前に、文字を入力するときの CAPTION メニュー画面の読みかたを説明します。

CAPTION メニュー画面について

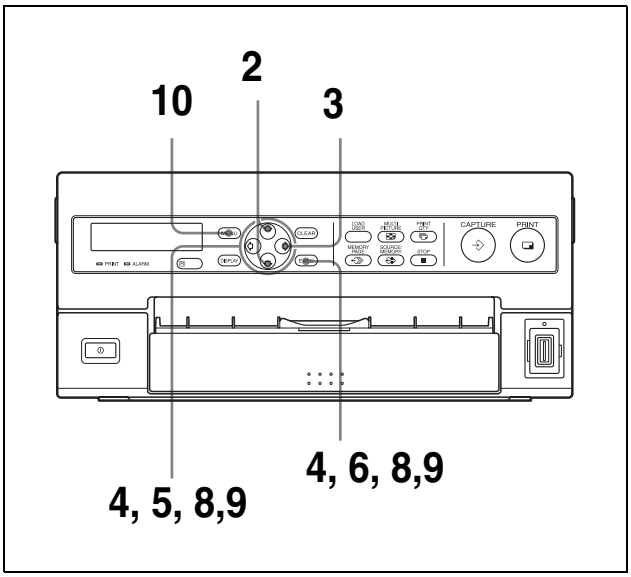


文字入力時に使用する文字以外の項目

モニター画面の表示	機能
INS	カーソルのある箇所に文字を挿入する。
DEL	カーソルのある箇所の文字を消しながら戻る。
SP	カーソルのある箇所にスペースを入れる。文字は削除されスペースが残る。
OFF	キャプションを付けないプリント画を作る。
ON	キャプション付きプリント画を作る。
EXIT	CAPTION 画面から LAYOUT SETUP 画面に戻る。
SHIFT	文字指定領域画面の文字を大文字にするか小文字にするか選ぶ。

文字を入力する

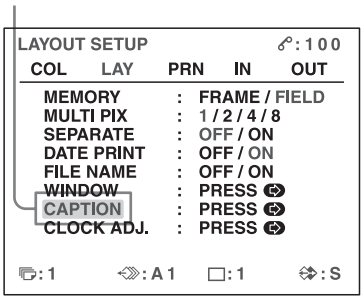
次の手順で文字を入力してください。メモリーに記憶された文字は、電源を切っても保持されています。



1 「メモリーモードを選ぶには」（32 ページ）の手順 1 の操作で LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

2 ⇧、⇩ ボタンで「CAPTION」を選ぶ。

⇧、⇩ ボタンを押して「CAPTION」を緑色に点灯させる。



3 ⇨ ボタンを押す。
CAPTION 入力画面が現れます。

4 緑の点灯部（文字表示領域でのカーソル）を、文字表示領域の文字を入れたい位置に移動させる。

カーソルを移動させるには

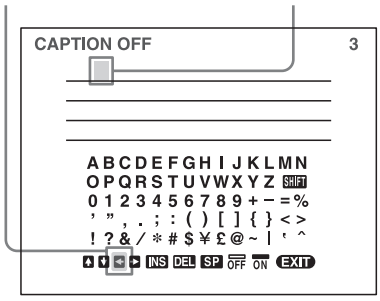
① ⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで、カーソルを移動させたい方向の矢印を選んで緑色に点滅させる。

② EXEC ボタンを押す。
カーソルは、① で選んだ矢印の方向に 1 つ移動します。

例：カーソルを左に 2 つ移動させる。

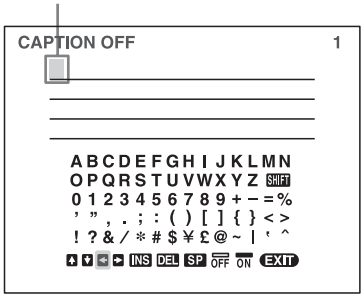
① ⇦ を緑色に点滅させる。

現在カーソルはこの位置にある。（緑色に点灯）



② EXECボタンを2回押す。

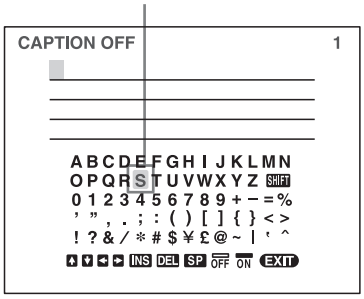
カーソルはこの位置に移動する。



5 ⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで入力する文字を選ぶ。

例：S を入力します。

⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンを押して S を緑色に点滅させる。



液晶ディスプレイを見ながら文字を入力する場合
⇦、⇨ ボタンを使用して入力したい文字を表示させることをおすすめいたします。

カーソルが文字表示領域の右端にある場合
⇨ ボタンを押すと、次の段の左端に移動します。例えば、カーソルが N の位置にあるときに、⇨ ボタンを押すとカーソルは次の行の左端 O の場所に移動します。

カーソルが EXIT の位置にある場合

⇦、⇨ ボタンのみ使用できます。⇨ ボタンを押すとカーソルは文字表示領域の先頭 A の位置に移動します。

大文字、小文字を変えるには

大文字を小文字に、小文字を大文字に変えることができます。

① モニター画面上では、⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで、SHIFT を選んで緑色に点滅させる。
液晶ディスプレイでは、⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで、SHIFT、または shift を表示させます。液晶ディスプレイでは、文字指定領域が現在大文字で表示されている場合は shift が、小文字で表示されている場合は SHIFT が表示されています。

② EXEC ボタンを押す。
文字指定領域の文字は、大文字の場合は小文字に、小文字の場合は大文字に変わります。

ご注意

すでに入力した文字（文字表示領域の文字）は変わりません。

6 EXEC ボタンを押す。
文字表示領域のカーソルの位置に手順 5 で選んだ文字が入力され、カーソルは、次の位置に移動します。

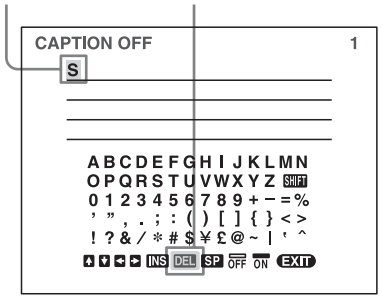
間違えて文字を入力した場合

① ⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで◀を選び、EXEC ボタンを押す。
カーソルが 1 つ前に戻り、手順 5 で間違えて入力した文字が緑色に点灯します。

② ⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで「DEL」を選ぶ。

緑色に点灯。

⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンを押して DEL を緑色に点滅させる。



③ EXEC ボタンを押す。
文字が削除されます。手順 ① で選んだ文字が、表示されている文字の間にある場合は、文字が削除されたところは次の文字が移動してきます。

7 手順 4、5、6 を繰り返して、キャプションを入力する。

1 文字分空けるには

1 文字空けたいところにカーソルを移動し、⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで SP を選んでから、EXEC ボタンを押します。
文字表示領域上で、1 文字分のスペースを空けてカーソルは次に移動します。

文字数を変えずに部分的に修正するには

すでに入れたキャプションで、ある文字だけを修正することができます。

① 手順 4 の方法で文字表示領域のカーソルを修正したい文字の位置まで移動させる。

② 手順 5、6 の方法で、正しい文字を重ね書きする。
古い文字は消えて新しい文字に書き直されます。

途中で文字を追加するには

① 手順 4 の方法で文字表示領域のカーソルを、追加したい箇所にある文字の位置まで移動させる。

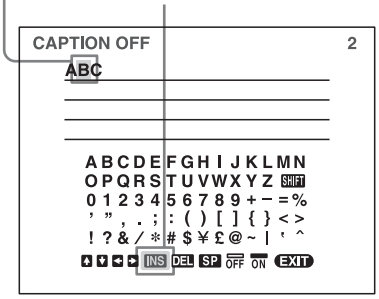
② ⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで「INS」を選んでから、EXEC ボタンを押す。
文字と文字との間に空きができ、カーソルはその空きの位置にあります。

③ 追加したい文字を入力する。
キャプション ON/OFF 機能を変更しない場合は手順 9 に進みます。

例：A と B の間に追加したいとき

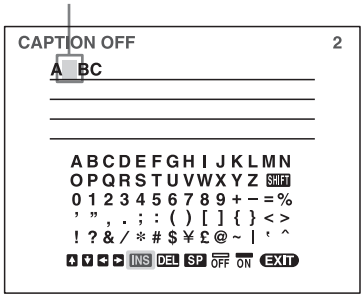
① B の位置にカーソルを移動させる。
（緑色に点灯）

② INS を緑色に点滅させ、
EXEC ボタンを押す。



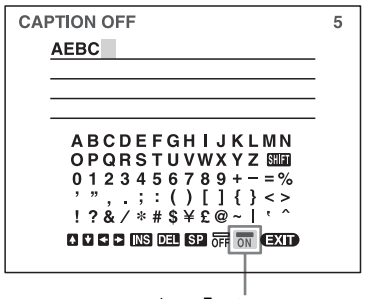
A と B の間に空きができ、カーソルはその位置にあります。

カーソル（緑色に点灯）



8 キャプションを付けてプリントする機能を「ON」にする。

① ⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで「ON」を選ぶ。



⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンを押して
「ON」を緑色に点滅させる。

キャプションを付けない場合は、「OFF」を選びます。

② EXEC ボタンを押す。

表示が OFF から ON に変わる。

9 すべての文字の入力が終了したら、通常画面に戻る。
⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで「EXIT」を選び、EXEC ボタンを押します。
入力したキャプションはメモリーに記憶されます。
LAYOUT SETUP メニュー画面に戻ります。

10 MENU ボタンを押す。

ご注意

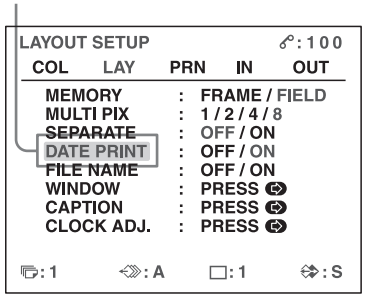
手順 4 から 7 の操作を行うと、入力した文字は記憶され、プリンターの電源を切っても記憶しています。

日付けを付けてプリントする

1 「メモリーモードを選ぶには」（32 ページ）の手順 1 の操作で LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

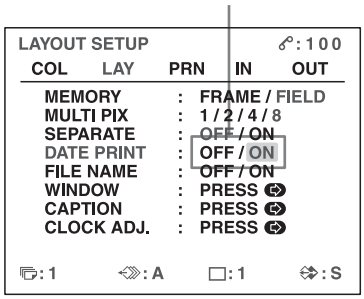
2 ⇧、⇩ ボタンで「DATE PRINT」を選ぶ。

⇧、⇩ ボタンを押して「DATE PRINT」を
緑色に点灯させる。



3 ⇦、⇨ ボタンで日付けを付けてプリントするかしないかを決める。

⇦、⇨ ボタンを押して希望の設定を緑色に点灯させる。



選ぶとき	設定
日付けを付けないとき	OFF
日付けを付けるとき	ON

4 MENU ボタンを押す。
通常画面が現れます。

ご注意

日付けはプリント画の右下にプリントされます。コメントは、左下にプリントされます。コメントと日付けを付けてプリントしたとき、コメントと日付けが重なる場合があります。この場合は、コメントが優先されてプリントされます。

正確な日付けでプリントするには

日付け・時刻の設定が必要です。
詳しくは、「日付・時刻を設定する」（23 ページ）をご覧ください。

メモリーに記憶した画像を消す

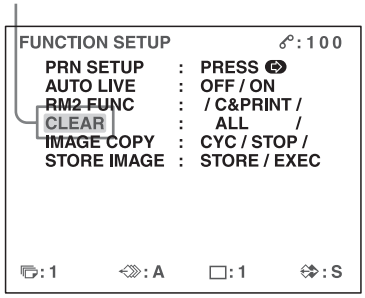
CLEAR ボタンを使って、すべてのメモリーページに記憶されている画像をまとめて消すことや、あるメモリーページだけ、または分割画面を 1 つづつ消すことができます。
CLEAR ボタンを押した場合、どの操作をするかは、メニューの「FUNCTION SETUP」の「CLEAR」の項目の設定によります。

CLEAR ボタンの機能を設定する

1 「モニターの画像を取り込んだときの表示のしかたを設定するには」（35 ページ）の手順 1 〜手順 3 の操作で FUNCTION SETUP メニューを表示させる。

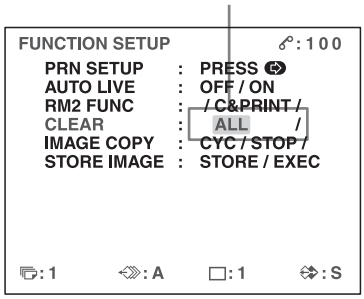
2 ⇧、⇩ ボタンで「CLEAR」を選ぶ。

⇧、⇩ ボタンを押して「CLEAR」を緑色に点灯させる。



3 ⇦、⇨ ボタンで CLEAR ボタンの機能を選ぶ。

⇦、⇨ ボタンで設定したい機能を緑色に点灯させる



CLEAR ボタンの機能	選択する項目
全てのメモリーページに記憶されている画像を 1 度に消す。	ALL
メモリーページごとに消す。	PAGE
カーソルがある分割画面だけを消す。	PART
CLEAR ボタンが働かないようにする。	OFF

4 ⇧、⇩ ボタンで「PRN SETUP」を選び、⇨ ボタンを押す。
PRINTER SETUP メニュー画面に戻ります。
1 度設定すると、次に変更するまで CLEAR ボタンの機能は変わりません。

通常画面に戻るには

MENU ボタンを押します。

メモリーに記憶されている画像を消す

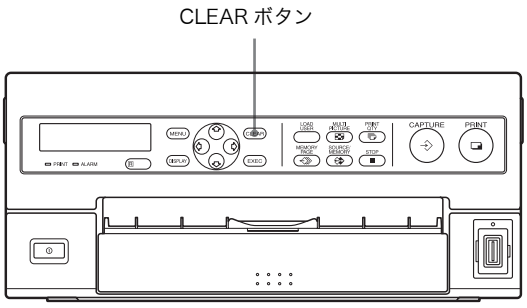
ご注意

1 度消した画像を元に戻すことはできません。

全てのメモリーページに記憶されている画像を消すには

確認

CLEAR ボタンの機能を、FUNCTION SETUP メニューの「CLEAR」で「ALL」に設定します。



CLEAR ボタンを押します。
プリンターに記憶されているすべての画像が消去されます。

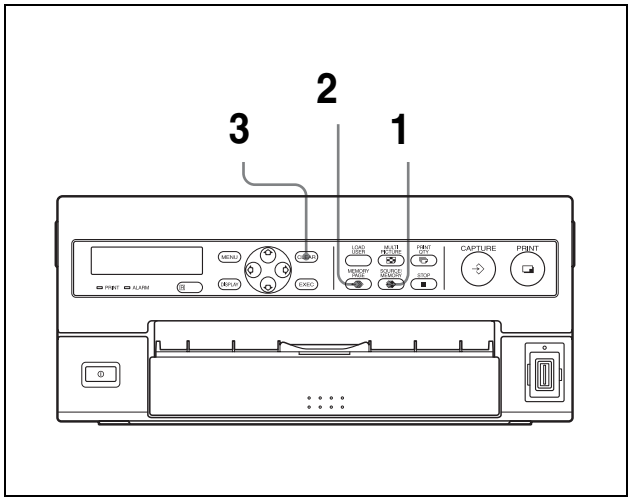
ご注意

- モニター画面に入力画が表示された状態で CLEAR ボタンを押してもメモリーの画像は消えず、メモリー画に切り換わります。この状態でもう一度 CLEAR ボタンを押します。プリンターに記憶されているすべての画像が消去されます。
- プリント中、およびプリント予約されているメモリーページの画像は消去されません。

あるメモリーページの画像だけを消すには

確認

CLEAR ボタンの機能を、「FUNCTION SETUP」メニューの「CLEAR」で「PAGE」に設定します。



1 モニター画面にビデオ機器など（入力源）からの画像が出ている場合は、SOURCE/MEMORY ボタンを押す。
モニター画面はメモリーに記憶されている画像に切り換わります。

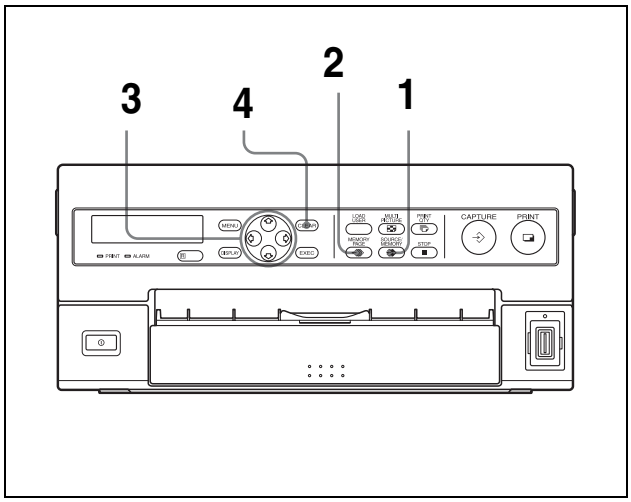
2 MEMORY PAGE ボタンを押して、消去したいメモリーページを選ぶ。

3 CLEAR ボタンを押す。
手順 2 で選んだメモリーページに記憶されている画像が消えます。

分割画面のある画像だけを消すには

確認

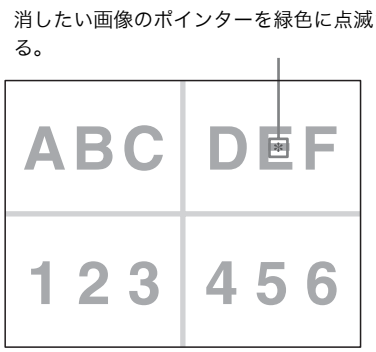
CLEAR ボタンの機能を、「FUNCTION SETUP」メニューの「CLEAR」で「PART」に設定します。



1 モニター画面にビデオ機器など（入力源）からの画像が出ている場合は、SOURCE/MEMORY ボタンを押す。
モニター画面はメモリーに記憶されている画像に切り換わります。

2 MEMORY PAGE ボタンを押して、消去したい分割画面があるメモリーページを選ぶ。

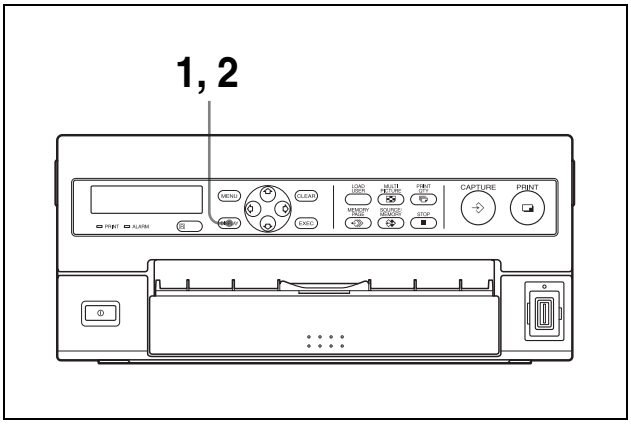
3 ⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで、消したい画像を選ぶ。



4 CLEAR ボタンを押す。
手順 3 で選んだ分割画面の画像が消えます。

モニター画面の管面表示を消す

モニター画面に表示されている文字（Q1、A など）やインクリボンの残量などの表示を消すことができます。
ここでは、管面表示の文字（Q1、A など）の下に確認したい画像が隠れてしまっているときなどに、この画面の文字を消す方法について説明します。表示が消えた状態でも操作のしかたは変わりません。このような場合、プリンター本体の液晶ディスプレイで確認しながら操作してください。
インクリボンの残量の表示については、「インクリボンの残量を表示させる」（63 ページ）をご覧ください。



1 DISPLAY ボタンを押す。
現在の設定の画面が現れます。数秒後に通常画面に戻ります。

2 OFF を選ぶ。
手順 1 で表示されている内容が消えないうちに DISPLAY ボタンを押して、OFF を緑色に点灯させます。液晶ディプレイでは、OFF を大文字で表示させます。
DISPLAY ボタンを押すごとに、ON→OFF→ON と切り換わります。

OFF を緑色に点灯させる。

管面表示をだすには
DISPLAY ボタンを押して、ON を表示させます。

メニュー画面で管面表示の設定をするには
OUTPUT SETUP メニューの「DISPLAY」の項目で ON/OFF を切り換えることができます。DISPLAY ボタンとメニューの設定は連動して切り換わります。

メニュー画面を消したい場合は
DISPLAY ボタンを押し続けている間は、DISPLAY の設定に関係なく一時的にメニュー表示を消すことができます。

ご注意
エラーメッセージは、管面表示の設定に関わらず常に表示されます。

USB フラッシュメモリーに画像データを保存する

本機前面パネルの USB ホストポートに USB フラッシュメモリーを差し込んでおくと、本機で取り込んだ画像データをプリントする際に、その画像データを USB フラッシュメモリーに JPEG の画像ファイルとして保存します。この USB フラッシュメモリーに取り込んだ画像ファイルを、USB ポート装備のコンピューターを使って見ることができます。

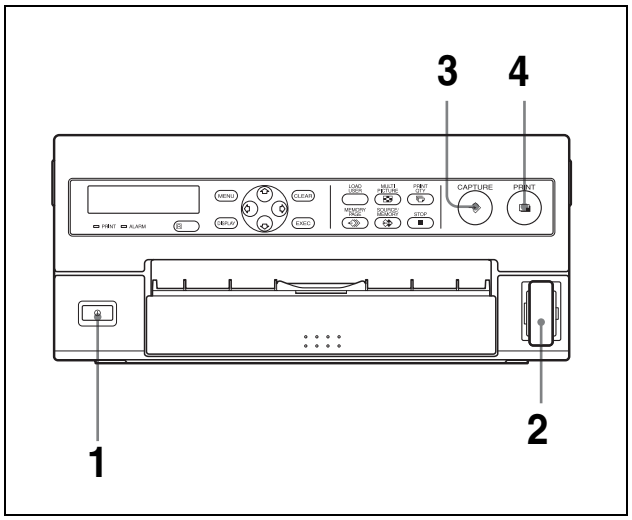
画像ファイル名について
PRINT ボタンを押して、プリントする毎に、画像ファイルに UP_0001 から UP_9999 まで、順に、番号をつけられ、JPEG の画像ファイルとして、USB フラッシュメモリーに保存されていきます。分割画面の場合もそれぞれの画面が 1 つのファイルとなります。新しい画像をプリントする場合にのみ保存されます。1 度プリントしたものは、保存されません。
また、ファイルには日付け情報が付きます。

正確な日付け情報を付けるには
日付け・時刻の設定が必要です。
詳しくは、「日付・時刻を設定する」（23 ページ）をご覧ください。

USB フラッシュメモリーに画像データを保存する

ご注意

ソニー製 USB フラッシュメモリー以外の USB デバイスはご使用にならないでください。



1 モニターとプリンターの電源スイッチを入れる。

2 USB ポートに USB フラッシュメモリーを差し込む。
アクセスランプが点灯します。消灯したら、書き込み可能となります。

3 CAPTURE ボタンを押してプリントする画像を取り込む。

4 PRINT ボタンを押す。
プリントが開始されます。
同時に、USB メモリーに画像データが書き込まれます。書き込まれている間は、アクセスランプが点灯しています。画像データの保存は終了すると、アクセスランプは消灯します。

USB フラッシュメモリーを取りはずには

アクセスランプが点灯中は、データを書き込んでいます。このとき、USB メモリーを取りはずすと、画像データが正常に保存されませんので、ご注意ください。

「USB メモリの空きがありません」、または「USB メモリのファイル名に空きがありません」というメッセージが表示された場合

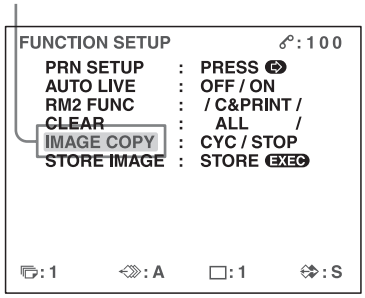
USB フラッシュメモリーが一杯になったか最大数の画像データが保存され、これ以上書き込むことはできません。コンピューター上で不要なファイルを消去するか、新しい USB フラッシュメモリーと交換してください。
FUNCTION SETUP メニューで USB フラッシュメモリーがいっぱいになったときの動作を決めておくことができます。

USB メモリーがいっぱいになったときの動作を決める

1 「モニターの画像を取り込んだときの表示のしかたを設定するには」（35 ページ）の手順 1 〜手順 3 の操作で FUNCTION SETUP メニューを表示させる。

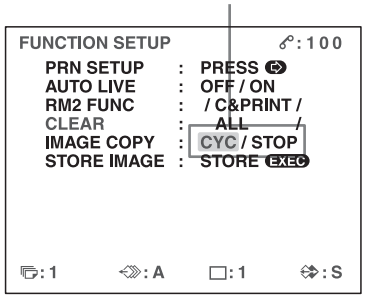
2 ⇧、⇩ ボタンで「IMAGE COPY」を選ぶ。

⇧、⇩ ボタンを押して「IMAGE COPY」を緑色に点灯させる。



3 ⇦、⇨ ボタンを押して、希望のモードを選ぶ。

⇦、⇨ ボタンを押して希望のモードを緑色に点灯させる。



モード	動作
CYC	USB フラッシュメモリーに画像ファイルを書き込む空きがない、または画像データの番号が UP_9999 までになったとき、日付けの古いデータから上書きしていく。メモリーの古いファイルが複数消去される場合があります。
STOP	USB メモリーが一杯になる、または画像データの番号が UP_9999 まで全て使われると保存を止め、「USB メモリの空きがありません」、または「USB メモリのファイル名に空きがありません」というメッセージを表示させる。

PRINTER SETUP メニュー画面に戻るには

⇧、⇩ ボタンで「PRN SETUP」を選び、⇨ ボタンを押す。

通常画面に戻るには

MENU ボタンを押します。

画像が保存されるフォルダーについて

画像データは、以下のフォルダーに保存されます。
¥¥SONY¥PRINTER¥IMAGES

USB ポートご使用の際の注意

- USB マスストレージに対応しています。(全てのタイプの USB フラッシュメモリーの動作を保証するものではありません。)
- ハブを介しての USB ポートと USB フラッシュメモリーの接続は保証していません。
- USB Full-Speed に対応しています。
- 対応ファイルシステムは、FAT 12、16、32 です。
- USB フラッシュメモリーにロック機能がついている場合は、ロックをはずしてからお使いください。
- 2 つ以上のドライブを持つ USB フラッシュメモリーはお使いになれません。

分割画面をプリントしたとき

分割画面毎に、別の JPEG 画像ファイルとして保存されます。

ご注意

- JPEG ファイルの大きさは、保存する画像と入力信号の種類によります。RGB 信号の画像の JPEG ファイルのサイズは、VIDEO 信号、および S VIDEO 信号に比べ大きくなります。RGB 信号は、高画質のため、画像のサンプリングレートを高くしているので画像サイズも大きくなります。
- USB フラッシュメモリーに保存された画像データを読み出して、再度本機でプリントすることはできません。
- 本機は、USB フラッシュメモリーに画像データの書き込みはできますが、読み出し、消去はできません。読み出し、消去は、USB ポートを装備するコンピューター上で行ってください。

ファイル名を付けてプリントする

プリント画の左下にファイル名を付けてプリントすることができます。
ファイル名を付けてプリントする設定になっているときは、モニター画面左上に「F」が表示されます。

ご注意

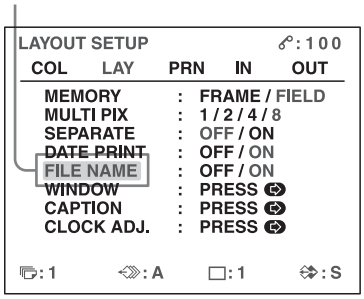
プリント画にコメントを付けてプリントする場合は、コメントが優先されてプリントされます。ファイル名を付けてプリントする場合は、CAPTION 画面で「OFF」に設定してください。

詳しくは、「プリント画にコメントを入れる」(38 ページ)をご覧ください。

1 「メモリーモードを選ぶには」(32 ページ)の手順 1 の操作で LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

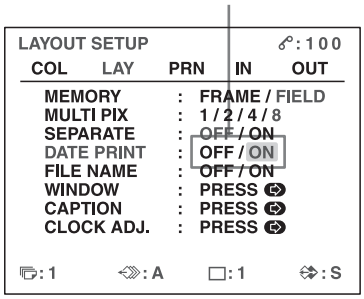
2 ⇧、⇩ ボタンで「FILE NAME」を選ぶ。

⇧、⇩ ボタンを押して「FILE NAME」を緑色に点灯させる。



3 ⇦、⇨ ボタンを押して、ファイ名を付けてプリントするかしないかを選択する。

⇦、⇨ ボタンを押して希望のモードを緑色に点灯させる。

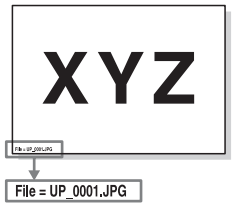


選ぶとき	設定
ファイル名を付けないでプリントする。	OFF
ファイル名を付けてプリントする	ON

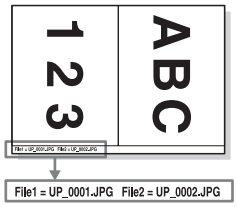
4 MENU ボタンを押す。
通常画面に戻ります。

ファイル名について

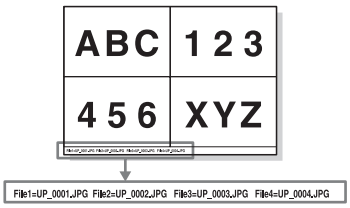
分割画面の場合は、左上から順に File1、File 2... と表記されます。最後は、右下になります。



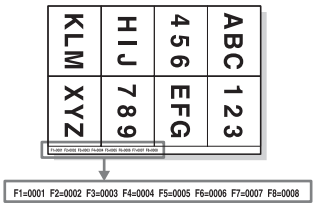
フル画面のファイル名



2 分割画面のファイル名



4 分割画面のファイル名



8 分割画面のファイル名

ご注意

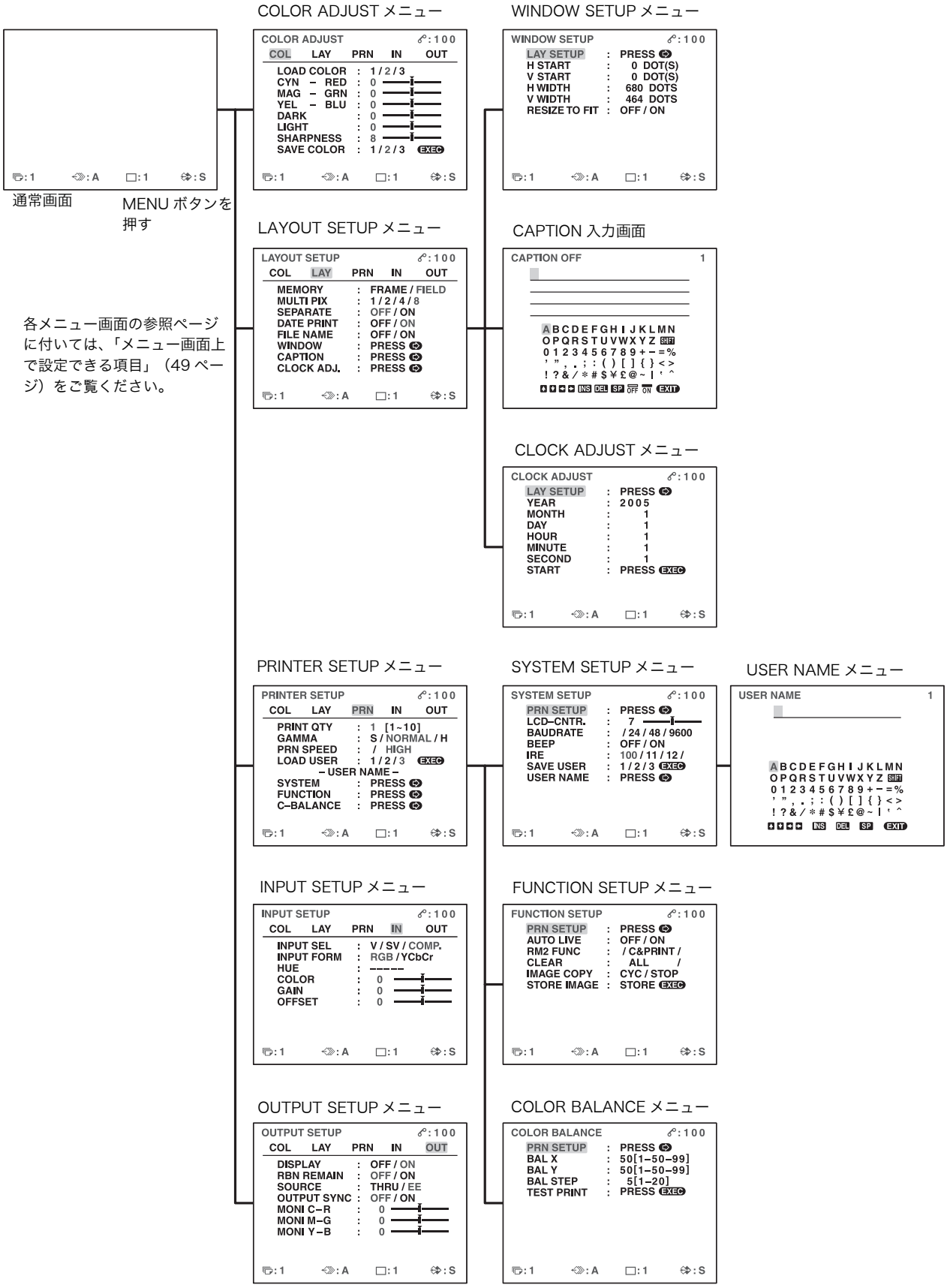
「USB メモリーの空きがありません」、または「USB メモリーの書き込みエラーです」というメッセージが表示された場合、プリントされた画像はメモリーに書き込まれない場合があります。

メニュー画面上で設定できる項目

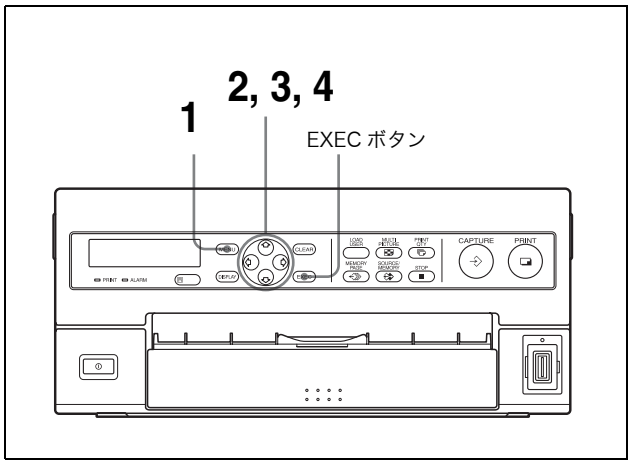
メニュー画面上で、プリンターの仕様を決める各種調整や設定ができます。1 度調整し、記憶させると、電源を切っても次に記憶し直すまで同じ設定でプリンターは調整され、機能します。
また、設定した値を、接続する機器や、個人の好みに合わせてあらかじめ「ユーザー設定 1、2、3」と 3 種類まで記憶させることができます。
それぞれのメニュー画面上で設定できる項目は以下の通りです。

メニュー画面	設定できる項目	参照ページ
COLOR ADJUST	プリント画の色（色調、階調）の調整	55
LAYOUT SETUP	メモリーモードを決める	32
	プリント画の種類の設定	34
	分割画面に白枠を付けるか付けないかの設定	37
	日付けを付けてプリントするかしないかの設定	41
	プリントすると同時に USB フラッシュメモリーに保存される画像ファイルのファイル名を付けてプリントするかしないかの設定	47
WINDOW SETUP	プリント画に黒い枠や線が出た場合にプリントする画像の範囲の調整	57
CAPTION	キャプションを入力する	38
CLOCK ADJUST	日付け・時刻の設定	23
PRINTER SETUP	プリント画の枚数の設定	30
	プリント画のトーンの設定	57
	プリントスピードの選択	27
SYSTEM SETUP	液晶ディスプレイのコントラストの調整 a)	63
	本機とコンピューター間の通信速度	63
	操作音とアラーム音が鳴るか鳴らないかの設定	63
	プリント画のみのコントラストの調整	54
	ユーザー設定の選択	63
USER NAME	ユーザー名の編集	63
FUNCTION SETUP	メモリーに記憶したあとに表示される画面を、数秒後に入力画にするかそのままメモリー画を表示しておくかの選択	35
	REMOTE 2 端子へ接続されたリモコンの選択および操作方法の設定	62
	メモリーに記憶した画像の消去の方法	42
	USB フラッシュメモリーが一杯になったときの動作の選択	45
	内蔵のメモリースティックへの画像の保存、呼出	75
COLOR BALANCE	カラーバランスの調整	59
INPUT SETUP	入力信号の選択	22
	入力映像の色調の補正	53
OUTPUT SETUP	モニター画面の管面表示の設定	44
	リボンの残量を表示するかしないかの選択	63
	プリンターの出力信号の選択	54
	RGB 信号の G チャンネルに同期信号を重畳させるかどうかの選択	16
	モニター画面とプリント画の色調合わせ	54

メニューの構成

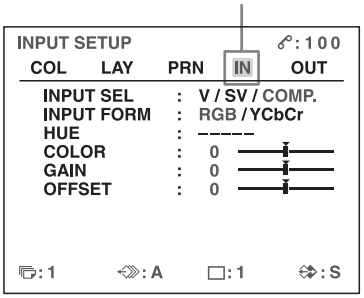

通常画面
MENU ボタンを押す
各メニュー画面の参照ページに付いては、「メニュー画面上で設定できる項目」（49 ページ）をご覧ください。
COLOR ADJUST メニュー
COLOR ADJUST
COL LAY PRN IN OUT
LOAD COLOR : 1/2/3
CYN – RED : 0
MAG – GRN : 0
YEL – BLU : 0
DARK : 0
LIGHT : 0
SHARPNESS : 8
SAVE COLOR : 1/2/3 EXEC
WINDOW SETUP メニュー
WINDOW SETUP
LAY SETUP : PRESS
H START : 0 DOT(S)
V START : 0 DOT(S)
H WIDTH : 680 DOTS
V WIDTH : 464 DOTS
RESIZE TO FIT : OFF / ON
LAYOUT SETUP メニュー
LAYOUT SETUP
COL LAY PRN IN OUT
MEMORY : FRAME / FIELD
MULTI PIX : 1/2/4/8
SEPARATE : OFF / ON
DATE PRINT : OFF / ON
FILE NAME : OFF / ON
WINDOW : PRESS
CAPTION : PRESS
CLOCK ADJ. : PRESS
CAPTION 入力画面
CAPTION OFF 1
CLOCK ADJUST メニュー
CLOCK ADJUST
LAY SETUP : PRESS
YEAR : 2005
MONTH : 1
DAY : 1
HOUR : 1
MINUTE : 1
SECOND : 1
START : PRESS EXEC
PRINTER SETUP メニュー
PRINTER SETUP
COL LAY PRN IN OUT
PRINT QTY : 1 [1~10]
GAMMA : S / NORMAL / H
PRN SPEED : / HIGH
LOAD USER : 1/2/3 EXEC
– USER NAME –
SYSTEM : PRESS
FUNCTION : PRESS
C–BALANCE : PRESS
SYSTEM SETUP メニュー
SYSTEM SETUP
PRN SETUP : PRESS
LCD–CNTR. : 7
BAUDRATE : / 24 / 48 / 9600
BEEP : OFF / ON
IRE : 100 / 11 / 12 /
SAVE USER : 1/2/3 EXEC
USER NAME : PRESS
USER NAME メニュー
USER NAME 1
INPUT SETUP メニュー
INPUT SETUP
COL LAY PRN IN OUT
INPUT SEL : V / SV / COMP.
INPUT FORM : RGB / YCbCr
HUE : ------
COLOR : 0
GAIN : 0
OFFSET : 0
FUNCTION SETUP メニュー
FUNCTION SETUP
PRN SETUP : PRESS
AUTO LIVE : OFF / ON
RM2 FUNC : / C&PRINT /
CLEAR : ALL /
IMAGE COPY : CYC / STOP
STORE IMAGE : STORE EXEC
OUTPUT SETUP メニュー
OUTPUT SETUP
COL LAY PRN IN OUT
DISPLAY : OFF / ON
RBN REMAIN : OFF / ON
SOURCE : THRU / EE
OUTPUT SYNC : OFF / ON
MONI C–R : 0
MONI M–G : 0
MONI Y–B : 0
COLOR BALANCE メニュー
COLOR BALANCE
PRN SETUP : PRESS
BAL X : 50[1–50–99]
BAL Y : 50[1–50–99]
BAL STEP : 5[1–20]
TEST PRINT : PRESS EXEC

メニューの基本操作



1 MENU スイッチを押す。
最後に選ばれていたメニュー画面が現れます。

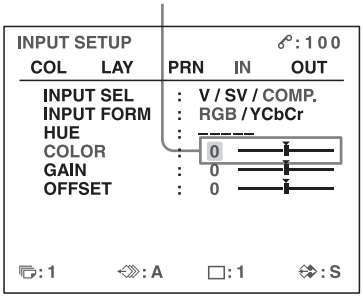
現在画面に表示されているメニュー画面は緑色に点灯している。



現在画面に表示されているメニュー画面名が大文字で表示されている。

カーソル（緑色に点灯している個所）が一番上の行にない場合：
⇧、⇩ ボタンを押して一番上の行に移動させる。

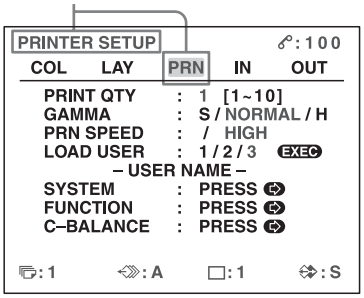
カーソルの位置が一番上の行にない。



2 ⇦、⇨ ボタンを押して希望のメニュー画面を表示させる。

例：PRINTER SETUP メニューを表示させたい場合

⇦、⇨ ボタンで「PRN」を緑色に点灯させると、「PRINTER SETUP」が表示される。

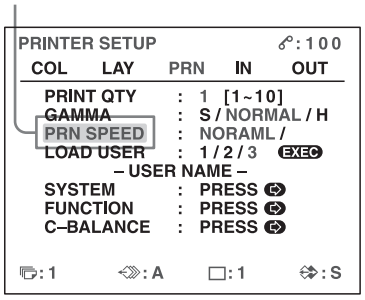


⇦、⇨ ボタンを押して「PRN」を大文字で表示させる。「PRINTER SETUP」が表示される。

3 ⇧、⇩ ボタンを押して希望の項目を選択する。

例：PRINTER SETUP メニュー上で、PRN SPEED を選択する場合

⇧、⇩ ボタンを押して「PRN SPEED」を緑色に点灯させる。



「PRN SPEED」が現れるまで ⇧、⇩ ボタンを押す。

調整

4 ⇦、⇨ ボタンを押して設定する。

設定を選択する場合：

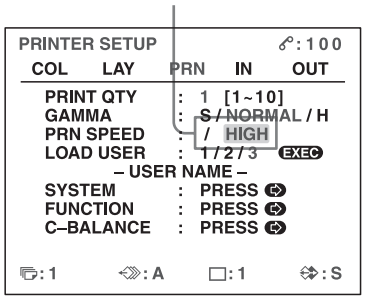
⇦、⇨ ボタンを押して希望の選択肢を緑色に点灯させます。

ご注意

選択肢の両端か、右、または左端に「/」が表示されている場合は、画面に表示されていない選択肢があります。⇦、または ⇨ ボタンを押して選択肢を確認してください。

例：HIGH スピードを選択する場合

⇦、⇨ ボタンを押して希望の HIGH を緑色に点灯させる。



⇦、⇨ ボタンを押して HIGH を大文字で表示させる。

- - - - - が表示されている場合：

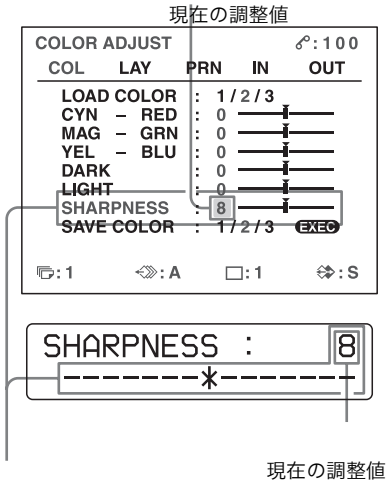
設定の変更ができない場合に表示されます。設定変更ができないのは以下の場合です。

選択項目	設定変更できない項目（選択肢に ----- が表示されている。）：
MULTI PIX（LAYOUT SETUP 画面）で「1」が選択されている。	SEPARATE（LAYOUT SETUP 画面）
INPUT SEL（INPUT SETUP 画面）で「COMP」が選択されている。	HUE（INPUT SETUP 画面）
INPUT SEL（INPUT SETUP 画面）で「S-VIDEO」または「VIDEO」が選択されている。	INPUT FORM（INPUT SETUP 画面）

調整値を変更する場合：

⇦、⇨ ボタンを押して調整値を変更します。

現在の調整値



現在の調整値

⇨ ボタンを押すと数値は大きくなり、⇦ ボタンを押すと数値は小さくなる。

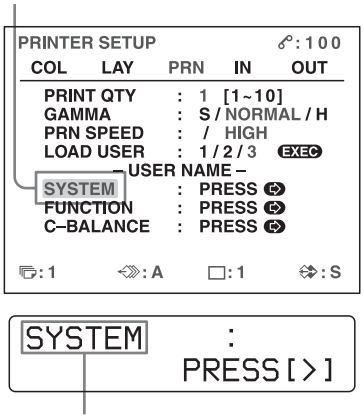
工場出荷設定値に戻すには：

⇦、⇨ ボタンを同時に押します。工場出荷設定値に戻ります。

サブメニューがある場合：
サブメニューがある項目は、画面に PRESS [>] が表示されます。⇧、⇩ ボタンで項目を選び、⇨ ボタンを押してください。

例：PRINTER SETUP メニューの場合
SYSTEM SETUP サブメニューを表示させるには⇧、⇩ ボタンで「SYSTEM」を選び、⇨ ボタンを押します。
SYSTEM SETUP メニューが表示されます。

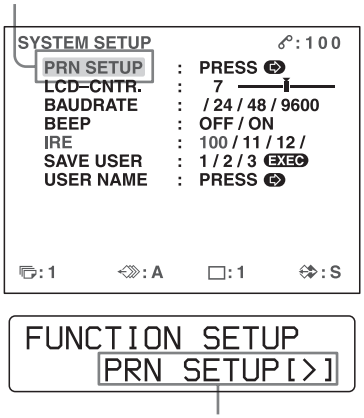
⇧、⇩ ボタンを押して「SYSTEM」を点灯させ、⇨ ボタンを押す。



「SYSTEM」が表示されるまで、⇧、⇩ ボタンを押し、⇨ ボタンを押す。

サブメニューから出るには：
一番上の行のメニューを選び、⇨ ボタンを押します。
例：

⇧、ボタンを押して「PRN SETUP」を緑色に点灯させ、⇨ ボタンを押す。



「PRN SETUP」が表示されるまで、⇧ ボタンを押し、⇨ ボタンを押す。

色調・画質を調整する

入力映像の色調を補正する

撮影時の条件が悪く、肌色が青くなってしまうような場合、また入力信号のレベルが不適正なため画面が黒っぽくなってしまうような場合、入力映像のビデオ信号を補正できます。また、コントラストなども補正できます。

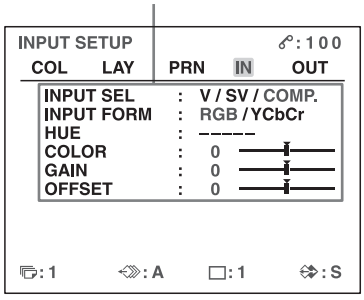
ご注意

すでにメモリーに記憶してある画像を補正してもプリント画には影響しません。補正した後に画像を記憶してください。

確認

モニター画面にメモリー画像が出ているときは、SOURCE/MEMORY ボタンを押します。
入力源の画像が現れます。

入力映像の色調の補正に使用する項目



色の濃さ、色合い、コントラスト、明るさを調整したいとき

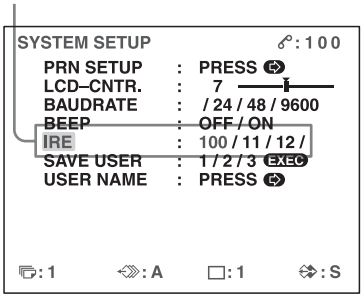
調整したい内容	調整する項目	押すボタンとその結果	
		⇦ ボタン	⇨ ボタン
色合い	HUE a)	紫がかる。	緑がかる。
色の濃さ	COLOR b)	薄くなる。	濃くなる。
コントラスト	GAIN	コントラストが弱くなる。	コントラストが強くなる。
明るさ	OFFSET c)	暗くなる。	明るくなる。

a) 肌色が調整の目安になります。また、HUE（色合い）の調整は、VIDEO IN 端子（NTSC コンポジット信号）および S-VIDEO IN 端子に接続した機器からの信号（Y/C 分離信号）に限ります。
b) 押し続けて－ 14 の位置にくると OFF と表示され、白黒の画像となります。
c) コンポーネント（RGB、YCbCr）信号入力時は、OFFSET は 0 以下には設定できません。

プリント画のみのコントラストを調整するには

モニター画面のコントラストを変えずに、プリント画のコントラストを調整したい場合は、SYSTEM SETUP メニュー画面の「IRE」の項目を使って入力レベルの補正をします。

プリント画のみのコントラストの調整に使用する項目



選択された IRE は 3 桁の表示になります。

選ぶとき	調整位置（選ばれた IRE は、上位 2 桁の略表示から、全体表示に変わります。）
標準の設定に戻すとき	10⟶100
プリント画がやや白っぽいとき	11⟶110
プリント画が白っぽいとき	12⟶120
プリント画がたいへん白っぽいとき	13⟶130

ご注意

必要以上に調整するとプリント画が全体に暗くなります。本設定は、一度取り込んだメモリー画像には反映されません。本設定後に取り込んだメモリー画像に反映されます。

モニター画面とプリント画の色調を合わせる

モニター画面とプリント画の色調が違っていて、モニター画面上でプリント画のイメージがつかめないときは、プリント画とモニターを比べてメニュー画面上で色調を調整します。

プリンターの出力信号は、次の 2 種類があり、どちらが出力されるかはプリンターの設定によって決まります。

- EE (E to E)：プリンターの電気回路を通って信号処理されて出力される信号
- THRU (THROUGH)：入力した信号がプリンターの電気回路を通らずにそのまま出力される信号（スルー信号）

モニターの調整

プリンターの調整が正しくてもモニター側の調整ズレの場合もあります。プリンター側の調整を行う前にモニター側の色調を確認してください。その場合は、OUTPUT SETUP メニューの SOURCE の項目を THRU（スルー信号）に設定するか、またはプリンターの電源を切って出力信号が THRU の状態で調整すると便利です。モニターの調整が終わったら、プリンターの色を調整します。

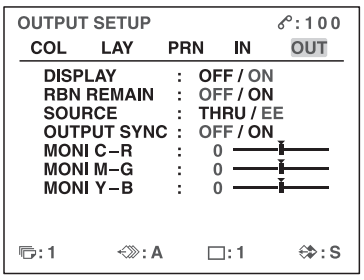
プリンター側の調整

ご注意

この調整は、モニターのホワイトバランスの調整がずれていた場合に、プリンターで調整するためのものです。この調整は、プリント画には影響しません。プリント画の画質調整については、「色調、階調、画質を調整するには」（55 ページ）をご覧ください。

1 OUTPUT SETUP メニューを表示させる。

OUTPUT SETUP メニュー



2 ⇧、⇩ ボタンで「SOURCE」を選ぶ。

3 ⇦、⇨ ボタンで「EE」を選ぶ。

4 MENU ボタンを押す。
通常画面が現れます。

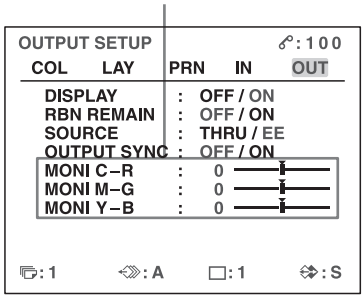
5 新しく画像を記憶させて、プリント画を作る。
このプリント画とモニター画面を見ながら次の手順に従ってプリンターの色を調整します。

6 再度 OUTPUT SETUP メニュー画面を表示させる。

7 モニター画面の色調がプリント画と同じになるように調整する。

調整する項目	画面の色調	押すボタン	調整
MONI C - R	赤味がかった画面にする。	⇨	R：RED の略の方向
	シアン（水色）がかった画面にする。	⇦	C：CYAN の略の方向
MONI M - G	緑がかった画面にする。	⇨	G：GREEN の略の方向
	マゼンタ（ピンク）がかった画面にする。	⇦	M：MAGENTA の略の方向
MONI Y - B	青味がかった画面にする。	⇨	B：BLUE の略の方向
	黄色味がかった画面にする。	⇦	Y：YELLOW の略の方向

調整したい項目を選んで調整する。



プリント画の画質を調整する

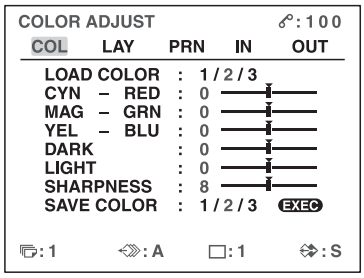
プリント画の色調、階調、画質の調整、およびプリント画のトーン（GAMMA）を調整できます。

色調、階調、画質を調整するには

調整した内容は、LOAD COLOR 番号 1、2、3 と 3 種類登録しておくことができ、記憶した調整値を呼び出してプリントすることができます。異なるビデオ機器を接続したとき、入力信号ごとの調整値でプリントするときに便利です。
また、記憶してある調整値を一時的に調整し直してその調整値でプリントすることもできます。
色調整は、メモリーに記憶した画像をモニター画面で見ながら行います。

1 COLOR ADJUST メニューを表示させる。

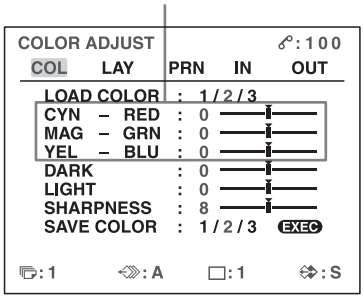
COLOR ADJUST メニュー



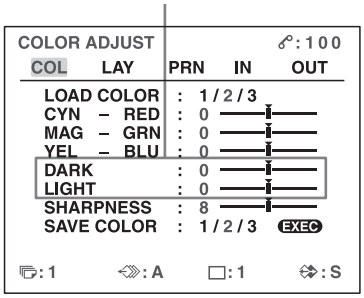
2 調整したい、または修正したい調整値に相当する LOAD COLOR 番号を選ぶ。
修正する場合、元の調整値を残しておくこともできます。「元の調整値を残して記憶するときは」（56 ページ）

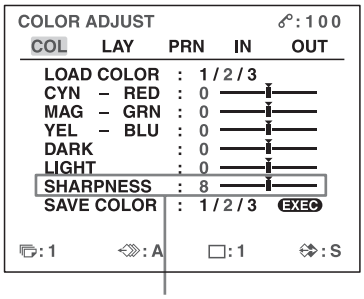
3 色調、階調、および画質を調整する。

色調（RED/GREEN/BLUE）の調整



階調（DARK/LIGHT）の調整





画質 (SHARPNESS/INTERPOL.) の調整

色調（RED/GREEN/BLUE）の調整

15 段階で調整できます。画面上では、数値とグラフで表示します。数値の 0、グラフの中間が標準です。

調整する項目	画面の色調	押すボタン	調整
CYN - RED	赤味がかった画面にする。	⇨	RED の方向
	シアン（水色）がかった画面にする。	⇦	CYN（CYAN の略）の方向
MAG - GRN	緑がかった画面にする。	⇨	GRN（GREEN の略）の方向
	マゼンタ（ピンク）がかった画面にする。	⇦	MAG（MAGENTA の略）の方向
YEL - BLU	青味がかった画面にする。	⇨	BLU（BLUE の略）の方向
	黄色味がかった画面にする。	⇦	YEL（YELLOW の略）の方向

階調（DARK/LIGHT）の調整

15 段階で調整できます。画面上では、数値とグラフで表示します。数値の 0、グラフの中間が標準です。

調整する項目	画面の階調
DARK	画面の暗い部分を調整する。
LIGHT	画面の明るい部分を調整する。

画質 (SHARPNESS) の調整

SHARPNESS:

1 から 15 まで 15 段階調整できます。数値の 8 が標準値（デフォルト値）です。

画質の種類	調整
輪郭をぼかす	スケールの左方向（1 の方向）
標準	スケールの中間（8）
輪郭を強調する	スケールの右方向（15 の方向）

調整値を変えると

1 つでも調整値を変えると「LOAD COLOR」の欄に「TEMP」（TEMPORARY）が表示されます。これは、この調整値が一時的（TEMPORARY）なものであるということを示しています。

「TEMP」の表示が出ている間に電源を切ると、調整値は保存されません。

4 「SAVE COLOR」の項目で、記憶する SAVE COLOR 番号を選ぶ。

元の調整値を残して記憶するときは

手順 2 で選んだ LOAD COLOR 番号と別の番号を選びます。

5 EXEC ボタンを押す。

手順 4 で選んだ SAVE COLOR 番号に調整値が登録されました。

LOAD COLOR の項目欄から「TEMP」が消えます。

引き続き、他の LOAD COLOR 番号の設定を行う場合は：手順 2 ～ 5 の操作を繰り返してください。

終了する場合は：MENU ボタンを押します。

通常画面に戻ります。

ある LOAD COLOR 番号の内容を別の LOAD COLOR 番号にコピーするには

1 COLOR ADJUST メニューの「LOAD COLOR」の項目で、コピーしたい内容が記憶されている LOAD COLOR 番号を選ぶ。

2 コピーする先の SAVE COLOR 番号を選ぶ。

3 EXEC ボタンを押す。
手順 1 で選んだ LOAD COLOR 番号に記憶されている設定値が手順 2 で選んだ SAVE COLOR 番号にコピーされます。

色調整（色調、階調）および画質が記憶されている LOAD COLOR 番号を呼び出すには

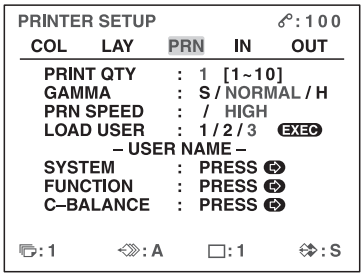
COLOR ADJUST メニューの「LOAD COLOR」の項目で、使用したい調整値が記憶されている LOAD COLOR 番号を緑色に点灯させます。液晶ディスプレイの場合は、LOAD COLOR 番号を表示させます。
現在選択されている LOAD COLOR 番号の調整値が表示されます。
設定を変えない限り選んだ LOAD COLOR 番号の調整値で画像がプリントされます。

プリント画のトーンを調整する

黒い部分または白い部分の多い入力画像をプリントするときに、黒い部分または白い部分の細部までをはっきりとプリントできるように調整します。

1 PRINTER SETUP メニューを表示させる。

PRINTER SETUP メニュー



2 「GAMMA」を選び、希望のトーンを選ぶ。

選ぶとき	設定（選ばれたトーン）は略表示から全体表示になります。
白い部分の多い入力画像をプリントするとき（軟調）	S ⟶ SOFT
普通	N ⟶ NORMAL
黒い部分の多い入力画像をプリントするとき（硬調）	H ⟶ HARD

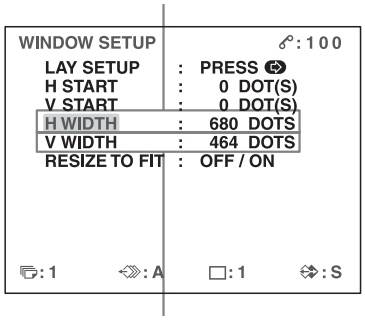
プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する

通常画面より狭い画像や、広い画像をプリントすると、プリント画面に黒い枠が出たり、反対に画面が欠けたりすることがあります。
また、モニターテレビ上では見えないのに、プリントするとプリント画に黒い線が入っている場合があります。これは接続した機器を変えたり、再生しているソフトなどを変えたりすることによって映像信号がない部分がメモリーに記憶されるために起こります。
このような場合は、画面の位置とサイズを調整してください。
本調整は、既に取り込まれているメモリー画像に対してプリント範囲を調整するものです。再度取り込む必要はありません。

1 LAYOUT SETUP メニューから WINDOW SETUP 画面を表示させる。

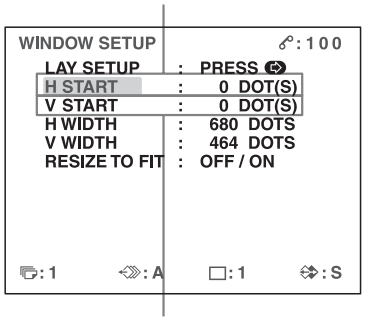
2 プリント画の状態に従って調整する。

右端に黒い縦線が出ている場合
の調整に使用する項目



下端に黒い横線が出ている場合の
調整に使用する項目

左端に黒い縦線が出ている場合
の調整に使用する項目



上端に黒い横線が出ている場合の
調整に使用する項目

プリント画に黒い横線が出ている場合

上端に黒い横線が出ている場合：
V START で、プリント画の上端の取り込み位置を調整します。

ご注意

上端を調整時、画面下端に黒い横線が現れる場合があります。この場合は、次の V WIDTH で消してください。

下端に黒い横線が出ている場合：
V WIDTH で、プリント画の下端の取り込み位置を調整します。

プリント画に黒い縦線が出ている場合

プリント画の左端に黒い縦線が出ている場合：
H START で、左端の取り込み位置を調整します。

ご注意

左端を調整時、画面右端に黒い線が現れる場合があります。この場合は、次の H WIDTH で消してください。

プリント画の右端に黒い縦線が出ている場合：
H WIDTH で、右端の取り込み位置を調整します。

工場出荷設定値に戻すには
H START と H WIDTH、V START と V WIDTH を各ペア毎に工場出荷設定値に戻すことができます。
垂直方向の設定値を工場出荷時の設定に戻すには、V START または V WIDTH のいずれかにカーソルを合わせ、⇦、⇨ ボタンを同時に押します。
水平方向の設定値を工場出荷時の設定に戻すには、H START または H WIDTH のいずれかにカーソルを合わせ、⇦、⇨ ボタンを同時に押します。

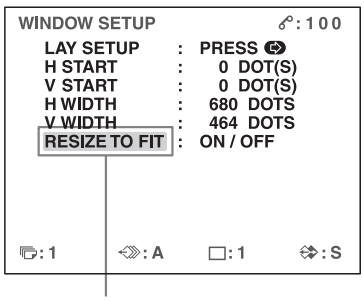
	H WIDTH	H START	V WIDTH	V START
工場出荷設定値	NTSC¥PAL: 680	NTSC/PAL: 0	NTSC: 464 PAL: 560	NTSC/PAL: 0

調整結果を見るには
プリントして、黒い枠や、画面の欠けがないこと、または黒い線が消えていることを確認してください。

プリント紙の大きさに合わせてプリントする

1 LAYOUT SETUP メニューから WINDOW SETUP 画面を表示させる。

2 「RESIZE TO FIT」を選択する。



「RESIZE TO FIT」を緑色に点灯させる。

選択項目	プリント結果
OFF	WINDOW SETUP 画面で調整したままの大きさで印刷される。
ON	調整した画像がプリント紙の大きさに合わせて拡大印刷される。

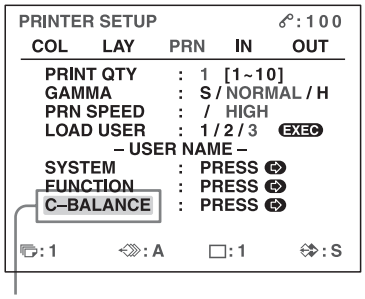
カラーバランスを調整する

モニター画面の色合いとプリント画の色合いを一致させたい場合、本機能でプリント画の色合いの調整を行います。モニター画面には、調整結果の色合いの変化は現れません。
また、新しいインクリボンとプリント紙を取り付けたときに、カラーバランスの調整を行うことをおすすめします。ペアごとの色合いのばらつきを補正できます。
1 度調整し、記憶させると、電源を切っても次に記憶し直すまで同じ設定でプリンターは調整され、機能します。

カラーバランスの調整を行う前に

COLOR ADJUST メニューの設定値をすべてセンターの値に設定してください。

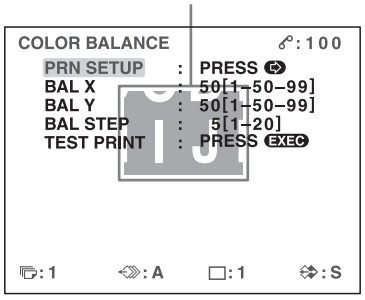
1 PRINTER SETUPメニューからCOLOR BALANCE調整画面を表示させる。



「C-BALANCE」を選び ⇨ ボタンを押す。

COLOR BALANCE 画面が表示されます。この画面上でハイライトされている部分がカラーバランス調整用にプリントされる範囲です。この範囲は移動することができます。

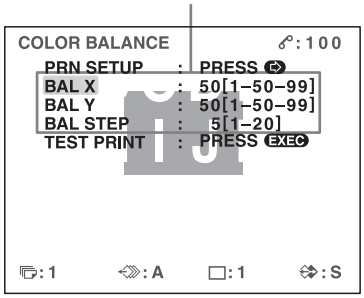
取り込まれる範囲
（ハイライトされている：画面全体の 2/3 位）



初めて調整する場合は、BAL X/BAL Y/BAL STEP の値は、工場出荷時の 50/50/05 に設定されています。

カラーバランスの調整をすでに行っている場合は、前回の調整値が表示されています。

現在のカラーバランスの X 軸、Y 軸および BALANCE STEP（各カラーバランス間の変化範囲）の設定値（例は、工場出荷時の値）



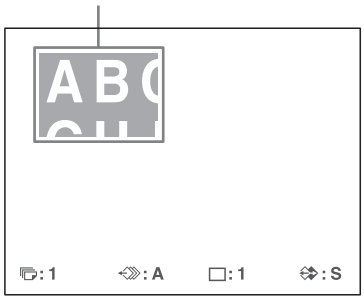
工場出荷時の設定値に戻したい場合は（50/50/05）

各項目ごとに、カーソルを合わせ、⇦、⇨ ボタンを同時に押します。

2 カラーバランス調整用に使用する画像の位置を決める。

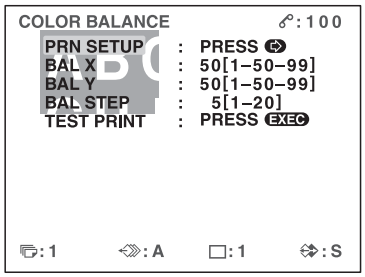
DISPLAY ボタンを押しながら、⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンを押して、カラーバランス調整用に使用したい範囲を決めます。

DISPLAY ボタンを押しながら、⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンを使って、希望の位置を表示させる。
（一時的に COLOR BALANCE 調整画面が消える。）

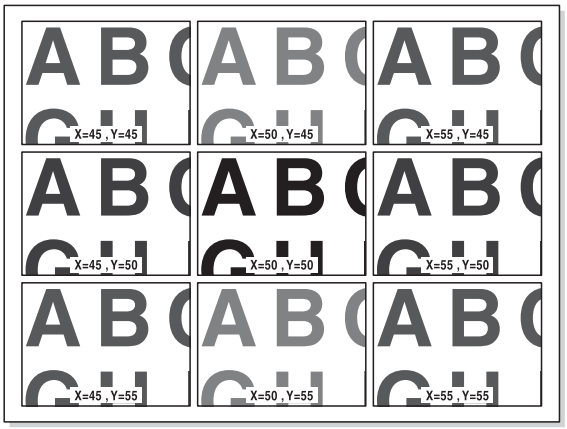


3 CAPTURE ボタンを押す。

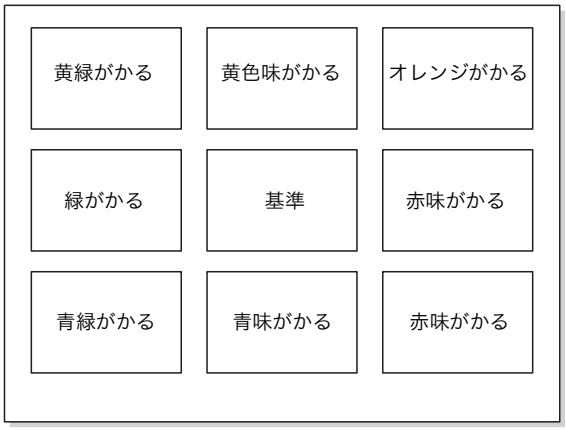
メモリー画の画像がモニター画面に現れます。



4 「TEST PRINT」を選び、EXEC ボタンを押す。
手順 2 で選んだ範囲の画像が 9 つプリントされます。
1 つ 1 つのカラーバランスが異なります。



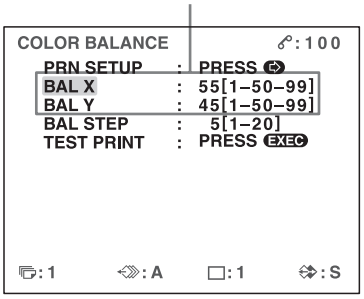
テストプリント画における色の変化は次のようになります。



5 プリント結果を見ながらカラーバランスが最適と思われるものを選ぶ。
プリント画を見てカラーバランスを調整し直したい場合は、「カラーバランスを調整し直すには」（60 ページ）をご覧ください。

6 手順 5 で選んだ位置に該当する BAL X および BAL Y の値を ⇦、⇨ ボタンで表示させる。
例：上の段の右の画面のカラーバランス 55 & 45 が最適の場合

⇦、⇨ ボタンを使って BAL X に 55、BAL Y に 45 を表示させる。



プリント画のカラーバランスが、手順 5 で選んだものに補正されます。

カラーバランスを調整し直すには

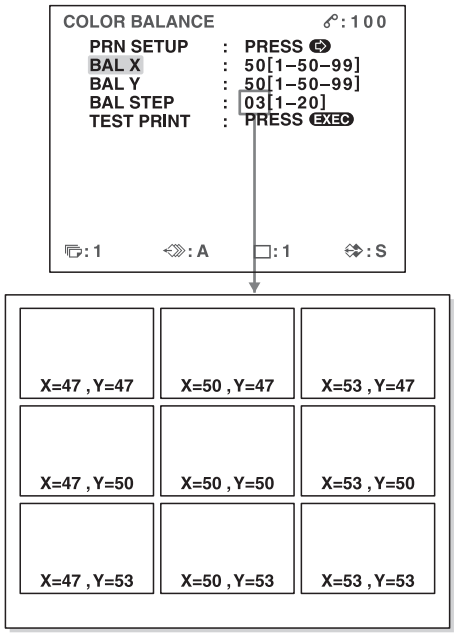
「カラーバランスを調整する」の手順 5 で適切なカラーバランスが得られなかった場合は、調整し直します。また微調整も同様の操作で行います。

1 プリント画の中でも適切と思える BAL X および BAL Y の値を ⇦、⇨ ボタンを使って表示させる。
このとき、BAL STEP の値を変更すればさらに微調整、または粗調整を行うことができます。

微調整を行うには

現在のカラーバランスの範囲以内で微調整したい場合は、BAL STEP を現在の値より小さくします。

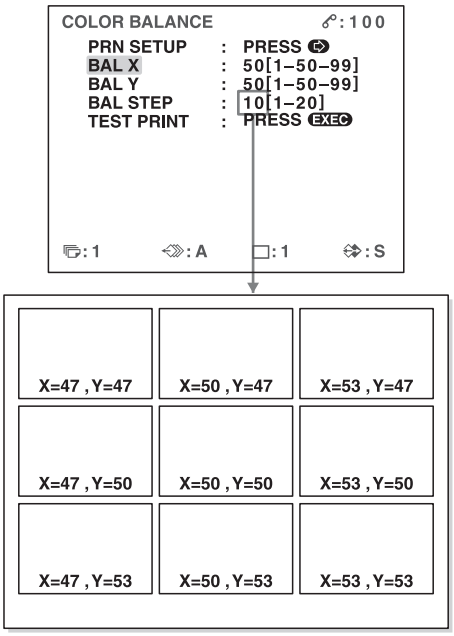
05 から 03 に変更すると、テストプリントのカラーバランスは以下のように変わります。



粗調整を行うには

現在のカラーバランスの範囲外で調整したい場合は、BAL STEP を現在の値より大きくします。

05 から 10 に変更すると、テストプリントのカラーバランスは以下のように変わります。



2 「カラーバランスを調整する」の手順 2、3、4 を繰り返してプリント画を作る。

3 プリント画の中に最適と思われるものを選ぶ。
最適なものがない場合は上記手順 1 ～ 2 を繰り返して最適なカラーバランス値を得ます。

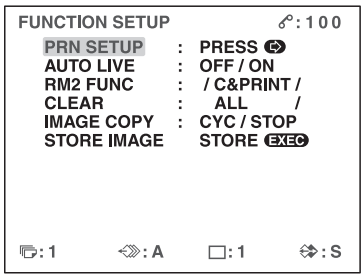
4 「カラーバランスを調整する」の手順 6 に戻る。

各種設定をする

別売りのリモコンでの操作を選ぶ

プリンター裏面の REMOTE 2 へリモートコントロールユニット RM-91（別売り）をつないでプリンターをリモートコントロールできます。
FUNCTION SETUP 画面を使って、REMOTE 2 端子に接続したリモコンに、操作を割り当てることができます。
上記のほかに REMOTE 2 端子へパルス信号（「主な仕様」（67 ページ））を送ってプリンターをリモートコントロールすることもできます。
また、RS-232C コネクターにコンピューターを接続して本機をリモートコントロールできます。

1 PRINTER SETUP メニューからを FUNCTION SETUP 画面を表示させる。



2 「RM2 FUNC」を選び、機能を割り当てます。

操作方法の種類	操作内容
CAPTURE	リモコンのスイッチを押すとメモリーに記憶します。プリンター本体の CAPTURE ボタンと同じ働きをします。
PRINT	リモコンのスイッチを押すとプリント動作が始まります。プリンター本体の PRINT ボタンと同じ働きをします。
C & PRINT a) (CAPTURE & PRINT)	リモコンのスイッチを押すごとに、プリント予約されていないメモリーページに順々に記憶し、プリントします。 プリント中の場合は、プリント予約を行い現在進行しているプリント動作の終了後プリントを開始します。
CYCLIC-C b) (CYCLIC CAPTURE)	リモコンのスイッチを押すごとに内蔵しているプリント予約されていないメモリページに順々に記憶していきます。メモリーを一巡すると新しく記憶し直していきます。前の画像が消えてしまうのでご注意ください。
CAP - STOP b) (CAPTURE STOP)	リモコンのスイッチを押すごとに記憶し、すべてのメモリーページに記憶し終ると、「HIT ANY KEY.」というメッセージが現れ、記憶できなくなります。
BACK-SP a)	リモコンのスイッチを押すごとに分割画面上でカーソルが 1 つ前の画面に戻ります。
POINTER+	リモコンのスイッチを押すごとに分割画面上でカーソルが 1 つ先の画面に戻ります。
STOP	リモコンのスイッチを押すと、現在プリント中のものをプリントした後、プリント動作を終了します。
CAP/SRC (CAPTURE/ SOURCE)	画面にメモリー画が表示されているときは、スイッチを押すとソース画に戻ります。画面にソース画が表示されているときは、リモコンのスイッチを押すと、ソース画をメモリーに記憶します。ただしメモリーページの移動は行われません。次にリモコンのスイッチを押しても現在のメモリーページに記憶されます。
CAP/S PAGE b) (CAPTURE/ SOURCE PAGE)	画面にメモリー画が表示されているときは、スイッチを押すとソース画に戻ります。画面にソース画が表示されているときは、リモコンのスイッチを押すと、ソース画をメモリーに記憶します。次のメモリーページに移動します。記憶された画像のプリントは行われません。
PRINT & PAGE	リモコンのスイッチを押すとプリント動作が始まり、次のメモリーページに移動します。 メモリーページに画像が記憶されていないと、スイッチを押しても正常な動作が行われません。
SRC & CAP (SOURCE & CAPTURE)	スイッチを押すと、ソース画が表示され、スイッチを離すと離した瞬間の画像がメモリーに記憶されます。ただしメモリーページの移動は行われません。
SRC & C PAGE b) (SOURCE & CAPTURE PAGE)	スイッチを押すと、ソース画が表示され、スイッチを離すと離した瞬間の画像がメモリーに記憶され、次のメモリーページに移動します。この場合、記憶された画像のプリントは行われません。

a) 本操作を使用するときは、モニター画面に S（ソース画）が表示されていることを確認します。S が表示されていないときは、SOURCE/MEMORY ボタンを押して、入力画が映し出されるモードに設定してください。また、分割画面を取り込んでいるときは、最後の画面を取り込んでから、プリント（プリント予約）し、次のメモリーページに進みます。
b) 分割画面を取り込んでいるときは、最後の画面を取り込んでから、次のメモリーページに進みます。

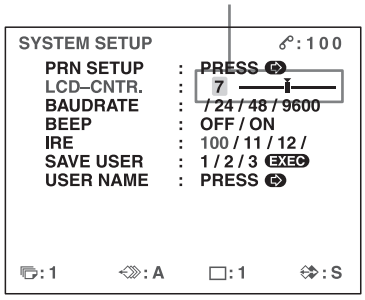
液晶ディスプレイの調整をする

液晶ディスプレイが見にくいときには、コントラストの調整をしてください。

1 PRINTER SETUPメニューからSYSTEM SETUP画面を表示させる。

2 「LCD-CNTR.」を選び、液晶ディスプレイのコントラストを調整する。

⇦、⇨ボタンを押して調整する。



操作音、アラーム音を設定する

本機のボタンを操作したとき操作音（ピッと1回)、エラーが起きたときアラーム音（3回）が鳴るか鳴らないかを切り換えます。

1 PRINTER SETUPメニューからSYSTEM SETUP画面を表示させる。

2 「BEEP」を選び、ブザーが鳴るか鳴らないかを選ぶ。

選ぶとき	選ぶ項目
操作音とアラーム音を鳴らないようにしたいとき	OFF
操作音とアラーム音を鳴るようにしたいとき	ON

本機とコンピューター間の通信速度を選ぶ

RS-232C端子につないだコンピューターから本機をコントロールするときの、通信速度（ボーレート）を選ぶことができます。

1 PRINTER SETUPメニューからSYSTEM SETUP画面を表示させる。

2 BAUDRATEを選び、希望の通信速度を選ぶ。

ボーレート（bps）	モニター画面および液晶ディスプレイの表示（選ばれたボーレートは、上位2桁の略表示から、全体表示に変わります。）
1200	12 ⟶ 1200
2400	24 ⟶ 2400
4800	48 ⟶ 4800
9600	96 ⟶ 9600

インクリボンの残量を表示させる

モニター画面に常時インクリボンの残量を表示しておくことができます。

ご注意

リボン残量は目安としてお使いください。

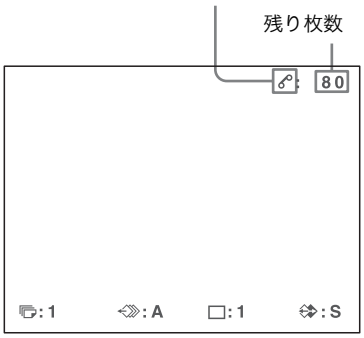
1 OUTPUT SETUPメニューを表示させる。

2 「RBN REMAIN」を選び、表示させるかさせないかを選ぶ。

選ぶとき	選ぶ項目
インクリボンの残量を表示させないとき	OFF
インクリボンの残量を表示させたいとき	ON

インクリボンの残量表示について

インクリボンのアイコン
インクリボンがないときは、「リボンカートリッジを正しくセットしてください」、「インクリボンがなくなりました」と表示される。）



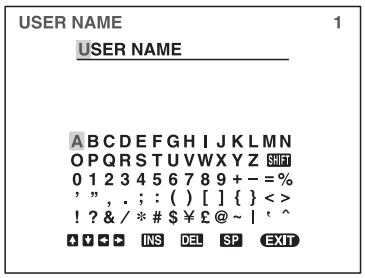
調整値をユーザー設定として登録する

プリンターの仕様は、各種メニュー画面上で設定し、ユーザー設定として3種類まで登録しておくことができます。登録した設定は、電源を切っても変わりませんので、日常プリンターを使用するときは、ユーザー設定を選ぶことで使用する入力画像源の機器や、プリンターを

使うかたの好みに合わせた設定でプリントすることができます。
また、呼び出したユーザー設定の設定値を変更した場合、プリンターは設定し直した値で動作します。この場合は、電源を切っても新たにユーザー設定を呼び出さない限り、電源を切る前の設定でプリンターは動作します。
各メニュー画面で、ユーザー設定番号に登録したい設定をすべて行った後、引き続き以下の操作を行ってください。

1 PRINTER SETUPメニューからSYSTEM SETUP画面を表示させる。
保存するユーザー設定にユーザー名を付けたい場合は手順２へ、付けない場合は手順４へ進んでください。

2 ⇧、⇩ ボタンで「USER NAME」を選び、⇨ ボタンを押す。
USER NAME 入力画面が現れます。



文字の入力について詳しくは、「文字を入力する」(38 ページ) をご覧ください。
入力できる文字の数は、16 文字です。

3 ⇦、⇨、⇧、⇩ ボタンで「EXIT」を選び、EXEC ボタンを押す。
ユーザー名は記憶され、SYSTEM SETUP メニュー画面に戻ります。

4 「SAVE USER」を選び、希望のユーザー設定番号を選ぶ。

5 EXEC ボタンを押す。
手順４で選んだユーザー設定番号にすべての設定値が登録されます。また、手順２でユーザー名を登録するとユーザー名と一緒に登録されます。

プリンターはこの後、ユーザー設定番号を選び直さない限りこのユーザー設定値で動作します。また現在使用しているユーザー設定値を修正した場合、他のユーザー設定を選ばない限り、修正した値でプリンターは動作します。この設定は、電源を切っても保持されます。

別のユーザー設定を行うには

メニュー画面で必要な調整を行って、再度別のユーザー設定番号に登録します。

登録した内容を呼び出してプリントするには

PRINTER SETUP メニュー上の「LOAD USER」で希望のユーザー設定を選び、EXEC ボタンを押します。
プリンターは呼び出されたユーザー設定に従って動作します。

元の調整値を残して記憶するときは

例：ユーザー設定 1 の設定値を修正し、ユーザー設定 1 はそのまま残しておき、修正した設定値をユーザー設定 2 として登録します。

1 PRINTER SETUP メニュー上の「LOAD USER」でユーザー設定 1 を選ぶ。

2 EXEC ボタンを押す。
ユーザー設定 1 が確定されます。

3 呼び出した設定値を必要に応じて設定し直す。

4 SYSTEM SETUP メニュー画面の「SAVE USER」で「2」を選ぶ。

5 EXEC ボタンを押す。
手順 3 で修正した値がユーザー設定「2」の設定値として登録されます。

既存のユーザー設定をコピーするには

すでに設定してあるユーザー設定を他のユーザー設定番号にコピーできます。

1 PRINTER SETUP メニュー上の「LOAD USER」でコピーしたい設定のユーザー番号を選ぶ。

2 EXEC ボタンを押す。
手順 1 で選んだユーザー設定 1 が確定されます。

3 「SYSTEM-SETUP」メニュー画面の「SAVE USER」でコピー先のユーザー設定番号を選ぶ。

4 EXEC ボタンを押す。
手順 1 で選んだユーザー設定の設定値が、手順 3 で選んだユーザー設定番号にコピーされます。

本機の性能を保持するために

本機の性能を保持するために、「安全のために」(2 ページ)、「⚠警告」(4 ページ)、「⚠注意」(4 ページ) と併せてご覧ください。

使用上のご注意

長い間ご使用にならないときは

本体の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

輸送するときは

プリンターを輸送する際は、付属品のインクリボンカートリッジと給紙トレイをはずし、ご購入時の梱包材で梱包してください。付属品が取り付けられたまま輸送すると、故障の原因になることがあります。

設置するときのご注意

次のような場所に設置または保管しないでください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気の多いところ
- 極端に暑いところや寒いところ
- 振動の多いところ
- ほこりの多いところ
- 不安定なところ
- 本体の上面および左側面にある通風孔をふさがないでください。火災や故障の原因となる場合があります。
- 危険防止のため、本体の上にモニターなど、物を置かないでください。

結露について

湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

お手入れ

ご注意

お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。

キャビネットのクリーニング

- キャビネットの汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。このあと、乾いた布でからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アルコール、化学ぞうきんなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

本機で使用可能なインクリボンとプリント紙

再使用禁止
動作不良の原因となり、印刷結果に悪影響を与えます。

インクリボンとプリント紙は、同じ箱に入っているものをペアでお使いください。

カラープリントパック UPC-55
200 枚分の高速／高感度用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。
100 枚分のプリント用インクリボン× 2 巻
100 枚分のプリント紙× 2 袋

ご注意
プリント紙がなくなりましたら、プリント紙補給と同時にインクリボンも交換してください。

主な仕様

電源	AC 100 V 、50/60 Hz
入力電流	2.8 A
動作温度	5 ℃～ 35 ℃
保管／輸送時温度	–20 ℃～ +60 ℃
動作湿度	20% ～ 80%
保管／輸送時湿度	20% ～ 90%
動作気圧	700 hPa ～ 1,060 hPa
保管／輸送時気圧	700 hPa ～ 1,060 hPa
最大外形寸法	約 280 × 125 × 398 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）
質量	約 9.0 kg（本体のみ）
プリント方式	昇華熱転写型
プリント画素数	フル画面プリント：2528 × 1920 ドット
プリント階調	256 階調処理（イエロー、マゼンタ、シアン）
プリント時間	約 20 秒 （高速でプリント）
信号方式	NTSC/PAL 信号方式切り換え（ディップスイッチによる）
入力端子	RGB/YCbCr（BNC 型× 3） 0.7 Vp-p SYNC ON Green：0.3 Vp-p 同期負 外部同期（BNC 型× 1） 0.3 ～ 4 Vp-p 同期負 Y/C（4 ピンミニ DIN × 1） Y：1 Vp-p 同期負 C：0.286 Vp-p（NTSC 信号方式）、 0.3 Vp-p（PAL 信号方式） VIDEO（BNC 型× 1） 1 Vp-p 、同期負 AC IN（電源入力用）
出力端子	RGB/YCbCr（BNC 型× 3） 0.7 Vp-p SYNC ON Green：0.3 Vp-p 同期負 外部同期（BNC 型× 1） 0.3 ～ 4 Vp-p 同期負 Y/C（4 ピンミニ DIN × 1） Y：1 Vp-p 同期負 C：0.286 Vp-p（NTSC 信号方式）、 0.3 Vp-p（PAL 信号方式） VIDEO（BNC 型） 1 Vp-p 、同期負
制御用端子	REMOTE 1（特殊ミニジャック× 1） 別売りリモートコントロールユニット RM-5500 用端子

REMOTE 2 (ステレオミニジャック)
別売りリモートコントロールユニット RM-91 用端子
RS-232C（D-SUB　25 ピン× 1）
出力　5 kΩ 負荷時
Typ 8 V
入力　5 kΩ 負荷時
High level　5 ～ 15 V
Low level –5 ～ –15 V

USB ホストポート
USB フラッシュメモリー用途

内蔵時計　月差 ± 180 秒

付属品　給紙トレイ（1）
インクリボンホルダー（1）
電源コード（1）
3 極 →2 極変換プラグ
CD-ROM（1）
ご使用になる前に（1）
取扱説明書（1）
業務用製品ご相談窓口のご案内（1）

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

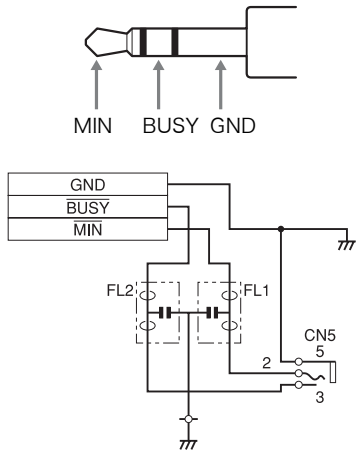
別売りアクセサリー
カラープリントパック　UPC-55
200 枚分（100 枚 × 2）

REMOTE 2 端子によるリモートコントロール

REMOTE 2 端子へ次に示すパルス信号を送ると、プリンターはメニュー画面でリモコンの設定に従って動作します。

REMOTE 2 端子入力用タイミングパルス

REMOTE 2 ピン配列



仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

安全に関する仕様
電撃に対する保護の形式：
クラス I
水の浸入に対する保護等級：
0 級 （特に保護がされていない）
可燃性麻酔剤の点火の危険に対する保護：
空気か酸素か亜酸化窒素を含む可燃性麻酔薬混合物があるときは使用に適していません。
作動モード：
連続

メッセージ一覧

モニター画面および液晶ディスプレイに表示されるエラーメッセージおよび警告メッセージは以下の通りです。メッセージにしたがって次に示す処置をしてください。

エラーメッセージ

異常が起こると、本機前面の ALARM ランプがオレンジ色に点灯し、モニター画面および液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。
下記メッセージ中の nn は、数字・記号を表します。

メッセージ		意味／対処
モニター画面	液晶ディスプレイ	
リボンカートリッジをセットしてください	SET RIBBON	インクリボンが取り付けられていません。 →インクリボンを取り付けてください。(17 ページ)
プリント紙をセットしてください 残りリボン nn	SET PAPER RIBBON REMAIN nn	・ プリント紙がありません。 →プリント紙を入れてください。(20 ページ) ・ 給紙トレイが取り付けられていません。 →給紙トレイを取り付けてください。(20 ページ)
リボンとプリント紙をセットしてください	SET RIBBON SET PAPER	インクリボンとプリント紙が取り付けられていません。 →インクリボンを取り付け、プリント紙を入れてください。(17、20 ページ)
たまったプリント紙を取り出してください	REMOVE PRINTS	給紙トレイにプリント済みのプリント紙がたまりました。 →たまったプリント紙を取り除いてください。プリントが再開されます。
給紙トレイを取り出して紙づまりを取ってください	REMOVE PAPER TRAY	給紙トレイ付近で紙づまりがおきました。 →つまったプリント紙を取り除いてください。(73 ページ)
リボンがありません　リボンをとりかえてください	RIBBON END	インクリボンが終わりになりました。 →新しいインクリボンを取り付けてください。(インクリボンは再使用できません。) 何もプリントされずに白いプリント紙が排出された場合は、そのプリント紙はご使用にならないでください。(17 ページ)
フロントドアをとじてください	CLOSE FRONT DOOR	フロントパネルが開いています。 →フロントパネルを閉じてください。
リボンを確認してください	CHECK RIBBON	本機で使用できないインクリボンが取り付けられています。 →正しいインクリボンカートリッジを取り付けてください。(17 ページ)
リボンを確認してください nn	CHECK RIBBON nn	・ インクリボンが切れました。 →セロハンテープなどでつなげてください。(19 ページ) ・ インクリボンが切れていないでこのメッセージがでる場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
チェックペーパー：給紙 nn	CHECK PAPER nn LOAD	プリンター内部で紙づまりが起きました。 →つまったプリント紙を取り除いてください。
チェックペーパー：排紙 nn	CHECK PAPER nn EJECT	

メッセージ		意味／対処
モニター画面	液晶ディスプレイ	
メカトラブル：ヘッド nn	MECHA TROUBLE nn HEAD	プリンター内部で紙づまりなど、プリンターの動作に問題が生じました。 →プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
メカトラブル：プロセス nn	MECHA TROUBLE nn PROCESS	
メカトラブル：センサー nn	MECHA TROUBLE nn SENSOR	
メモリースティックがありません	NO MEMORY STICK	メモリースティックが取り付けられていません。 →メモリースティックを取り付けてください。
メモリースティックからの読み取りエラーです	MEMORY STICK READ ERROR	メモリースティックの動作に問題が生じました。 →メモリースティックを取り出し再度挿入してください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
メモリースティックへの書きこみエラーです	MEMORY STICK WRITE ERROR	
USB メモリの空きがありません USB メモリを取りかえてください	USB MEMORY FULL SET NEW STORAGE	USB フラッシュメモリの空きがなくなりました。 →別の USB フラッシュメモリを使用するか、コンピューターで USB フラッシュメモリの不要なファイルを消去してご使用ください。 →FUNCTION SETUP メニューで IMAGE COPY を CYC にすると、日付の古いファイルから消去され、そのまま使用できます
USB メモリのファイル名に空きがありません	USB MEMORY FILE NAME END	
USB メモリを認識できません	USB MEMORY ERROR	USB フラッシュメモリの一動作に問題が生じました。 →本機で対応していない USB フラッシュメモリーです。ソニー製 USB フラッシュメモリーを使用してください。 →USB フラッシュメモリーを取り出し再度挿入してください。
USB メモリへの書きこみエラーです USB メモリーを正しくセットしてください	USB MEMORY WRITE ERROR	

警告メッセージ

警告の場合は、メッセージが表示されるだけで ALARM ランプは点灯しません。
メッセージに従って処置をしてください。

メッセージ		意味・対処
モニター画面	液晶ディスプレイ	
何かキーを押してください	HIT ANY KEY	リモコンを CAPTURE STOP モードで使用しているとき出ます。現在のメモリーページから最終メモリーページまで画像を記憶して一巡し、もう記憶できません。 →いずれかのキーを押してください。次に押すキーから操作ができるようになります。
正しい信号を入力してください	INPUT MISMATCH	・入力画像の入力機器（VTR、ビデオカメラなど）からの NTSC 方式以外の信号が入力されている。 →NTSC 方式の信号を入力してください。 ・ビデオ信号以外の信号（オーディオ信号など）が入力されている。 →正しいビデオ信号を入力して下さい。
信号を入力してください	NO INPUT	INPUT SETUP メニューで選んだ入力信号の機器からは現在信号がきていません。 →INPUT SETUP メニューで現在選ばれている入力信号を確認してください。(22 ページ) →入力機器（VTR など）が再生されているか調べます。 →入力機器の接続が正しいか調べてください。(15 ページ)

メッセージ		意味・対処
モニター画面	液晶ディスプレイ	
キャプチャーしてください	NO IMAGE	画像がメモリーページに記憶されていません。 →画像を記憶してからプリントしてください。(25 ページ)
しばらくお待ちください　プリント中のメモリーです	PLEASE WAIT MEMORY PRINTING	選んだメモリーページはプリント中、またはプリント予約されています。 →プリント終了後、操作してください。
しばらくおまちください　ヘッド温度調整中	PLEASE WAIT ADJUSTING TEMP	感熱ヘッドの温度を調整中です。 →メッセージが消えるまでお待ちください。自動的にプリントを再開します。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

症状	原因・処置
操作ボタンを押してもモニター画面に何も現れない。	・ POWER スイッチが OFF になっています。 →POWER スイッチを ON にします。 ・ ビデオモニターの POWER スイッチが OFF になっています。 →ビデオモニターの POWER スイッチを ON にします。 ・ 接続が正しくされていません。 →接続を確認します。(16 ページ)
通常画面で画面表示が現れない。	乱れた入力信号が入力されています。 →INPUT SETUP メニュー上で、別の入力信号を選ぶ（22 ページ）か、接続しているビデオ機器を正常な再生状態にしてください。
通常画面で画像も画面表示も現れない。	・ SOURCE/MEMORY ボタンを押してメモリー画像が出たときに正常であれば、出力信号の設定が「THRU」になっています。 →OUTPUT SETUP メニューで出力信号「SOURCE」の設定を「EE」に変えます。「モニター画面とプリント画の色調を合わせる」（54 ページ） ・ MENU ボタンを押してメニュー画面が表示される場合は、モニター画面の管面表示の設定が OFF になっています。 →DISPLAY ボタンを押して、管面表示の設定を「ON」に変えます。「モニター画面の管面表示を消す」（44 ページ）
液晶ディスプレイに表示が現れない。	液晶ディスプレイのコントラストの調整が適切ではありません。 →SYSTEM SETUP メニューで液晶ディスプレイのコントラスト「LCD CNTR.」の 調整をします。「液晶ディスプレイの調整をする」（63 ページ）
プリントできない。	・ 画面にエラーメッセージが出ています。 →「メッセージ一覧」をご覧になって適切な対処を行ってください。「メッセージ一覧」（69 ページ） ・ 本機で使用できないプリント紙が入っています。 →本機専用のプリント紙を入れてください。「本機で使用可能なインクリボンとプリント紙」（67 ページ） ・ プリント紙の入れかたが間違っています。 →プリント紙の表、裏を確認して正しく入れ直してください。「給紙トレイ・プリント紙を取り付ける」（20 ページ）
プリント画に黒い線が入る。	映像信号のない部分もメモリーに記憶しました。 →プリントする画像の範囲を調整します。「プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する」（57 ページ）
プリント画が欠けてしまう。	映像信号の一部分しかメモリーに記憶できませんでした。 →プリントする画像の範囲を調整します。「プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する」（57 ページ）
プリント画がぶれている。	動きの速い画像を記憶しました。 →LAYOUT SETUP メニュー上でメモリーモードを FIELD にしてプリントします。「メモリーモードを選ぶには」（32 ページ）
プリント画の色が薄い。	プリント紙の入れかたが間違っています。 →プリント紙の表、裏を確認して正しく入れ直してください。「給紙トレイ・プリント紙を取り付ける」（20 ページ）
印刷されないで紙が排出される。	リボンがなくなりました。リボンを確認してください。 →リボンを交換してください。「インクリボンカートリッジを取り付ける」（17 ページ） 排出された紙は使用しないでください。

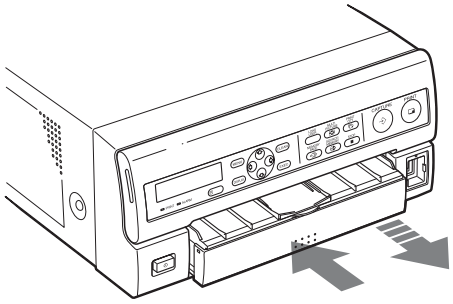
プリント紙がつまったら

PRINT ボタンを押したあとで紙づまりが起きたときは、エラーメッセージとともに、「画像をメモリーに保存中」というメッセージが表示され、本機に取り込んだ画像とメニュー設定は全て保存されます。表示が消えたら、次のようにしてつまった紙を取り除いてください。

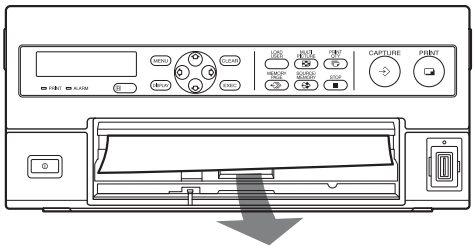
ご注意

「画像をメモリーに保存中」のメッセージが表示されている間は、電源を切らないでください。電源を切ると画像が正しく保存されません。

1 給紙トレイを取り出す。

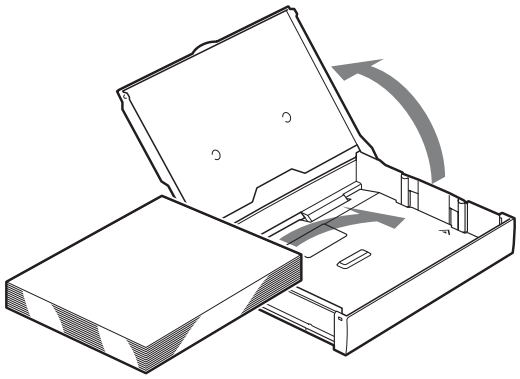


2 途中でつまっている紙を取り出す。



取り出せないとき「それでも取り出せないときは」（73 ページ）の手順にしたがって取り出してください。

3 プリント紙を正しくセットする。



ご注意

- 手順 2 で取り出したプリント紙はご使用にならないでください。
- 本機で推奨しているプリントパック以外のプリント紙を使用しないでください。

4 給紙トレイを差し込みます。

それでも取り出せないときは

それでも、取り除けない場合は、次の説明にしたがって、つまったプリント紙を取り除いてください。

ご注意

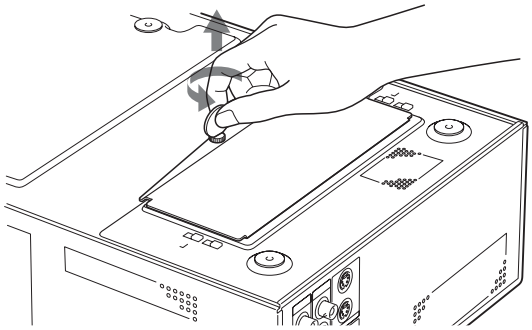
- この場合は、POWER スイッチを押して電源を切るだけではなく、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- プリンター本体を裏返す際は、接続コード類をはずしてください。折れたり、曲がったりすることにより、火災・感電の原因になることがあります。
- プリンター内部につまっているプリント紙を取り除くため、プリンター内部の部品にさわるときは、内部部品でけがをしないようにご注意ください。

1 プリンターの電源を切り、電源コードを抜き、他の接続コードも抜く。

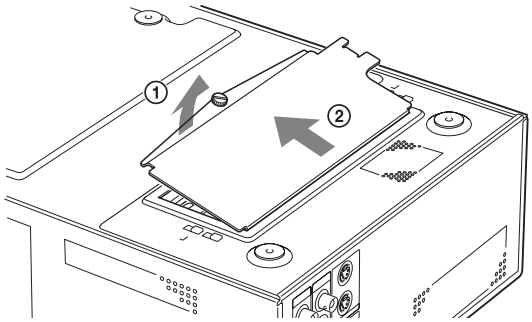
2 インクリボンカートリッジ、給紙トレイをプリンターから取り出す。

3 プリンターを裏返す。

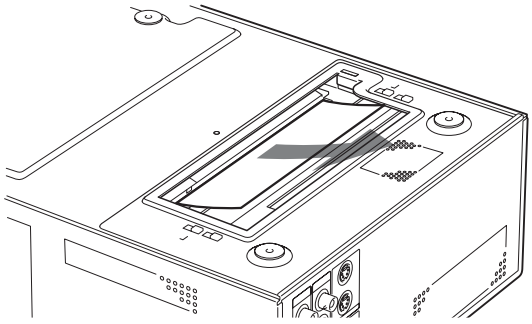
4 硬貨を使って、底板を止めているビス 1 本を取りはずす。



5 底板を持ち上げ、プリンターからはずす。

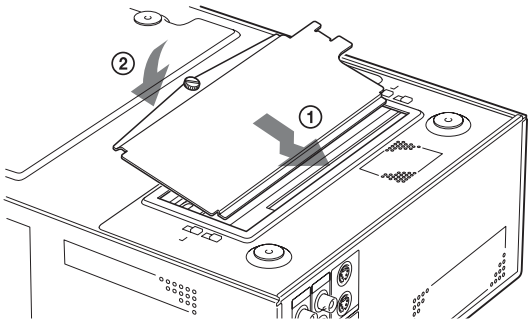


6 つまった紙をゆっくりと取り出す。



どうしても取れない場合は
無理に取り出そうとせず、ソニーのサービス窓口にお問い合せください。

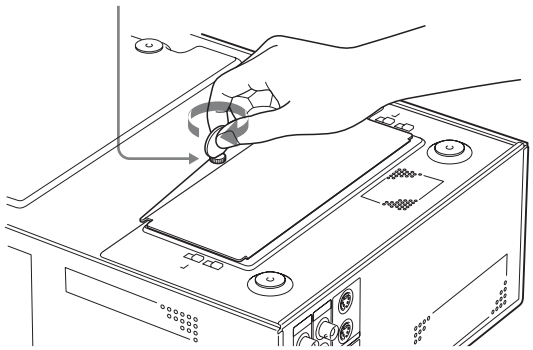
7 底板を元に戻す。



ご注意
戻す際に、物を挟み込まないようご注意ください。

8 底板を手順 4 で取りはずしたビスで止める。

底板のビス穴とプリンター裏面のビス穴とがあっていることを確認してから止める。



再びご使用になるときは
ご使用になる前に、以下の項目を確認してください。
- プリンター裏面のコード類の接続がきちんとされているている。
- 取り出した給紙トレイを元に戻す。
- 電源を入れた場合は、メッセージが出ます。メッセージにしたがって操作してください。詳しくは、次の「電源を入れるには」をご覧ください。

電源を入れるには

「画像をメモリーに保存中」というメッセージが表示された後電源を切って、再度電源を入れる場合は、以下の操作を行います。

1 電源スイッチを押す。
以下のメッセージが表示されます。

「メモリーに画像があります。画像を復帰しますか。YES/NO」
このメッセージは、紙づまりなど、トラブルが発生して、「画像をメモリーに保存中」とメッセージが表示さた後電源を切り、再度電源を入れた場合に表示されます。この保存したデータをプリンターのメモリーに再度読み込むかどうかを確認するメッセージです。

2 プリンターのメモリーに読み込む場合は：YES を選ぶ。
メモリーに読み込まない場合は：NO を選ぶ。
「NO」を選んでも後からでも、読み込むことができます。
詳しくは、「手動で現在の画像、およびメニューの設定をプリンターのメモリーから内蔵の“メモリースティック”へ保存するには」（75 ページ）をご覧ください。
「YES」を選んだ場合は、次のメッセージが表示されます。

3 EXEC ボタンを押す。
手順 2 で YES を選んだ場合：「画像をメモリーから読み出し中 ...」というメッセージが表示され、次に「画像を復帰しました」というメッセージが表示されます。通常画面に戻ります。
手順 2 で NO を選んだ場合 : 通常画面に戻ります。

ご注意

「画像をメモリーに保存中」というメッセージが表示された場合は、画像データだけではなく、現在のメニューの設定すべてを保存します。画像データを再度プリンターのメモリーに読む込むときは、メモリースティックに保存されたメニューの設定すべてが読み込まれます。

手動で現在の画像、およびメニューの設定をプリンターのメモリーから内蔵の“メモリースティック”へ保存するには

1 PRINTER SETUP メニューから FUNCTION SETUP 画面を表示させる。

2 ⇧、⇩ ボタンで「STOER IMAGE」を選ぶ。

3 ⇦、⇨ ボタンで「STORE」を表示させる。

4 EXEC ボタンを押す。
「画像をメモリーに保存中」というメッセージが出ます。
メッセージが消えたら、次の操作に進みます。

ご注意

このとき、”メモリースティック”に保存されている画像データ、メニュー設定は、上書きされます。

手動で現在の画像、およびメニューの設定を内蔵の“メモリースティック”からプリンターのメモリーへ読み出すには

1 PRINTER SETUP メニューから FUNCTION SETUP 画面を表示させる。

2 ⇧、⇩ ボタンで「STOER IMAGE」を選ぶ。

3 ⇦、⇨ ボタンで「RESTORE」を表示させる。

4 EXEC ボタンを押す。
“メモリースティック”から画像の読み出しが始まり、次のメッセージが表示されます。
「画像をメモリーにから読み出し中」
読み出しが終了すると、「画像を復帰しました」というメッセージが表示されます。
メッセージが消えたら、次の操作に進みます。

ご注意

「画像をメモリーにから読み出し中」というメッセージが表示された場合は、画像データだけではなく、“メモリースティック”に保存されているメニューの設定がすべて読み込まれ、現在の設定は上書きされてます。

“メモリースティック”についてのご注意

- “メモリースティック”は、リボンドアの右側に内蔵されています。“メモリースティック”が挿入されていないと画像の保存、復帰はできません。“メモリースティック”は取りはずさないでご使用ください。
- “メモリースティック”はプリンターの画像を保存するために内蔵されています。デジタルカメラ、コンピューターなどで保存した画像をプリントすることはできません。
- 内蔵の“メモリースティック”を紛失された場合は、32 MB 以上の“メモリースティック”を取り付けてください。
- “メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”には対応していません。

索引

あ

安全のために 2

い

インクリボンカートリッジ
　取り扱い上の注意..... 17
　取り付ける 17
インクリボン
　途中で切れてしまったとき 19
インクリボンとプリント紙..... 67

え

液晶ディスプレイ表示のコントラストを調整する 63

お

お手入れ
　キャビネットのクリーニング. 66
主な仕様 67

か

階調 (DARK/LIGHT.)..... 56
各部の名称と働き
　前面..... 11
　モニター画面..... 13
画質 (SHARPNESS.)..... 56
カラーバランスの調節 59

き

給紙トレイを取り付ける..... 20

く

クリーニング
　キャビネット..... 66

こ

故障とお考えになる前に..... 72
コンピューターとの通信速度を変更する 63

し

色調（RED/GREEN/BLUE) 56
シャープネスの調節..... 56
準備 15
使用上のご注意
　警告..... 4
　結露..... 66
　設置時 66
　注意..... 4
　輸送時 66
白枠を付ける 37

せ

接続
　ビデオ機器..... 15
　モニター 16
　リモコン 17
設置するときのご注意..... 66

そ

操作..... 25

と

特長..... 11

に

入力映像の色調を補正する..... 53
入力信号
　選ぶ 22
　調節する 53

は

はじめに..... 11

ふ

付属品 15
プリンターについての調整
　アラーム音を鳴らすか鳴らさないかを決める 63
　液晶ディスプレイのコントラスト 63
　モニター画面の管面表示を消す.... 44
　リモコン (別売り）の操作を決める..... 62
プリント画
　1 画面のプリント画..... 25
　色がきれいにでないとき . 53, 55
　カラーバランスの調節 59
　コメントを入れる 38
　種類の選択..... 34
　白枠付き 37
　トーン（ガンマ）の調節 57
　分割画面のプリント画..... 35
　保存上の注意 27
　枚数の設定..... 29
　画質の調節..... 55
　黒い線や枠が入る 57
プリント画についての調整
　色と画質と階調..... 55
　カラーバランス..... 59
　コントラストの調整..... 54
　入力映像の色調..... 53
　プリント画に黒い枠や線が出た場合..... 57
　プリント画のトーン..... 57
　モニター画面とプリント画の色調を合わせる 54
プリント紙
　取り付ける 20
　保存上の注意..... 21
プリントする
　1 枚に 1 画面を..... 25
　1 枚にプリントする画像の数を選ぶ..... 34
　記憶した画像がぶれていたら . 25
　コメントを付ける..... 38
　白枠付きのプリント画..... 37
　プリント画がぶれていたら 37
　プリント中に別の画像を記憶する 30
　ユーザー登録した内容でプリントする..... 27
　いろいろなプリント画を作る . 31
　同じ画面を複数プリントする . 29

め

メッセージ
　エラーメッセージ..... 69
　警告メッセージ 70
メニュー
　基本操作..... 51
　CAPTION メニュー 38
　COLOR ADJUST メニュー .. 55
　COLOR BALANCE メニュー 59
　FUNCTION SETUP メニュー.... 35, 42, 62
　INPUT SETUP メニュー 22, 53
　LAYOUT SETUP メニュー . 32, 34, 37, 41
　OUTPUT SETUP メニュー . 16, 45, 54, 63
　PRINTER SETUP メニュー. 27, 28, 30, 57
　SYSTEM SETUP メニュー .. 54, 63
　USER NAME メニュー..... 64
　WINDOW SETUP メニュー 57, 58
メニュー一覧 50
メモリー
　使用できるメモリーページ 33
　フレームモード / メモリーモードについて 31
　メモリーに記憶した画像を消す ... 42
　メモリーページを選ぶ..... 33
　メモリーモードを選ぶ..... 32
メモリー画像
　画像を記憶し直すには..... 36
　記憶した画像がぶれていた場合 ... 37

索引

も

文字を入力する
- カーソルを移動させるには 39
- 修正する 40
- 入力する 38
- CAPTION メニュー画面..... 38

モニター画面
- 画面表示を消す..... 44
- モニター画面一覧 50
- モニター画面の色調整 54
- モニター画面とプリント画の色調を合わせる 54

ゆ

ユーザー設定
- 登録する 63
- 呼び出す 27

り

リモコン
- ワイヤレスリモコン..... 17
- RM-91 に機能を割り当てる... 62

C

CAPTION メニュー 38
COLOR ADJUST メニュー 55
COLOR BALANCE メニュー 59

E

EE 54

F

FUNCTION SETUP メニュー... 35, 42, 62

I

INPUT SETUP メニュー 22, 53

L

LAYOUT SETUP メニュー 32, 34, 37, 41

O

OUTPUT SETUP メニュー 16, 45, 54, 63

P

PRINTER SETUP メニュー 27, 28, 30, 57

R

RM-5500 17
RM-91 ..... 17, 62

S

SYSTEM SETUP メニュー .. 54, 63

T

THRU (THROUGH) 54

U

USB フラッシュメモリー
- いっぱいになったときの動作を決める..... 46
- 画像データを保存する..... 46
- ファイル名をつけてプリントする 47

USER NAME メニュー..... 64

W

WINDOW SETUP メニュー 57, 58

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/